
Kiwanis Club
of
Nagoya

40th
Anniversary



名古屋キワニスクラブ創立40周年記念誌



名古屋キワニスクラブ 創立40周年記念誌

40th
Anniversary
Kiwaniis Club of Nagoya



名古屋キワニスクラブ バナー

名古屋キワニスクラブ



40th
Anniversary
Kiwanis Club of Nagoya

目次

写真で見るこの40年	6
創立40周年記念式典・事業	
記念式典	16
記念講演	21
記念事業	24
祝辞	26
ごあいさつ	27
記念事業経過報告	28
名古屋キワニスクラブ設立の精神	30
特別企画 歴代会長を迎えて、この10年を振り返る	32
特別企画 女性会員による座談会	40
歴代役員表	46
委員会の活動	50
社会奉仕活動の記録	56
ASPAC 2004 名古屋大会への取組み	62
名古屋キワニスクラブ40年の歩み	74
例会の記録 (1997年-2006年)	85
思い出のアルバム (1997年-2006年)	95
キワニスの仲間たち	106
キワニスの紹介	118



写真で見る この40年



1966.9.1 名古屋キワニスクラブチャーター授与式



1968.11.8 キワニス合同大会

第一回
名古屋キワニス賞

当クラブは、一月五日の例会において、名古屋公衆医学研究所に対し、16ミリカラーフィルム「鉤虫の生態」を寄贈しました。

この経緯につきましては、同所所長加藤勝也氏のスピーチの中に出ておりますが、同氏が、この二月に、名古屋寄生虫予防会の依頼を受けて指導に行きます折、このフィルムを携行し、視覚を通して、寄生虫のおそろ

鉤虫の生態
の贈呈式
行なわる

宮古島では、未だに寄生虫に対する認識が不足しているとのことで、今回の同氏による指導は大いにその成果が期待されております。

当クラブは、新年早々から、社会奉仕の第一歩としてこの企画に参加することになりましたが、今後ともこれを契機により健全な社会を建設するための実践的な手段を提供し続けていきたいと考えております。

会報 創刊号(1968.1.15)

デルフ氏
野洲会長らと懇談

昨年度の北太平洋地区ガバナード、ジャック・デルフ氏は、先月初め、モローインターナショナル会長の特使として野洲会長を訪問。中山事務局長、森村国際委員長と交えて、約一時間、当クラブの現況、その他キワニス一般について意見を交換した。席上、デルフ氏は、「今回は、主として貴クラブとの親善を目的に訪問しましたが、インターナショナルは、今後とも名古屋クラブの発展に一層の協力を惜しみません。」と挨拶された。

一九三七年以来、三十一年間もキワニアンとして活躍されている同氏との意見交換は、キワニス精神を知るといふ点で、きわめて示唆に富むものがあり、野洲会長は、今後の当クラブの運営に何らかの形でこの精神を具現していきたいとしている。

なお、デルフ氏のご職業は貿易業者で、毎年日本を訪れている知日家でもあり、現在、バンクーバーキワニスクラブに所属しております。

(懇談中のデルフ氏)

会報 4号(1968.4.15)

名古屋キワニスクラブ

創刊号 発行日 昭和43年1月15日

発行者

名古屋キワニスクラブ
事務局長 中山 俊一
名古屋瑞穂区堀田通2-1
日本碍子株式会社内 861-7165

発刊のことば

会長 野 村 三 怡

名古屋キワニスクラブは、インターナショナルに加盟して以来、既に一年有余を経過いたし、会員各位のご協力を得て、地味ながらも着実に進展してまいりました。この間、会員も各界でご活躍の五十一名を擁するに至り、例会の開催も八十数回に及んでおります。

こうした活動を経て、当クラブのイメージは、徐々にではありますが、力強く会員相互の間に形成されてきたと言えるようでありま

す。このイメージは、和気あいあいとしたムードの中にも、何かを得ることができるといふ、むしろ、クラブの雰囲気とも言うべきものかもしれませんが、これは、キワニスが指向しているイメージとそれ程かけ離れたものではないと思っております。当クラブは、これ



からも、キワニス精神を日本の風土の下で咀嚼し、ますます日本らしい、名古屋らしいクラブを目指して進みたいと、新年に臨み、思いを新たにする次第でございます。

さて、本会報は、この醸成された雰囲気をも更に鮮明に浮き上がらせ、併せて会員のコミュニケーションを密にして、当クラブの基礎を一層堅固にしようとする

ものであります。今年のキワニスは、宮古島へカラーフィルム「鈎虫の生態」を寄贈することによってスタートしましたが、これを端緒に、キワニスの活動・組織を会員以外の方々にも正しく認識して戴き、各界のご協力を得ながらキワニスの力を社会奉仕にも向けていくことが必要になってくると思えます。本会報は、こうしたキワニスの活動に対しても何らかの役割を果し得るのではないかと考えております。

当初の内容は、例会関係の記事が主となりますが、あくまでも、堅苦しいものでなく、仲のよい、和気あいあいとしたムードを象徴するような、また、会員の皆様が自由に意見交換できる楽しい会報でありたいと願っております。

この会報が、ゆくゆくは、会員の心の絆となるまでに高められ、社会奉仕とともに、当クラブのモットーである日本を忘れない、会員一人一人が成長していくキワニスづくりに、少しでも役立てば誠に幸いという他ありません。今後とも、諸活動を通じて、キワニスの目的が達成されますよう、皆様方一段のご協力とご指導をお願い申し上げます。



1969.1.9 新年会員懇談会



1972.11.10 第5回全日本キワニスクラブ合同大会



1973.1.5 新年会懇談会



1975.5.24 旅行会(吉良)



1982.6.18 「キワニスの森」石碑除幕式



1984.12.14 クリスマス家族会



1986.9.5 名古屋キワニスクラブ創立20周年記念式典



1987.10.2 徳川美術館視察会



1989.5.19 第20回キワニス社会公益賞



1996.9.6 名古屋キワニスクラブ創立30周年記念式典



1996.11.14 ブロンズ像「祝福されし二人」の除幕式



1998.9.25 持出例会(キワニスの森)



1998.9.25 持出例会「キワニスの森」記念植樹



2003.8.29 持出例会(セントレア)



2003.10.9 持出例会(山梨リニアモーターカー試乗)



2004.5.7 第30回キワニス文庫贈呈式



2006.6.30 キワニスドールをつくる会

2004.3.11～13 第29回ASPAC(名古屋大会:名古屋マリオットアソシアホテル)



開会式(名古屋市消防音楽隊による演奏)



ASPACナイト(鏡開き)



愛・地球博のジオラマ展示



フェアウェルパーティー(豊田万博会長を囲んで)



エクスカーション(工事中の万博会場)



親睦ゴルフ(三好カントリークラブ)



お国自慢の歌と踊りで盛上がるフェアウェルパーティー



Kiwaniis Club
of
Nagoya

40th Anniversary



名古屋キワニスクラブ 宮田会長 あいさつ



名古屋キワニスクラブ創立40周年記念式典 2006年9月27日(水) 名古屋国際ホテル

記念講演

記念式典

会長挨拶

祝辞

40周年記念事業経過報告～贈呈式

40周年記念表彰

記念祝賀会

乾杯

皆勤賞表彰

ヒクソンフェロー表彰

お礼の挨拶



名古屋商工会議所 箕浦会頭 祝辞



国際キワニス日本地区 中田ガバナー 祝辞

40周年記念事業贈呈



社団法人発明協会愛知県支部 石丸支部長に名古屋キワニスクラブ賞を贈呈



40周年記念事業実行委員会 堀篁委員長
40周年記念事業経過報告

40周年記念表彰



小森治雄、相羽雅文、河合恒人、小野孝児、石原明、
伊藤宗太郎、村上和夫、井上丈太郎、三宅大策
各会員を永年勤続賞表彰。
小森会員が代表で表彰を受ける。
〈右写真〉左から、石原、小野、伊藤、河合、小森、
村上、(宮田会長)、井上、三宅 各会員。
相羽会員は欠席。



記念祝賀会



松原名古屋市長の発声で乾杯



松原名古屋市長 あいさつ



記念式典、記念祝賀会司会進行の
NHK 石澤アナウンサー



2006年度皆勤賞表彰
河合会員が代表で表彰を受ける



ヒクソンフェロー賞伝達

(左から)

10th ダイヤモンドヒクソン
三宅会員

6th ダイヤモンドヒクソン
鬼頭会員

ヒクソンフェロー
矢野会員





映像アトラクション
40年間の活動とその時代背景を振り返る



日本地区元会長 井上会員から一句
「高天や 努め楽しみ 四十年」



名古屋キワニスクラブ 矢野副会長 お礼のあいさつ

記念講演

演題

「子供たちの科学する心を育むために」

講師

東京大学名誉教授、工学博士、一級建築士

月尾嘉男氏



発明とくふう展
優秀作品展示



特別企画



2006.11.13 歴代会長を迎えて、この10年を振り返る



2006.4.21 女性会員による座談会

記念事業



2006.11.2 名古屋キワニスクラブ賞を創設した「発明とくふう展」開会式



名古屋キワニスクラブ賞対象作品
「首のび防止ハンガー」



2006.12.2 豊田市立末野原中学校へ第1回名古屋キワニスクラブ賞を贈呈

社会奉仕活動40年を記念 名古屋キワニスクラブ式典



社会奉仕活動をしてい
る名古屋キワニスクラブ
(会長・宮田亮東海ゴム
工業顧問)の創立四十周
年記念式典が二十七日、
名古屋市中区内のホテル
であった。記念事業とし
て子どもたちの科学への
関心、創造力の養成を目
指すため、発明協会愛知
県支部(支部長・石丸典
生)と「特別顧問」が
毎年主催する「発明とく
まろ展」を支援すること
を決めた。

一五年に米デトロイトで
産声を上げた民間社会奉
仕団体。名古屋キワニス
クラブは六六(昭和四十
一年)年に設立され、東海
地区の会社役員ら百四十
人が加盟し、地元ボラン
ティア団体支援や福祉施
設などへの書籍贈呈など
を続けている。

発明とくまろ展は、小
中学生の獨創性あふれる
工作などアイデア作品が
多数展示される六十年の
歴史を持つ展覧会。同ク
ラブでは同展の運営資金

創立40周年記念事業の
目録を石丸典生発明協
会愛知県支部長(右)に手
渡す宮田亮名古屋キワ
ニスクラブ会長(左)名古
屋市中区のホテルで

として今後十年間、毎年
三十万円を支援する。具
体的には、同展で知事賞
を受賞した児童・生徒が
通学する小中学校を対象
に「名古屋キワニスクラ
ブ賞」(賞金二十万円な
ど)の贈呈などを行う。

記念式典には会員ら約
二百人が出席。月尾嘉男
東京大名誉教授が「子ど
もたちの科学する心を育
むために」と題して記念
講演した。(倉知哲也)

2006.9.28 中日新聞

月尾嘉男氏が講演

名古屋キワニス 40周年式典開く



記念講演会の様子

名古屋キワニスクラブ
(宮田亮会長)は二十七日、名古屋市中区の名古
屋国際ホテルで「創立四
十周年記念式典」を開催
した。

キワニスクラブは、子

供たちを対象に、国際的
に識字率の向上を図るな
ど社会奉仕活動を行って
いる。日本では主要都市
に二十四地区ある。

式典には二十一世紀
を担う健全な子供たちの
育成のために「ものづく
り『発明』をとおして科
学する心を育てる」とい
う理念が掲げられた。

また、東京大学名誉教
授の月尾嘉男氏が「子供
たちの科学する心を育む
ために」をテーマに記念
講演を行った。月尾氏は
「日本の若者の科学への
関心が低く、将来が不安
を担う健全な子供たちの
教育が必要」などと指摘
していた。

第60回 発明とくまろ展

11.2 ⇒ 11.7 入場無料

名古屋栄三越 7階催物会場

MITSUKOSH 名古屋栄

2006.9.28 中部経済新聞

祝 辞



国際キワニス日本地区
ガバナー 中田 一男

名古屋キワニスクラブの皆様、創立40周年を迎えられおめでとうございます。

名古屋クラブは、昭和41年に東京クラブに次いで日本で2番目のクラブとして発足しましたが、今では東京クラブを凌駕し全国24クラブの中でもその活動がもっとも活発なクラブとして、いくつかの優れた特徴を持っておられます。

日本のキワニスクラブは、まず初めの10年間は東京・名古屋・大阪の3クラブ体制でスタートしました。そして名古屋クラブは大阪クラブとともに今なお週一回の例会を維持し続けておられます。また名古屋クラブは発足当初の会員は70名余でしたが、その後会員は着実に増加して現在は140名を数えられ、その数は過去最高に達しています。歴史の古いクラブがいずれも最盛期に比べ相当数の会員の減少に悩まれている状況の中で、これは特筆すべきことだと存じます。

次に社会奉仕活動についてもキワニスクラブは「世界の子供達のための奉仕活動」を最優先に取り上げて参りました。国際本部の主導による世界のヨード欠乏症（IDD）撲滅活動は大きな成果を挙げてきました。また日本地区では「キワニスドール」の作製、普及活動に取り組んでおります。名古屋クラブでは、これら日本地区での共通の奉仕活動に加えて独自の活動を積極的に進めてこられました。社会公益賞の授与や青少年教育推進のための家庭教育や子育て支援活動、キワニス文庫の設置や高校教員の国際教育の支援などを進めてこられました。そして今年は40周年を記念して「子供たちの科学する心を育てるための発明くふう展」に、これから10年間に亘って多額の支援を約束されるなど時宜に合った活動を開始されました。これらはまさに他のクラブの模範となるところであり、関係者のご努力に対して深く敬意を表しますと共に感銘を受けております。

さらに感謝申し上げたいのは、一昨年のASPAC名古屋大会のことです。この大会は名古屋クラブの会員の方々が親身になって企画され、国内外から800人を超えるお客さんをお迎えし盛大に開かれました。名古屋クラブ会員の皆様方のホスピタリティは参加者の記憶にいつまでも残っており、今でもASPACの大会のたびに話題になるほどで、日本地区の一員として誇りに思っているところです。

最後に、名古屋クラブが40周年を機に日本地区のリーディングクラブとしてますます発展されますことを祈念して、お祝いのご挨拶といたします。

ごあいさつ



名古屋キワニスクラブ
会長 宮田 亮

名古屋キワニスクラブは、去る2006年9月27日創立40周年記念式典を開催しました。ご多用の中、ご来賓各位のご臨席を賜り、かつ、キワニスクラブからは中田日本地区ガバナーをはじめ、日本地区や各クラブの代表者の方々にも遠路をおしてご参加頂き、お礼申し上げます。

全体として、名古屋クラブの特長を発揮した記念行事を全員で楽しむことができました。創立以来40年間、今日の姿まで営々とご努力頂きました諸先輩の皆様には心からお礼を申し上げる次第であります。

名古屋キワニスクラブは、1966年、東京に次いで我が国で二番目に誕生したクラブであります。創立以来、奉仕と親睦を基本理念とし、多様な活動を企画実行してきました。社会公益賞は37年間、キワニス文庫は32年間、また青少年教育の支援として、家庭教育講演会へ26年間、乳幼児の子育て支援に7年間、高校教員の国際教育に4年間助成を続けている等々であります。さらに最近では社会情勢を反映し、幼児虐待問題にも留意しています。また、キワニスドール活動にも力をいれ、600体を超える贈呈実績となりました。

加えて、近年頻発する国内外の自然災害の折には、義損金の拠出を募り、皆様のご協力により成果を上げています。総て Serving the Children of the World の理念に沿ったものと考えます。

一方、国内外の行事にも積極的に参加し、理解を深めてきましたが、中でも一昨年の「子どもたちの夢が未来をつくる」をテーマとするASPAC名古屋大会には、内外から総勢800名近いキワニアンが集まり、盛り上がった会になり好評を得たことは記憶に新しい処であります。

さて、当クラブでは各10周年毎の行事の核として「キワニスの森」「徳川美術館への陶壁画」「矢場公園内にブロンズ彫刻像」を寄贈してきました。今回の40周年行事には「21世紀を担う健全な子供たちの育成のために、『ものづくり』『発明』をとおして科学する心を育てる」ことへの協賛を記念行事の柱と致しました。この記念行事を契機として、名古屋キワニスクラブの輝かしい歴史の上に、気持ちも新しく「Serving the Children of the World」を確認しながら更なる発展を目指し、次の50周年につなげたいと思います。

皆様のご努力の結果、在籍人員が140名に達しました。名古屋クラブの伝統である「和気藹々たる中で自由に意見交換できる」ようクラブ活動に工夫も凝らしていきたいと考えます。より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

記念行事の計画・実行に尽力頂きました実行委員会の皆様、これをサポート頂いた会員の全員に感謝申し上げます。ご挨拶といたします。

記念事業経過報告



名古屋キワニスクラブ創立40周年記念事業実行委員会
委員長 堀籠 登喜雄

経過報告： 堀籠でございます。

この創立40周年記念事業は、2年前の11月に最初の準備委員会を開催して以来20回以上の会合と各委員・関係者の方々の絶大なるご支援を賜りまして本日の式典を迎えました。

30周年以降の10年間を振り返りますと、オリンピックやノーベル賞など明るいニュースもありましたが、同時多発テロ、JR事故・幼児虐待など人間が起こす痛ましい事件も起こりました。

キワニスの行事では、2004年「子供たちの夢が未来をつくる」をテーマにASPAC名古屋大会が開催され、国境を越えてキワニスの輪をしっかりとつなぐことができました。

また、昨年、ここ名古屋で愛・地球博が開催されました。この国際博覧会協会々長は当クラブのチャーターメンバーである豊田章一郎さんでした。名古屋キワニスクラブから日本の各クラブの皆様には、博覧会のチケットプレゼントの形でご案内致しました。ご参加いただきました方もおいでになるかと存じます。

「自然の叡知」をテーマとしたこの博覧会で「サステイナブル社会・循環型社会の構築」など大きな課題が提起されました。

また、一方で環境保護をはじめ科学技術はこれまでにないスピードで進展していることも実感しました。これからの日本は、「科学技術立国」としての地位を守り続けなければならないと強く感じると同時に、このままで日本はいいのかと、将来に不安と危機感も抱きました。



2006.11.2 発明とくふう展開会式



2006.12.2 第1回名古屋キワニスクラブ賞贈呈式

このような背景の中で、私ども実行委員会では、キワニスのモットーである「Serving the Children of the World」の理念に基づき、記念事業の案を検討いたしました。

その結果、将来を担う子供達のために、自然の摂理の学習や、「ものづくり」を通じて科学する心を育む活動を地道に推進する団体をサポートすること、これを50周年までの10年間の記念事業の1つとして明確に位置付けました。

愛知県には発明協会が指導する「少年少女発明クラブ」が9都市にありまして、1500名以上の子供達が、ものづくりや実験を通じて自然科学の法則を学んでいます。「理科離れ」といわれている子供達に対して、発明協会は大切な役割を担っておられます。

その発明協会愛知県支部が主催される「発明とくふう展」という大きな展覧会があります。小・中学生中心に数百点の作品応募があり、60年の長い歴史もあります。

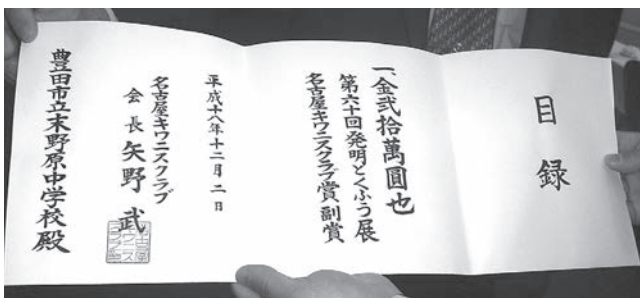
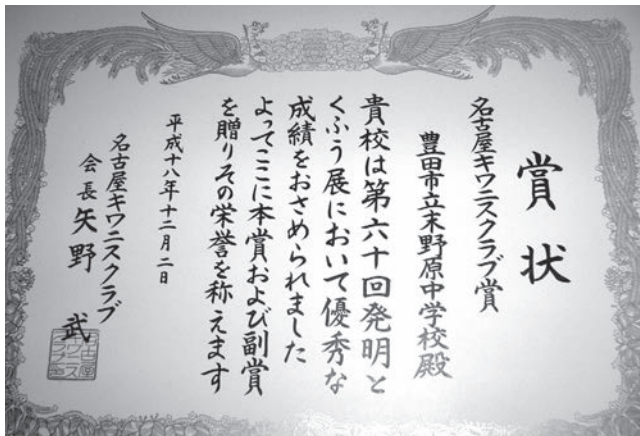
そこで、発明協会愛知県支部にキワニスの考え方を、ご理解頂いた上で、この展覧会に特別協賛し、「名古屋キワニスクラブ賞」を創設させていただきました。

「愛知県知事賞」受賞者の小・中学生が所属する学校にキワニス賞を贈ります。特別協賛の内容は、年30万円の贈呈を10年間継続し、キワニス賞と運営費に充てていただく予定です。

今年も11月に展覧会、12月に表彰式が開催されます。

この記念事業で、「ものづくり・発明」をとおして子供達の科学する心を育む運動が更に成果を上げることが期待しております。

以上で、「経過報告」を終ります。ありがとうございました。



名古屋キワニスクラブ設立の精神

1966年9月1日、名古屋国際ホテルにて、キワニスインターナショナル・グレン・リード会長夫妻を迎えて、記念すべき「名古屋キワニスクラブチャーター授与式」が行われた。これはその時の野瀨三治初代会長のあいさつを記録したものであり、40年を経た今もなお、野瀨初代会長の設立への思いがみずみずしく伝わってくる。これをお読みいただき、「名古屋キワニスクラブ設立の精神」をもう一度思い起こしていただければ幸いである。

ごあいさつ



野瀨 三治

本日は遠くアメリカから、我々の尊敬するキワニスインターナショナル会長のリード博士ご夫妻をお迎えいたしまして、またスポンサークラブである東京キワニスクラブの会長であられる原文兵衛さん、前会長であられる鹿内さんを初めとする役員の方々と、また当地ご在住のご来賓といたしましては、桑原愛知県知事様、杉戸名古屋市長様、井上中部経済連合会長様、篠原名古屋大学総長様、またアメリカと当地をつないだ全国総領事殿などをお迎えいたしまして、来賓各位にはご多忙な時間をご割愛されましてご来席を賜った次第でございます。こうしてここに、当名古屋キワニスクラブのために、祝賀会を挙行いたしますことは、我々名古屋クラブ会員の最上の喜びであり、また光栄に存ずるところでございます。特にわざわざ米国からご来日のリード会長ご夫妻に対しましては、心から歓迎の意を表す次第でございます。また、先刻申し上げました来賓の方々のご光来につきましては、誠にありがとうございました。会員一同が忘れ得ざる思い出になることと存ずる次第でございます。この加盟祝賀会はキワニス全国本部を初め、東京キワニスのご指導、ご援助があってはじめて実現をみたしと申すべきものでございました。私どもはここに、五千数百のクラブ、二十数万の会員の中に本日をもって加わるわけでございます。この場をお借りいたしまして、厚く御礼を申し上げる次第でございます。リード会長ご夫妻から、どうか米国の会員の皆様へよろしく、また、原会長様からは東京の会員各位へどうかよろしくご鳳声を賜りたいと思う次第でございます。

さて、宇宙時代とも第2次産業革命時代とも呼ばれる、新しい時代を迎えました今日、技術進歩によりまして世界が日増しに狭くなっております。お互いに国境を越え、民族を越え、知り合う機会が

以前に比べてずっと多くなっており時代かと考えます。しかしながら、世界の諸状況を見ますと、必ずしもお互いのコミュニケーションと申しますか、相互理解が十分であるとは言えない状態下にあるように観察されます。人類にとって住みよい、幸福な世界建設のためには、まず、しっかりしたその各国間の友好関係が築かれねばならないことは言うまでもないこととございます。キワニスクラブは奉仕という人類共通の理想をかかげた国際奉仕団体でございますが、本日当クラブがこのキワニスインターナショナルの仲間入りを正式にさせていただきますことは、少しオーバーな言い方かもしれませんが、国際間の友好関係の確立が急務である、また人間の心の開発が科学の開発より遅れている今日、さらに我々お互いの生活を顧みまして、己に対するサービスより、社会に対するサービスの方がはるかに遅れておる現在におきまして、誠に意義深い出来事であると言わなければならないと思うのでございます。

我々は、今後一層キワニスの集いを通じまして相互の友情が深まりますこと、また会員各自の自己啓発が高まり、各々の持つ職場において、より一層の社会的奉仕ができますよう、心から期待しております次第でございます。

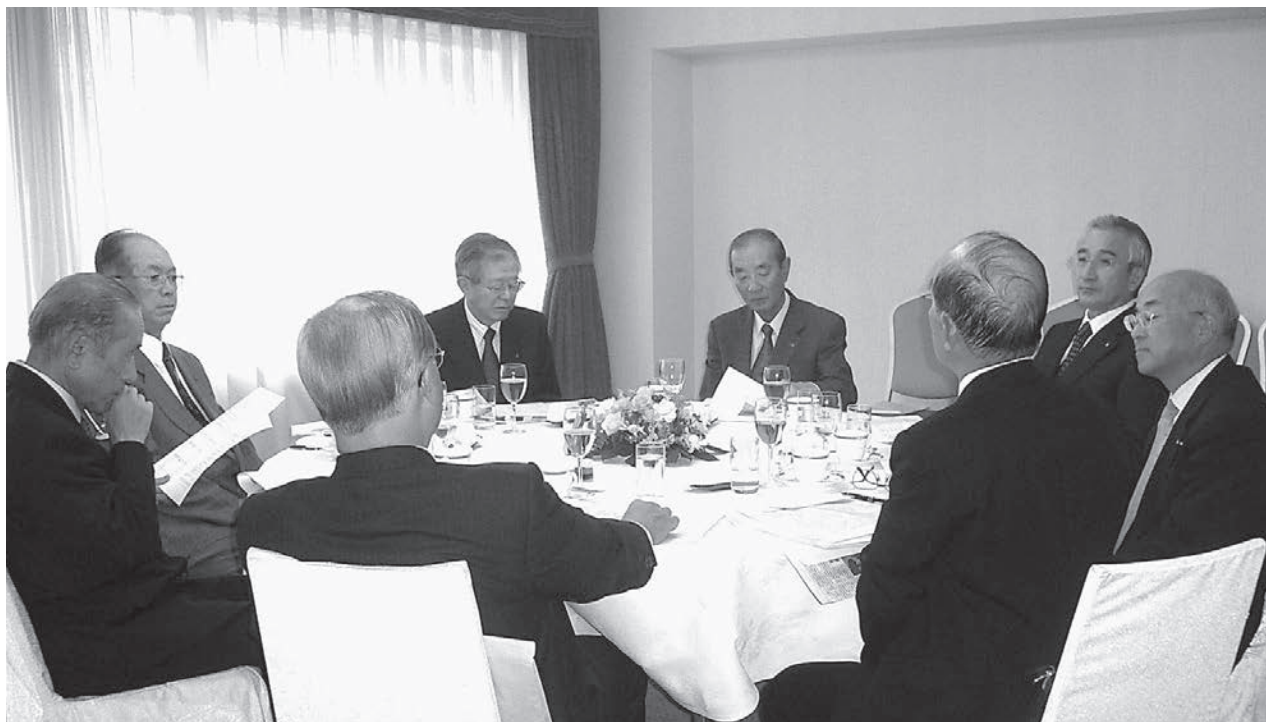
ところで、当クラブは設立後間もないこととあり、現在のところ毎週の例会におきまして会員相互の親睦を深め、また各種の勉強をなし、もって会の将来の発展の礎を築いておる段階でございますが、ゆくゆくは名古屋というローカルカラーを生かした、種々の企画を立案いたしまして、もってユニークな計画を持ち、クラブを発展せしめまして、キワニス精神を大いに打ち出していく所存でございます。

当クラブが位置しております名古屋市と申しますのは、日本の中央部、太平洋側に面した、東京と大阪の中間に位置する、人口200万の都市でございます。歴史的に見ますと、相当古くから繁栄地域であります。近年はとみに中部圏開発の要となるべく、そのバラエティ溢れる未来に生きる青年都市として、脚光を浴びているところでございます。当クラブはこの名古屋地区を中心として、主導的役割を、甚だ僭越な言い方でございますが、いささか主導的役割を果たしております。官界、財界、学界の博学たる会員を擁しておるのでございます。現在会員は今だ46名の少数ではありますが、私どもが誇りを持って申し上げますことは、会員がいずれも当地第一級のジェントルマンでございます。第一線で活躍しておる有能な人物ばかりであるということとございます。なお、これからは会員の増加も慎重に図って行くつもりでございます。また、この種の集まりは、ともすればマンネリぎみに陥りやすいものなので、この点には十分な注意を払いまして、さらに各委員会の活動を通じまして、たくましくキワニスの使命を果たすべく心掛けたいと思っておるものでございます。

先ほども申し上げましたように、当クラブはまだ誕生したばかりで、しかも本日正式にお仲間入りできたばかり、何かと今後、温かいお導きを必要といたします。どうかよろしく願いいたします。リード会長ご夫妻のご健勝と全キワニスクラブ会員のご活躍を祈って名古屋クラブ会員一同を代表いたしまして、ごあいさつを申し上げます次第でございます。

40周年特別企画

歴代会長を迎えて、この10年を振り返る



平成18年11月13日(月)
於 名古屋国際ホテル3階会議室

■ 出席者

97年度会長 大見道夫
尾張精機(株) 元相談役

98年度会長 堀籠登喜雄
豊田合成(株) 相談役

01年度会長 清水靖夫
日本車輛製造(株) 相談役

02年度会長 富田信夫
(株)中京銀行 元会長

03、04年度会長 齋藤 蒔
東海キヨスク(株) 代表取締役社長

05年度会長 入谷正章
入谷法律事務所 所長

06年度会長 宮田 亮
東海ゴム工業(株) 顧問

キワニスクラブ40周年を記念し、
97年度から06年度までの歴代会長の中から
7名の方にお集まりいただき、
「この10年を振り返る」というテーマで
就任時代の印象深い出来事などを伺いました。
進行役は堀籠登喜雄元会長です。

堀籠 (以下、司会) 97年度の会長を務められた大見道夫さんからお話を伺いましょう。

大見 私が会長に就任したのは、華やかだった30周年の翌年でしたので、具体的なテーマを設定するのに少し苦勞したことを覚えています。現在、児童虐待問題が非常に大きな社会問題になっていますが、CAPNA（子どもの虐待防止ネットワーク・あいち）*1に1回目の社会公益賞を贈呈したのが、私のときでした。また、海外技術者研修協会中部研修センター*2の支援もさせていただきます。

当時、クラブとして大きな問題だったのは会員数の減少でした。120名前後が在籍していましたが、100名まで落ちてしまうのではと懸念するほどでした。なぜこのようなことが起きたかという、バブルの崩壊が原因で、官公庁関係、警察関係、公安関係の方などがほとんど後任者なしで辞められたからです。かたや、日本本部からは会員増強を強く要請されていたため、私は解決策として女性会員を勧誘したらどうかとご提案させていただきました。当初はさまざまなご意見もありましたが、その後幾度もの相談を重ねた上で、初めは4人の女性会員が入会されました。これによって会の雰囲気もさらに良くなりましたし、現在は女性会員も9名となり、当初の倍に増えました。



大見道夫

全体の会員数としては30周年の時の131名がピークでしたが、それからまた増減を繰り返して、現在の141名に至っています。会員増強については、私の後の方々の努力が大きいと感じます。

司会 女性会員を勧誘したのは、先見の明があったと思います。では続けて98年度に会長に就任した私（堀籠）から話をさせていただきます。

堀籠 当時は企業や家庭の中に奉仕活動が浸透しつつあり、世の中を挙げて社会福祉活動しようという時代になっていました。そんな中で、我がクラブの伝統ある社会福祉活動の認知向上に努めました。

次に力を入れたのは国際化です。マレーシア

*1 **CAPNA(子どもの虐待防止ネットワーク・あいち)** CAPNA。「子どもの虐待防止ネットワーク・あいち(Child Abuse Prevention Network Aichi)」の略称。子供の虐待防止を目的として、弁護士・医師・社会福祉関係者・大学の研究者など関係機関との幅広いネットワークのもとに電話相談、危機介入、調査研究、社会啓発、援助・予防の五本柱で活動しているNPO団体である。この分野では全国的にみても、高い評価を得ている。

*2 **海外技術者研修協会中部研修センター** 財団法人海外技術者研修協会中部研修センター。第23回キワニス文庫の贈呈先。開発途上国に対する民間ベース技術協力機関で、開発途上国の技術者・経営管理者を対象とする研修事業を通じて、円滑な技術移転による各国産業・経済の発展を支援している。



堀篁登喜雄

で行われた第23回ASPAC（アジア太平洋総会）^{*3}大会に出席して感じたのは、社会性の高いキワニス活動と、自分たちが楽しむキワニス活動の二つがベースになっているということでした。マレーシアで坂国際委員長が日本の活動状況を報告されましたが、その際に三つのことをおっしゃいました。

一つ目は、日本キワニスの活動は着実にやっているということ。二つ目はメンバーを常に5%増加でいくということ。三つ目は、2000年までにIDD（ヨード欠乏症）に100万ドルの寄付をすること。このIDDへの寄付は現実となり、名古屋キワニスクラブが存在価値を見いだされたきっかけとなったのです。

同年の7月にはカナダのモントリオールで世界大会^{*4}が開催され、モルソン・センター

（2003年にベル・センターへ名称変更）という大会場で、IDD撲滅活動名誉会長の俳優ロジャー・ムーアさんに演説していただきました。またその際に赤澤璋一さんが、優秀な世界の十人に選ばれ、日本人ガバナーで初めて表彰されました。

この年の子育てフォーラムは、昭和女子大の西本鶏介先生とメルヘンハウスの三輪哲さんに「子育てのためになるチョットいいお話とホッとするひとときを」というテーマでお話をしていただきました。また子どもたちの活字離れを憂い、将来、本の好きな子どもに育ててほしいと願って毎年、本を贈呈しているキワニス文庫では、愛知県内の少年矯正4施設に贈呈しました。この活動は、いまや各地に広がっています。

社会公益賞の贈呈先は「社団法人認知症の人と家族を支える会・愛知県支部」^{*5}でした。この活動は、当時としては急速に進む高齢化の課題を先取りした優れた内容でした。

司会 その後の99年度は清水武さん、00年度は大橋小源治さんに会長を務めていただきました。では、01年度の会長を務められた清水さん、お願いします。

***3 第23回ASPAC(アジア太平洋総会)** 正式名称はキワニスアジア太平洋総会といい、国際キワニス・アジア太平洋地域のキワニアン
の増強と友好を深めるために、毎年、アジア太平洋地域内の国々で開催される国際会議のこと。第23回は1998年3月26日～28日にマレーシ
アのクアラルンプールで開催された。

***4 世界大会** 国際キワニス年次総会。国際キワニスが毎年6月または7月に開催する総会のこと。世界各地で開催されており、1998年は
カナダのモントリオールが開催地となった。役員を選任や国際キワニスの憲章ならびに細則の修正などが主な議題である。

***5 社団法人認知症の人と家族を支える会・愛知県支部** 第29回の社会公益賞の贈呈先。当時の名称は呆け老人をかかえる家族の
会・愛知県支部。認知症の人と家族をささえ「認知症でも安心して暮らせる社会」を目指して、認知症に関する正しい知識の普及及びその理解
の推進、認知症の人とその家族に対する相談及び指導等の支援、認知症に関する調査及び研究等認知症の予防からターミナルケアまで幅広
い領域で活動を行っている。



清水靖夫

清水 私は仕事で多忙を極めていた時期に堀籠さんより会長職のお話がありまして、お引き受けさせていただいたものの、出席状況その他いろいろとご迷惑をおかけし、あまり功績もなかったような記憶です。しかし、当時事務局長だった入谷さんに助けていただき、務めあげることができました。その代わりとっては何ですが、当時、在庫切れしていた30周年史を増刷するための資金を寄付させていただきました。

名古屋で開催された第29回ASPAC大会では、やはり会場は名古屋マリオットアソシアホテルでお願いするべきだということで、齋藤さんにご無理を申し上げました。齋藤さんをはじめ、名古屋キワニスメンバーにもサポートいただいたおかげで、アジア太平洋地域の12カ国から会員・家族あわせて762名の参加者をお迎えし、大成功を収めました。

会員増強については、私が中部経済同友会の代表幹事をしていたことから、その関係各位に

お願するなどし、会場内の活動ではなく、会場外でなんとか増やせないものかと奮闘しました。

社会公益賞は、「アジア法政情報交流センター」*6に贈呈しました。少し異例だったかもしれませんが、企業が東南アジアへ進出するにあたって、法整備が全然されていないという現状がありましたので、表彰させていただくこととなりました。

今振り返りますと、キワニスクラブの仲間に入れさせていただいたことで、さまざまな出会いがあり、人生の喜びのようなものを感じることができました。一期一会とはいいますが、本当に感謝しています。

司会 国際化支援活動に対する社会公益賞贈呈は清水さんのときでしたね。次は02年度の富田さん、いかがでしょうか。

富田 私はキワニスに入会して今年で18年目になりますが、10年ほど経った頃でしたか、竹見淳一さんから「仕事は忙しいとは思いますがキワニスと正面から向かい合うことも大切なことです」とのご教示をいただきました。

その後、例会で中山俊一さんの隣に座る機会があり、福祉に対する誠実なお考えをお聞きし、大変感銘を受けました。この二つの契機で「キワニス」に共感が生まれ、丁度その時期に会長を務めさせていただくことが出来た次第です。

*6 アジア法政情報交流センター 第32回の社会公益賞の贈呈先。ポルポト政権下での知識人抹殺政策により法律家がほとんどいなくなったカンボジア、また、社会主義経済の行き詰りから市場経済への移行を求めるベトナム、ラオス、モンゴルなどの法整備支援の窓口となり、現地の司法省の指導、法典整備、将来の人材育成などを行う団体。社会公益賞受賞の翌年には成果が認められて国から資金の援助を得られるようになった。



富田信夫

私の会長の時期は、名古屋ASPAC開催という具体的な目的へ第一歩を踏み出した頃で、資金的裏付けの大枠を作ることが課題であったと記憶しています。

東京クラブの佐藤さんの国際理事への立候補もあり、初めて国際的なキワニス活動に参加しました。

どのクラブも実に真面目なのですが、取り組み方は環境によりさまざまです。基本的な考え方を踏み外さなければどのような形づくりも出来るという印象を受けました。

このところメンバーシップ委員長を務めさせていただいておりますが、私なりにこんな「キワニス」にしたいといった気持ちを込め会員をお誘いすることで心が通じる想いがいたしております。

社会公益賞は中部盲導犬協会^{*7}でしたが、非常に希有な組織で有意義であったと思います。

「キワニス」でいろいろな経験をさせていた

だき、私の日々の生活の幅が豊かになりました。

「キワニアン」でよかったと思っています。

司会 では次に、03年、04年度と2年間会長を務められた齋藤さん、お願いします。

齋藤 私の任期はASPACに始まり、ASPACに終わったという印象です。01年から準備委員会が始まり、小山さんを代表として動き出しました。第29回のASPAC大会^{*8}は、日本地区が担当し、名古屋がホストクラブを務めました。主催はあくまで日本地区ですから、双方がどのような関係を保つかを議論しました。結局、やる以上はとことんやるべしとなりました。

無事やり終ってみると、ここにも「エネルギー不減の法則」が働いているというのが実感です。インプットしないものは、アウトプットされて来ません。全員参加で情報が共有され、共通の認識が出来上がると、ここぞというときに一斉に動き出すことができるのです。国鉄改革の作業でも同じ経験をしました。始めは先が全く見えないまま何度も打ち合わせを繰り返しているうちに、皆が同じ問題意識に到達してくると、自然に視野が広がり、組織が動き出すということを体験させてもらいました。二つ目に印象的だったのは、日本地区の規約がキワニスインターナショナルの中でも特異な存在であるといわれ、これを国際版に揃えるという議論が起

^{*7} 中部盲導犬協会 (財)中部盲導犬協会。第33回の社会公益賞の贈呈先。盲導犬の使用を希望する視覚障害者に、盲導犬との歩行、盲導犬の扱い方などを教え、盲導犬の普及を図ることを目的として活動している団体。国や地方自治体の補助金と、多くの市民の寄付や協力によって運営されており、また、特定公益増進法人としても指定されている。

^{*8} 第29回ASPAC(アジア太平洋総会) 第29回は名古屋クラブがホストを務め名古屋マリオットアソシアホテルで開催された。本誌62頁から73頁までの特集記事を参照。



齋藤 蒔

こったことです。しかし、活力の素は、そういう上意下達の形からは生まれません。やはり各クラブの多様なフットワークの積み重ねがあって初めて、日本地区、そしてインターナショナルが成り立って行けるのだと思います。そういう意味で目的をひとつにして、各クラブ、各地区がそれぞれのやり方でこれに取り組む、そんな結果がキワニスインターナショナルを発展させていくのだと思います。

司会 次に、05年度の会長を務められた入谷さん、お願いします。

入谷 私が就任した05年度は、ASPACの翌年であり、次の年には40周年が控えておりました。会長に就任するにあたって30周年誌を改めて読ませていただきましたが、そこで感じたのは、やはり名古屋キワニスの原点というのは和気

藹々がモットーであるということで、そういった意味で会員間の交流を重点に置きました。

実行したことのひとつが夜間例会^{*9}の開催です。夜間の方が参加者も多く、お酒も入るため、話しやすくなるのではということで、規約を改正させていただいて夜間例会も開催しました。その他、雪見と懇親の会や納涼と懇親の会^{*10}を家族参加型にし、その後も慣行的に行っています。

一方、40周年の前年に愛知万博が重なったので、「名古屋キワニスクラブ創立40周年記念ブレ事業」という位置付けで検討し、国内の各クラブに万博のチケットを129枚無料配布しました。なかなか思いつかないアイデアだと思いますが、皆さんのお知恵を借りて実現することができました。東京からはかなりの人数が来場され、夜に食事会を開かせていただくほどでした。

会員増強は、前年がASPAC開催に向けての活動の主体だったことから、なかなか難しいとい



入谷正章

^{*9} **夜間例会** 名古屋キワニスクラブの通常例会は毎週金曜日（午後0時30分より午後1時30分迄）に名古屋国際ホテルにおいて開催することを原則としているが、平成17年度より年1～2回程度夜間に行うことになった。

^{*10} **雪見と懇親の会・納涼と懇親の会** 夜間に行う食事会で、その期の会長・事務局長が毎回趣向を凝らして開催している。平成17年度からはご家族の参加も可能になった。

う現状がありました。04年度、齋藤さんの時代にシニア制度を導入していただいたのですが、05年度になって、富田さんを委員長とするメンバーシップ委員会を中心に人数を増やしていただきました。これもある意味では、名古屋キワニスの持つパワーだと思っています。一つ残念だったのは、目標通りに会員増強を達成できたのに、クラブ全体として表彰の対象とならなかったことです。

司会 では最後に、06年度の会長である宮田さんにお話を伺います。

宮田 私は2000年に入会しまして、3、4年後に、40周年記念の年に会長との含みで副会長として齋藤委員長の下でASPACの準備状況を見せていただきました。その後、会長に就任しましたが、経験不足で仕事の進め方がわからず苦労いたしました。もちろん役員や委員長の皆さんに助けていただき、会員の皆様からの温かい励ましも得て、なんとか40周年記念行事に向けて頑張ることができました。

その過程で、30周年誌や皆さんのご意見がありましたように2、3年務めて初めて自分の考えを実現できるようになるのかな、と感じました。また逆に、私はできるだけ大勢の方、特に若い方々に役員になっていただき、キワニス活動の中心に入って経験を積んでもらうことも大切だと考えます。その方がキワニスについての理解が深まり、色々の局面で方向付けが楽にもなるし、将来に備えることにもなります。もちろん、会員夫々に事情があり、長く務めてもらえない場合もあり、理想どおりにはいかないことも多

いですが、少なくともその努力は必要だと思います。

事務室の話になりますが、国際ホテルに開設して35年目となった06年早々に、国際ホテルの方から改装計画に合わせて、大きい部屋に移ってはどうかという提案がありました。約2倍の広さの部屋を準備できるとのことで、事務局長以下、事務局の皆さんがホテル側と折衝を重ね、費用、賃貸料を最小限に抑えながら、4月に完成しました。事務所としての見栄えは当然として、数名の打ち合わせコーナーを持つことができる等、機能も充実して、会員の皆さまにも喜んでいただいています。国際ホテルのご協力にも大変感謝しております。



宮田 亮

● 今後のキワニスへの期待

大見 私が会長の際に15番目の新潟クラブができましたが、現在は金沢、松江を入れて24になるほどの目覚ましい増強ぶりです。この波に乗って、これからキワニスクラブをもっと上手くPRしていけたらと思います。

堀籠 セラーズ会長の言葉である「六つのビタミンE」“Energy”“Enthusiasm”“Expectation”“Excellence”“Education”“Enjoyment”を、キワニスクラブの基本テーマとして大切にしていくこと。社会奉仕活動に関しては、小さくてもいいから継続することが大事だと思います。

清水 子育てフォーラムなどの講演会に対しての支援は、皆さんに大変喜ばれていますので、今後も力を入れて行ってほしいですね。

富田 名古屋キワニスも時代と共に変わってきています。また変わっていくでしょう。新しく入会された皆さん、そして女性会員の諸姉、よき伝統の上に更なる息吹を吹き込んでください。

齋藤 これからも名古屋クラブらしい、名古屋でしかやれない活動をどう積み重ねていくことができるか。「児童虐待」についても、会員一人ひとりの問題としてどう捉まえられるかがスタートになると思います。

入谷 今後も若い方に入会いただいて、後継者を育てていくべきだと思います。一日議長もありますから、若い会員の方にもっと誇りを持ってもらえるといいですね。

宮田 40年の歴史を踏まえて、新たな転換期に来ている気がします。周年記念行事として今回は発明協会へ協賛することになりましたが、今後も、社会奉仕、あるいは児童福祉の新しいテーマが出てくるよう努力したいと思います。

皆さんのお話を聞いていると、この10年間のさまざまな出来事が名古屋キワニスクラブをぐっと成長させてくれたのだと感じます。名古屋キワニスクラブのPRについても、もっと上手くできるのではないかというお話がありましたが、会員増強やさまざまな活動を通じて、今後の名古屋キワニスクラブを皆さんで盛り上げていきましょう。

40周年特別企画 女性会員による座談会



平成18年4月21日(金)
於 名古屋国際ホテル3階会議室

●出席者 (敬称略 五十音順)

青山光子

名古屋市立大学 名誉教授

安藤雅子

(株)美濃商店 代表取締役社長

石田雅子

華道石田流 副家元

鬼頭昌子

日進電気(株) 代表取締役社長

佐々木惇利子

(特)日本室内楽アカデミー 理事長、ピアニスト

福西辰子

名北工業(株) 代表取締役会長

山本光子

ピープルスタッフ(株) 専務取締役

●誌上参加

九鬼綾子

ミックインターナショナル(株) 代表取締役社長

城戸わ子

画家

印象深い思い出

山本 本日はお忙しいところをお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。今回は広報担当といたしまして私が司会を務めさせていただきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。



山本光子

さて、キワニスクラブの創立40周年記念ということで、今回、特別にこのような女性会員のみの座談会を設けさせていただきました。まずは皆さま、「キワニスクラブでの印象深い思い出」についてお話いただけますでしょうか。

青山 私は平成9年の7月に入会いたしました。入会したきっかけは教育関係のキワニス会員の方から、「クラブに入会してみませんか」と声をかけていただいたからです。当時、まだ女性のクラブ会員はなく、女性も会員にという試み

があったようです。非常に興味深いお話でしたが、実は一度お断りをさせていただいたんですよ。例会などの集まりは毎週決まった日時に開催されますので、私には時間が取れないと感じたからです。



青山光子

ですが、お声をかけてくださった方が「この会には出席できるときに出席すればいいのですよ」と言ってくくださったので、それならば私でも良いかもしれないと思い、入会を決めました。実際に入会してみても、キワニスクラブはとても和やかな印象を受けましたね。周りは男性ばかりだったですけど、私自身が医学部出身だったこともあり、男性の会というイメージにはさほど抵抗はありませんでした。また、夜の例会に出席する機会はなかなかないのですが、「山梨リニア実験センター」訪問の持出例会※に参加したときは、とても楽しかった記憶があります。

山本 確かにキワニスクラブへの入会を勧めてくださいるときに「参加しやすい会ですよ」といわれることは多いですね。不参加のときにメ

ーキャップがしやすいので、とても助かっています。

鬼頭 私も「全部出席しなくてもいいし、心配はいらぬよ」と声をかけていただいたことを思い出します。それですっかり安心して入会させていただきました。

青山 本当に気楽だし、雰囲気もとてもいい会だと思いますよ。

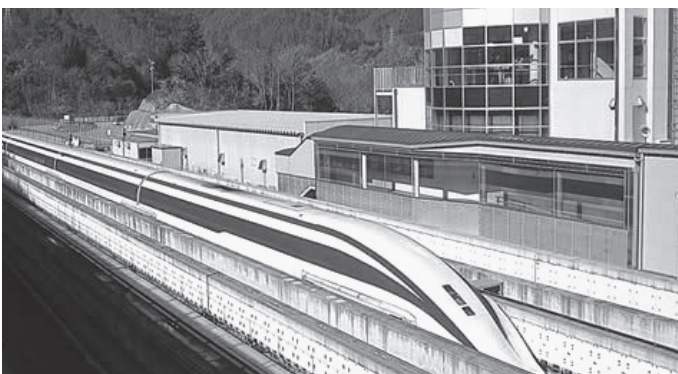
山本 その上、持出例会では、いろいろな見学や体験を通じて楽しく学ぶことができますよね。

安藤 私は女性の中では最後に入会させていただきましたメンバーです。平成12年のことでした。福西さんと仕事で面識がありまして、そのご縁で入会させていただきましたのですが、会員の皆さんが立派な



安藤雅子

方たちばかりで圧倒されました。入会ときには「簡単なあいさつをお願いします」といわれて、本当に簡単に挨拶をさせていただいたんですけども、新しくお入りになる会員の方たちはとても立派な挨拶をされるので、少し恥ずか



※ 齊藤会員のお骨折りにより、山梨リニアモーターカー視察の持出例会を平成12年7月14日、平成13年12月12日、平成14年9月12日、平成15年10月9日の計4回開催しました。山梨リニア実験線を訪れ、最速450キロメートルのスピードを体感しました。

しい思いをしたことが今でも思い出されます。

石田 私は平成11年に入会させていただいたのですが、普段から女性に囲まれて仕事しておりますので、男性ばかりという状況に最初は



石田雅子

とても緊張いたしました。でも、皆さんとても親切にしてくださいまして、お話はとても興味深く、毎回勉強させていただいています。また、愛知万博の会場の下見にご一緒させていただいたことも、いい思い出です。そして、特に印象的だったのは、ASPAC名古屋大会の会場に花を生けたことでしょうか。ちょうど3月でしたので桜を生けることにしたのですが、当日ツボミでは困るので、ちょうど当日に咲くだろうという桜を選ぶのに非常に苦労しました。ツボミのままなかなか咲きそうになかったり、予定通りに咲くかどうか、また、早めに咲かせすぎではいけないし、咲かせすぎると運ぶ時に花が駄目になってしまいますので…。当日まではずっと気を揉んでおりました。まるで、わが子を育てているような感じでしたね。でも当日は見事に咲いてくれまして、皆さんに「桜を見ることができてよかったです」とお声をかけていただき、ほっと胸をなで下ろすことができました。

山本 ASPAC名古屋大会の会場のホテルには外国の方も多くいらっしゃったので、非常に喜ばれていましたよね。結構大きな桜のようにお見受けしたのですが、どうやって会場まで運ばれたのですか。

石田 会場自体が広大でしたので、桜も立派なものを選びました。桜を布や気泡シートで包みまして倒れないように、傷つかないようになど、基本のことですがいろいろと気を遣いながらトラックで慎重に運びました。

福西 大変でしたね。それにしても本当に桜には感動しました。

山本 ASPAC名古屋大会は会員の方々の協力で大成功でしたね。鬼頭さんはいかがですか？

鬼頭 私は会員の方から「非常に気楽で年配の方が多クラブだから、気兼ねしなくてもいいよ」と入会を勧められました。実際入ってみると気品が高く、立派な人ばかりで、いい会に入れていただいたと感じました。印象に残っているのは時速400キロを越えるリニアモーターカーに乗せていただいた体験と、毎年のクリスマス会ですね。それに、例会では男性がいつも品があって落ち着いていらっしゃることに驚きます。とても楽しい会に入会させていただいて、とても喜んでおります。

安藤 どなたもお優しいですね。

鬼頭 男性だけでなく女性もお優しい方ばかりで。本当に素晴らしい方がそろっていらっしゃいます。

佐々木 私は平成9年8月に入会しました。青山先生と同じで、講師として卓話に出させていただきます。入会の10年以上前でしたが、キワニスクラブの皆様がゆったりとした気分で最後まで話に耳を傾けてくださっ



佐々木仔利子

たのが印象的に残っています。私は出席が余りできないので、せめて講師の方のご紹介をして「穴埋め」をしたいと思っています。中でも印象的だったのは、ヘアアーティストの大林先生を講師にお招きした時でした。美容のお話でしたので男性の方も興味があるかとても心配でした。顔型によってどんな前髪が似合うかという話など、想像以上に男性の皆様が興味を持ってくださったので非常に嬉しかったですね。

石田 そうですね。私も大林さんの講話は楽しませていただきました。

佐々木 キワニスクラブではいろいろな分野の方のお話を聞くことができるし、貴重な体験もできますよね。

青山 確かにそうですね。私は男性のマナーがいいことにもいつも感心させられます。キワニスクラブの男性はいつも紳士的ですから。

福西 私も入れていただいて毎週緊張しておりました。去年は事務局長をさせていただきましたが、あまりお役に立てず反省致しております。私の最初のASPAC参加がタヒチで、そのときも男性会員の皆さんが気を遣ってくださり、本当に紳士的だなと思いました。例会のときはまた違う一面を拜見できましたしね。それにしてもこの会、やっぱり楽しまなきゃと思いま

すよ。私は時間がある限り、イベントに参加したいと思っています。タヒチ、そしてマレーシアのボルネオ、メルボルン、今年は高雄に行ってきました。私としては、まず参加することに意義があると思



福西辰子

っています。キワニスクラブでいろいろなことにお供をさせていただいたことで、このクラブには素晴らしい方たちがいらっしゃり、仲間に入れていただいたことがとても幸運なことなのだと改めて感じました。

山本 積極的に海外のイベントに参加されることは素晴らしいですね。

福西 今年の高雄大会はとても盛大で圧倒されました。高雄も本当に良いところでしたよ。皆さんもぜひ積極的に参加してみてくださいね。

鬼頭 スケジュールが合うときにはぜひ参加したいですね。

福西 来年はフィリピンのマニラですので、ぜひいらしてください。その次は確かインドネシアのジャカルタだったと聞いています。



「ASPAC」＝アジア太平洋総会
第29回は日本地区が担当、名古屋がホストクラブとなり、2004年3月11日～13日、名古屋マリOTTアソシアホテルに於いて「子供達の夢が未来を創る」をスローガンに掲げて開催。アジア太平洋地域の12カ国から会員・家族あわせて762名の参加者をお迎えして、各国のキワニアンと友好を深め、大成功を収めました。名古屋キワニスクラブのメンバーも全員参加の掛け声の下にさまざまなお手伝いに奔走しました。

鬼頭 女性一人での海外は危険も多いので、皆さんと一緒に行くことができるのはとてもいいですよ。

福西 クラブで行けば、皆さんがいらっしゃるので安心ですよ。普段は行けないようなところにも行くことができますし。

山本 そうですね。旅行では会員の皆さんのご夫婦仲がいいのも微笑ましいです。私のキワニスクラブの第一印象は、いろんな方にお会いできて貴重な話を聞くことができる、いい会だなという感じでした。私は、常々社会奉仕をしたいという気持ちはあったものの、現実的には何もできていなかったんですよね。けれどキワニスクラブに入会して、この会を通じて少しでも奉仕活動ができていのではないかという気持ちでいます。キワニスクラブは私にとって大切な会ですね。忙しくてなかなか出席できないことがありますけど。

鬼頭 例会に出席できないときは、切手を集めて出せばいいですよ。実際の出席は少ないけれど、切手のおかげで出席率がいいなんてこともありますから。

福西 切手は活用しないといけませんね。(笑)



鬼頭昌子

キワニスクラブに望むこと

山本 皆さんのお話を聞いているとキワニスクラブに入会して、本当に楽しく参加してい

っしゃるという印象を受けますね。では、次に女性会員としてクラブに望むことについて、お話を聞かせていただきたいと思います。

安藤 望むことは特にはないですね。今で十分楽しませてもらっています。

石田 私も同じです。クラブに入会してから、とてもいい社会勉強をさせていただいています。

鬼頭 私も本当に満足していますよ。例会が毎回とても楽しみで、仕事が忙しくて出席できる回数は少ないのですが、今日は出席できそうだなと思うと嬉しいんですよ。

石田 私は出席したいけれど、まだ予定がわからないということが多々あって、出欠席の連絡が遅れてしまうことがあります。そうするとクラブから連絡がきて、大変申し訳ない気持ちになりますね。

青山 ただ平成12年以降、女性会員が増えていないので、もう少し女性を増やしてもいいと思いますよ。もともとライオンズやロータリーなどは男性だけの集まりでしたから。やはり女性が増えることによって、雰囲気も変わるのではないかしら。

佐々木 私も女性一人で気軽に参加できる雰囲気づくりに力を入れていきたいと思いますね。どうしても女性一人というと、少し気を遣ってしまうところがあるように感じますので。

鬼頭 友達と一緒にだといいですよ。

佐々木 そうですね。女性同士でもっと誘いあってもいいと思います。女性だけの同好会をつくるのはどうでしょうか。

福西 いいですね。

佐々木 グルメの会はどうでしょうか。高価なものをいただくのではなく、気楽な食事の会にして、皆さんで会話を楽しみたいですね。

福西 そのときは男性を連れてきてもOKですよ？（笑）

佐々木 それもいいですね。皆さんで店を選ぶ当番を決めたりして、それぞれのお勧めの店を紹介し合って、レポートリーをどんどん増やしていけばいいと思いますよ。

青山 では、ぜひ女性中心でグルメの会を結成しましょう。料理といえば、例会の料理内容は皆さんいかがですか？ もう少しヘルシーな料理でもいいのかもしれませんがよ。

鬼頭 そうですね。少し量が多いと感じるときも…。

山本 男性にはちょうど良いかもしれませんね。私はつられて全部きれいにいただいてしまいますけど…（笑）

青山 やはり年齢が上の方が多いですから、時には生活習慣病を防ぐような健康を考えたメニューにするのもいいですね。

一同 さすが青山先生！

山本 料理もグルメ同好会も、ぜひ具体化していきたいですね。それにしてもキワニスクラブに入会して、素晴らしい方々にお会いでき、本当によかったなと思います。それは私だけではなく、皆さんも同じ気持ちだということを感じることができました。このような場を設けることができ、幸いでした。本日はどうもありがとうございました。



●誌上参加

九鬼綾子

名古屋キワニスクラブには平成9年7月11日に入会させて頂きましたが、一番印象深い出来事は、やはり名古屋で開催されたASPAC会議だったと思います。それまで、名古屋の会員の方との交流がキワニスクラブの活動と思いがちでしたが、一連の会議をお手伝いしている中で、他地域のクラブとの繋がりを強く認識できた場でした。

又、他に色々な会合がある中で、とてもいいと思っておりますのは、毎回着席札をとってその番号に座るというシステムです。当会はとても幅広い分野そして年代の会員の方がいらっしゃいますので、日頃あまり接点のない業界のお話などをお聞きできます。卓話も楽しみですが、それ以上に、ランチを頂きながらの会員の方とのお話が、私にとってとても有意義な時間となっています。



城戸わ子

名古屋キワニスクラブ創立40周年を迎える記念すべき年であります平成18年8月に入会をさせて頂き、大変光栄に存じております。

微力ではございますが、芸術を通して、何かしらお役に立つことが出来るならと思っております。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。



歴代役員表

年度	役職	会長	前会長	副会長	会計監事	事務局長	前事務局長	相談役	総務委員長	事業企画委員長
66年度 (46名)		野瀨 三治		佐藤 政一 根本 裕彦	御友 重信	安東 重紀			中山 俊一	織田 稔
67年度 (51名)		野瀨 三治		佐藤 政一 根本 裕彦	御友 重信	中山 俊一			中山 俊一	織田 稔
68年度 (64名)		野瀨 三治		佐藤 政一 根本 裕彦	御友 重信	中山 俊一			前田 武一	織田 稔
69年度 (63名)		野瀨 三治		佐藤 政一 門司 良弼	御友 重信	中山 俊一			前田 武一	織田 稔
70年度 (67名)		佐藤 政一		門司 良弼 田中 精一 豊田章一郎	御友 重信	中山 俊一			前田 武一	加藤 衛
71年度 (102名)		田中 精一	佐藤 政一	豊田章一郎 御友 重信 浅井 岬一	加藤 衛	中山 俊一			前田 武一	加藤 衛
72年度 (103名)		豊田章一郎	田中 精一	御友 重信 浅井 岬一 前田 武一	加藤 衛	相羽 雅文	中山 俊一		松本 省吾	加藤 衛
73年度 (103名)		御友 重信	豊田章一郎	前田 武一 浅井 岬一 坂上 忠治	加藤 衛	小森 治雄	相羽 雅文	田中 精一 中山 俊一	松本 省吾	野呂 八束
74年度 (100名)		前田 武一	御友 重信	坂上 忠治 浅井 岬一 松本 省吾	加藤 衛	山口 忠雄	小森 治雄	田中 精一 中山 俊一 豊田章一郎	中山 俊一	宗像 桂
75年度 (102名)		坂上 忠治	前田 武一	松本 省吾 浅井 岬一 山口 節三	加藤 衛	永富 正	山口 忠雄	田中 精一 中山 俊一 豊田章一郎	中山 俊一	宗像 桂
76年度 (106名)		松本 省吾	坂上 忠治	山口 節三 浅井 岬一 竹見 淳一	中川 進	永田 育男	永富 正	田中 精一 中山 俊一 豊田章一郎 仲谷 義明	入谷 規一	河合 恒人
77年度 (103名)		山口 節三	松本 省吾	竹見 淳一 河村 稔	中川 進	伊藤 保男	永田 育男		水野唯一郎	河合 恒人
78年度 (110名)		竹見 淳一	山口 節三	河村 稔 水野唯一郎	中川 進	水谷 至郎	伊藤 保男		御友 重信	松本 省吾
79年度 (109名)		河村 稔	竹見 淳一	水野唯一郎 友田 正勝	伊藤宗太郎	赤塚 邦夫	水谷 至郎		浅野 悠吉	松本 省吾
80年度 (111名)		水野唯一郎	河村 稔	友田 正勝 広沢 金久	伊藤宗太郎	渡部 照夫	赤塚 邦夫		竹見 淳一	松本 省吾
81年度 (111名)		友田 正勝	水野唯一郎	広沢 金久 戸谷 徹造	伊藤宗太郎	佐久間 啓	渡部 照夫		竹見 淳一	松本 省吾
82年度 (104名)		広沢 金久	友田 正勝	戸谷 徹造 河合 恒人	伊藤宗太郎	鈴木 勉	佐久間 啓		竹見 淳一	松本 省吾
83年度 (110名)		戸谷 徹造	広沢 金久	河合 恒人 紅村 文雄	伊藤宗太郎	河合 甫	鈴木 勉		河村 稔	山口 節三
84年度 (106名)		河合 恒人	戸谷 徹造	紅村 文雄 仲谷 義明	伊藤宗太郎	竹田 光宏	河合 甫		松本 省吾	山口 節三
85年度 (110名)		紅村 文雄	河合 恒人	仲谷 義明 井上丈太郎	伊藤宗太郎	小野 孝児	竹田 光宏		竹見 淳一	山口 節三

メンバーシップ 委員長	国際委員長	文化公益 委員長	広報委員長	レクリエーション 委員長	財務委員長	青少年教育 委員長
下山 佳雄	佐藤 政一				御友 重信	
倉持 弘	森村 太郎			相羽 雅文	御友 重信	
田中 精一	森村 太郎			相羽 雅文	御友 重信	
田中 精一	森村 太郎			相羽 雅文	御友 重信	
大角 信男	森村 太郎	浅井 呀一		相羽 雅文	石樽 安之	
大角 信男	森村 太郎	浅井 呀一	山本千吉郎	相羽 雅文	石樽 安之	
大角 信男	森村 太郎	入谷 規一	山本千吉郎	山口 忠雄	手塚 正夫	
仲谷 義明	平山 健	入谷 規一	山本千吉郎	山口 忠雄	水越 貫一	
仲谷 義明	紅村 文雄	栗本 一夫	織田 稔	相羽 雅文	広沢 金久	
紅村 文雄	森村 太郎	仲谷 義明	織田 稔	相羽 雅文	御友 重信	
紅村 文雄	山口 時雄	戸谷 徹造	織田 稔	相羽 雅文	御友 重信	
紅村 文雄	山口 時雄	戸谷 徹造	織田 稔	相羽 雅文	御友 重信	
紅村 文雄	山口 時雄	戸谷 徹造	織田 稔	相羽 雅文	広沢 金久	河合 恒人
紅村 文雄	田中 精一	戸谷 徹造	織田 稔	相羽 雅文	広沢 金久	河合 恒人
紅村 文雄	田中 精一	戸谷 徹造	織田 稔	相羽 雅文	御友 重信	河合 恒人
紅村 文雄	田中 精一	河村 稔	織田 稔	相羽 雅文	御友 重信	河合 恒人
紅村 文雄	田中 精一	浅井 呀一	織田 稔	相羽 雅文	御友 重信	河村 稔
竹見 淳一	田中 精一	浅井 呀一	織田 稔	相羽 雅文	御友 重信	岡田 博
竹見 淳一	田中 精一	浅井 呀一	河村 稔	相羽 雅文	広沢 金久	山口 政治
松本 省吾	田中 精一	浅井 呀一	河村 稔	相羽 雅文	広沢 金久	山口 政治

役職 年度	会長	前会長	副会長	会計監事	事務局長	前事務局長	副事務局長	総務委員長	事業企画 委員長
86年度 (111名)	仲谷 義明	紅村 文雄	井上丈太郎 川勝 慶一	伊藤宗太郎	竹田 光宏	小野 孝児		相羽 雅文	山口 節三
87年度 (110名)	井上丈太郎	仲谷 義明	川勝 慶一 坂 芳雄	伊藤宗太郎	野々垣俊助	竹田 光宏		紅村 文雄	山口 節三
88年度 (114名)	坂 芳雄	井上丈太郎	大津 年正 杉浦 旭	伊藤宗太郎	大崎 博	野々垣俊助		紅村 文雄	河合 恒人
89年度 (112名)	大津 年正	坂 芳雄	杉浦 旭 田中 正守	伊藤宗太郎	水谷 至郎	大崎 博		紅村 文雄	河合 恒人
90年度 (116名)	杉浦 旭	大津 年正	田中 正守 林 哲郎	伊藤宗太郎	宮島 鈔治	水谷 至郎		紅村 文雄	河合 恒人
91年度 (119名)	林 哲郎	杉浦 旭	伊藤宗太郎 石河 正利	村上 和夫	三宅 大策	宮島 鈔治		紅村 文雄	河合 恒人
92年度 (127名)	伊藤宗太郎	林 哲郎	石河 正利 小山 敬	村上 和夫	野崎 弘之	三宅 大策		紅村 文雄	浅井 岬一
93年度 (131名)	石河 正利	伊藤宗太郎	小山 敬 白井 文吾	村上 和夫	梅村 直孝	野崎 弘之		紅村 文雄	林 哲郎
94年度 (129名)	小山 敬	石河 正利	白井 文吾 石原 明	伊藤 哲	三宅 大策	梅村 直孝		小森 治雄	水谷 至郎
95年度 (122名)	白井 文吾	小山 敬	石原 明 大見 道夫	伊藤 哲	村上 和夫	三宅 大策	大崎 博	広沢 金久	竹田 光宏
96年度 (119名)	石原 明	白井 文吾	大見 道夫 堀籠登喜雄	伊藤 哲	大崎 博	村上 和夫	三宅 大策	広沢 金久	竹田 光宏
97年度 (121名)	大見 道夫	石原 明	堀籠登喜雄 大橋小源治	伊藤 哲	三宅 大策	大崎 博	小出 恭一	広沢 金久	竹田 光宏
98年度 (114名)	堀籠登喜雄	大見 道夫	大橋小源治 清水 武	伊藤 哲	小出 恭一	三宅 大策	松野 信昭	清水 靖夫	齋藤 蒨
99年度 (127名)	清水 武	堀籠登喜雄	大橋小源治 清水 靖夫	伊藤 哲	丹下 茂佑	小出 恭一	松野 信昭	大見 道夫	齋藤 蒨
00年度 (124名)	大橋小源治	清水 武	清水 靖夫 富田 信夫	伊藤 哲	松野 信昭	丹下 茂佑	入谷 正章	大見 道夫	齋藤 蒨
01年度 (128名)	清水 靖夫	大橋小源治	富田 信夫 齋藤 蒨	伊藤 哲	入谷 正章	松野 信昭	大沢 和宏	大見 道夫	丹下 茂佑
02年度 (119名)	富田 信夫	清水 靖夫	齋藤 蒨	伊藤 哲	大沢 和宏	入谷 正章	立松 健	大見 道夫	丹下 茂佑
03年度 (122名)	齋藤 蒨	富田 信夫	入谷 正章	伊藤 哲	立松 健	大沢 和宏	二村 昌土	大見 道夫	和田 政司
04年度 (115名)	齋藤 蒨	富田 信夫	入谷 正章 宮田 亮	伊藤 哲	二村 昌土	立松 健	福西 辰子	大見 道夫	和田 政司
05年度 (129名)	入谷 正章	齋藤 蒨	宮田 亮 矢野 武	伊藤 哲	福西 辰子	二村 昌土	丹下 茂佑	川澄 昭治	和田 政司
06年度 (140名)	宮田 亮	入谷 正章	矢野 武 野嶋 武孝	伊藤 哲	丹下 茂佑	福西 辰子	池永 滉	川澄 昭治	和田 政司

※ 会員数は期末

メンバーシップ 委員長	国際委員長	交流委員長	文化公益 委員長	広報委員長	レクリエーション 委員長	財務委員長	青少年教育 委員長	ASPAC実行 委員長	40周年記念事業 実行委員長
竹見 淳一	田中 精一		浅井 岬一	河村 稔	松本 省吾	広沢 金久	河合 恒人		
竹見 淳一	田中 精一		浅井 岬一	河村 稔	松本 省吾	広沢 金久	河合 恒人		
竹見 淳一	田中 精一		浅井 岬一	河村 稔	松本 省吾	広沢 金久	仲谷 義明		
竹見 淳一	田中 精一		浅井 岬一	河村 稔	松本 省吾	広沢 金久	仲谷 義明		
竹見 淳一	田中 精一		浅井 岬一	河村 稔	松本 省吾	広沢 金久	井上丈太郎		
竹見 淳一	田中 精一		浅井 岬一	坂 芳雄	松本 省吾	広沢 金久	井上丈太郎		
竹見 淳一	田中 精一		中山 俊一	白井 文吾	松本 省吾	小田 善一	井上丈太郎		
竹見 淳一	田中 精一		中山 俊一	浅井 岬一	松本 省吾	小田 善一	井上丈太郎		
竹見 淳一	田中 精一		中山 俊一	紅村 文雄	松本 省吾	小田 善一	井上丈太郎		
竹見 淳一	田中 精一		中山 俊一	紅村 文雄	松本 省吾	小田 善一	井上丈太郎		
竹見 淳一	田中 精一		中山 俊一	紅村 文雄	松本 省吾	小田 善一	小山 敬		
林 哲郎	坂 芳雄		清水 武	紅村 文雄	岡地 悦次	白井 文吾	小山 敬		
林 哲郎	坂 芳雄		石原 明	紅村 文雄	岡地 悦次	白井 文吾	小山 敬		
林 哲郎	坂 芳雄		石原 明	紅村 文雄	岡地 悦次	白井 文吾	小山 敬		
堀籠登喜雄	坂 芳雄		石原 明	劔持 一郎	岡地 悦次	白井 文吾	小山 敬		
堀籠登喜雄	坂 芳雄		清水 武	劔持 一郎	岡本 藤太	白井 文吾	小山 敬		
堀籠登喜雄	坂 芳雄		清水 武	劔持 一郎	岡本 藤太	白井 文吾	太田 正光		
木ノ原長矩	坂 芳雄		石黒伊三雄	片桐 清志	岡本 藤太	白井 文吾	太田 正光	小山 敬	
木ノ原長矩	坂 芳雄		石黒伊三雄	片桐 清志	岡本 藤太	白井 文吾	河合 恒人	小山 敬	
富田 信夫		清水 靖夫	西 譲一郎	片桐 清志	岡本 藤太	白井 文吾	河合 恒人		堀籠登喜雄
富田 信夫		清水 靖夫	西 譲一郎	片桐 清志	岡本 藤太	白井 文吾	齋藤 蒔		堀籠登喜雄

委員会の活動

総務委員会

委員長 川澄 昭治

総務委員会の主たる業務は次のとおりであり、設立時より特に変更されることなく継続されている。

1. 名古屋キワニスクラブの基本的な運営方針についての企画立案
2. 名古屋キワニスクラブの規約・内規の検討ならびに改訂
3. チャーターナイト夜間例会における皆勤賞の対象者の選定と賞品の検討・決定
4. 事務局員の労務管理と労働条件の検討
5. 事務局の備品管理



新事務局

現在の活動の中心は2. についてである。40年前のままの規約・内規について、現在の活動とマッチしていない部分や、時代背景とズレているような部分についての検討論議を行っており、必要なら改訂作業を行いたいと思っている。

日常活動は別として、04年のASPAC名古屋大会について付言しておきたい。総務委員会の担当は、大会受付全般、接客、折衝、各種準備等であった。参加人数762名（内外国人427名）の受付接遇等は、大会前日をピークに4日間大見前委員長中心に委員だけでなく他の委員会メンバーの応援も得て、大会大成功の縁の下の力持ちとして地味な作業ながら大奮闘の活動であった。

事業企画委員会

委員長 和田 政司

事業企画委員会は、名古屋キワニスクラブ創立当時より置かれた歴史ある委員会ということで、役割も大きく、重要かつ責任のある委員会といえる。

現在の活動内容としては、

1. クリスマス家族会、チャーターナイトなど名古屋キワニスクラブの特別例会行事の計画・運営を担当し、会員相互の交流と親睦を深めること。
2. 春秋の家族旅行会を企画し、家族にもキワニスを理解できる場の提供をするとともに、家族間の交流、親睦を深めること。

以上を主な目的として活動している。

そして、名古屋キワニスクラブは今年創立40周年を迎え、事業企画委員会としても、創立40周年記念事業に積極的に参加し、スムーズな運営が出



クリスマス家族会

来るよう努めている。については、この節目の年に、当委員会の今までの在り方と活動内容を見直し、更なる活性化に向け再検討すべきであると思われる。

会員各位のご指摘やご助言を賜りながら、事業企画委員会として会員そしてご家族の皆様に喜んでご参加頂けるような企画立案とその実施を目指している。

メンバーシップ委員会

委員長 富田 信夫

本年、名古屋キワニスクラブは創立40周年を迎える。あらためて「創立30周年記念誌」を読み、先輩会員のキワニスに対する真摯な姿勢に感動を覚えた。

メンバーシップ委員会はこの伝統を引き継ぐべく鋭意会員増強の課題に取り組んでいるが、次の二点に留意したいと考えている。

第一に、常にこんな方にメンバーになってもらいたい、もらえたら嬉しい、としたさわやかな心を持つ。今様に言えば会員増強を楽しむこと。

第二に、会員との情報連携を密にする。楽しみの輪をひろげること。
である。幸い、05年度そして今期も会員数は着実に増加しつつある。

ASPAC名古屋大会開催による知名度の向上、女性会員、シニア会員制度導入も資するところ大であった。

05年度実績 期首会員数 115名

入会 35名 うち純新規 19名

退会 21名

期末会員数 129名 増加数 14名

今期、出足はやや遅れたものの目標5名は視野にとらえることが出来た。

「名古屋らしさ」の大切さが論ぜられるが、会員構成にも「東京」との違いが伺われる。

	名古屋クラブ	東京クラブ
官界	4名	8名
財界	105名	113名
(うち支店会員17)		
自由業	8名	14名
団体	2名	35名
その他	8名	42名
計	127名	212名

(全国キワニス職業別名簿 8/1-2005)



新入会員にバッチの贈呈

名古屋キワニスクラブはこれまで地元経済界を主体として成長を続けてきたが、今後の歩みの中でより幅を広げ奥行きを深めるよう会員増強を全うしていきたい。

交流委員会

委員長 清水 靖夫

2004年3月の当クラブ主催のASPAC名古屋大会を成功に導くために、前宣伝として、タヒチやコタキナバルにまで、会員有志が飛び回るなど、会員各位の懸命な努力の結集の成果もあって、名古屋大会は実に素晴らしかったと各クラブから絶賛を浴びた。



ASPAC高雄大会にて

その一山済んだあとの10月に交流委員長の拜命を受けた。その後、日本地区にもディビジョン制が施行され、名古屋・新潟・静岡が中部ディビジョンと指定され、交流することとなり、2004年11月と12月に新潟と静岡両クラブを訪問し、それぞれの活動状況報告などを含めて懇談してきた。その延長として、2006年4月7日、当クラブ夜間例会に新潟ならびに静岡の方々と松原市長ご出席のもと、懇親の場が開かれた。今後これらの交流を更に活発なものにして行きたいと考えている。

その他、国内においては、2004年の日本地区神戸大会、2005年の仙台大会に当会員有志が参加し、2006年9月の札幌大会にも参加した。

ASPACでは2005年3月にメルボルン大会に7名参加出席、2006年3月台湾高雄大会に16名出席した。特に高雄においては齋藤元会長のご尽力により、新幹線高雄駅と車両基地などの見学ができた。ただ、この2年間残念ながら、国際年次総会には当会員からは出席していない。

文化公益委員会

委員長 西 譲一郎

文化公益委員会は沿革的に ①社会公益賞と ②キワニス文庫の贈呈を2本の柱として活動を展開してきた。

社会公益賞は1968年を第1回として今年で37回、キワニス文庫は1975年から今年が32回目となる継続活動である。贈呈先は会員からの推薦、行政関連の情報などをベースとして、社会的要請も加味して選定してきた。積年の活動の結果、社会的評価も相応に確立してきた段階にある一方、授賞先の一巡感も否めず、また時流もあって2回目の贈呈先もありうるようになってきた。



キワニズドル

この10年では以上の2活動に加えて「キワニズドル」の贈呈が新しい3本目の柱活動として始まったのが特記事項である。

キワニスドール贈呈運動は1993年の南オーストラリアを発祥として2001年日本地区にも導入され、翌年より当地区も実施した。風変わりなノッペラボウの白地の人形だが、病院小児科やハンディキャップ施設の子供達の癒しの為にまた医療関係者と患者さんとの教材やコミュニケーションのツールとして好評を博している。人形の制作は他のボランティア団体への依頼もあるが主体は会員家族の奉仕参画を得ることによりキワニス運動の輪を拡充する一助ともなっている。

当委員会としては今後共、この3本柱を中心に活動の充実を図って行きたい。

広報委員会

委員長 片桐 清志

広報委員会では当クラブが実施する様々な社会奉仕活動を社会全般にPRすることを任務としている。各種活動の機会を捉えてホームページへの掲載やマスメディアへ働きかけて積極的な情報発信に努めている。

毎年恒例の広報活動としては以下の活動がある

1. 文化公益賞贈呈
2. キワニス文庫贈呈
3. AKK（愛知県高等学校国際教育研究協議会の略）名古屋キワニス国際教育研究助成

ASPAC名古屋大会（2004年3月）では以下の広報活動を実施した

1. 事前PR活動としてサバ大会用のPRビデオの作成とホームページを作成
2. マスメディアを個別に訪問し、ASPAC名古屋大会の開催概要を事前にPRし、各社の積極的な取材を要請した
3. 当日プログラムに協賛広告の掲載を依頼
4. 各国・地区の展示コーナーを準備すると共に、「愛・地球博」関係の展示コーナー、刈谷少年発明クラブの展示を実施
5. 記録写真チームを編成し、期間中の各種イベントをホームページに即日掲載し参加国へも情報発信を行った。また会場にスナップボードを用意して写真を貼り出し参加者にも開催状況を紹介した
6. 大会終了後は来賓、会員に記念写真を頒布した

創立40周年記念誌の発行に向け以下の準備と活動を展開している

1. 記念誌編集分科会を結成し、編集会議で記念誌の掲載内容を検討
2. 創立40周年記念事業の概要をマスメディアに事前にPRし取材を依頼
3. 記念式典用のプログラム冊子を作成
4. 創立40周年記念イベントでの記録写真の撮影



マスコミ取材

レクリエーション委員会

委員長 岡本 藤太

創立30周年当時はゴルフ会、カメラ同好会、囲碁の会と禅の会の4つがあった。10年がたち囲碁の会、禅の会がなくなり現在はゴルフ会とカメラ同好会だけとなり、夫々の活動状況は次のとおりである。

○ カメラ同好会

発足から14年が経過、指導者も山口節三さん、伊藤幸三さんから現在は寺社下先生に代わり年7～8回の指導会がある。

活動範囲も日本国内の旅行会はもとより海外のキワニス大会などに出席のときは現地の景勝、都市景観、遺跡や人物像などをカメラに納め、その作品はキワニス例会日に展示をして会員の皆さんの目を楽しませている。



○ ゴルフ会

ゴルフ会は約40年の永い歴史があり2006年3月で221回目を迎えた。

毎回20名ほどの参加があり、ときには、ご夫婦やゴルフ会会員以外の飛び入りもあり、賑やかで楽しいゴルフ会である。



ゴルフ会

例会のコース取りはキワニス会員に関係のコースを手配していただき、趣きの異なるコースでのプレーを考えている。

また、キワニス新会員の方には会員相互の交流や親睦に一番有効な場所と考えている。

2004年3月のASPAC名古屋大会では日本地区のキワニス会員有志参加のゴルフ会を企画、三好C.Cで開催。曇り空の中、参加者は大いにエンジョイされ、盛会のうちに帰られたことも、レクリエーション委員会の40年の活動の1つとして残るものである。

財務委員会

委員長 白井 文吾

かつてキワニスクラブは財政難を経験したことがある。その時は会費の値上げ案もあったが、とりあえずは支出を引き締めようということになった。そしてまず、例会の食事費を月一回はカレーライスにして引き下げることが決まった。第二弾は事務の合理化による人件費等の経費削減である。食費については「残飯が出るほどの分量は不要」とか「そばでよい」などという意見も出たが、カレーライスに落ち着いた。こうしてピンチを切り抜け、今日に至っている。



クリスマス家族会バザー

キワニスクラブの活動を支える財布の中身は、会費とハッピーボックスへの寄金、クリスマス家族会の

バザーの売り上げなどである。したがって会員の人数によって財政の大枠は決まる。その上で、きちんとした予算編成と予算執行があれば、健全財政は維持できることになる。かつての財政難は予算の執行がおおらか過ぎたところに原因があったようだ。

その後、メンバーシップ委員会による会員の増強ご努力の甲斐もあり、健全なクラブ運営が続いている。おかげさまで財務委員会はおだやかな日々を過ごさせていただいており、皆様に感謝申し上げます。

青少年教育委員会

委員長 齋藤 蒔

温故知新、青少年教育委員会は、名古屋キワニスクラブ発足の12年後、国際キワニス日本地区発足の年、1978年に開設された新しい委員会である。当時の経緯は詳らかではないが、当クラブ30年誌の座談会で竹見会員が、キワニスクラブ創設の功労者、鹿内氏のこんな発言を紹介されている。「日本には西欧のような社会奉仕の実績が根底にない。だから少年時代から社会奉仕のくせをつけるんだ」と。

当クラブでは、1980年から家庭教育講演会、1998年からなごや子育てフォーラムを、また2002年からはAKK国際教育助成を各々協賛して来た。加えて、社会公益賞やキワニス文庫において、また今回の創立40周年記念事業の柱、少年発明コンクール特別協賛などを通じて、健全な青少年育成の活動に取り組んでいるが、先人のころごしからすれば未だ途半ばと言わざるを得ない。さて、本年から日本地区各クラブは、目標を達成したIDD募金に代って、YCPO（幼児最優先）活動の一環として、児童虐待問題への取り組みを始める。大きな時代の変わり目に直面する家庭、学校、そして社会において、とかく犠牲になりがちな子供達をどうサポート出来るか、時代を担う青少年の健全育成の活動と並んで、互に自らの足元を固めながら、社会奉仕団体としての更なる前進を目指すことになる。



学校教育講演会

社会奉仕活動の記録

社会公益賞

キワニスクラブの社会奉仕団体としての役割・機能をより一層発揮するため、春の年中行事のひとつとして昭和43年（1968年）に制定しました。社会公益のために、世間に知られず、報いられることも少なく、長い間献身的に努力を続けておられる方々を探し求め、その方々に賞を贈り功績に敬意を表するとともに、その尊い存在を世間に広くご紹介しようという趣旨で行っています。

歴代受賞者

- | | | |
|------|------------|---|
| 第1回 | 1968. 1. 5 | 名古屋公衆医学研究所 所長 加藤勝也氏 |
| 第2回 | 1970.11.27 | 社団法人「あさみどりの会」 理事長 伊藤方文氏 |
| 第3回 | 1971.11.26 | 愛知県立名古屋聾学校 校長補佐 宮本 實氏 |
| 第4回 | 1972.12. 8 | 名古屋掖済会附属埠頭診療所 所長 市川 孟氏 |
| 第5回 | 1973.12. 7 | 労働福祉事業団労災義肢センター 研究員嘱託 林勝太郎氏 |
| 第6回 | 1974.12. 6 | 元・名古屋大学解剖学教室 技官 多畑利平氏 |
| 第7回 | 1975.12. 5 | 「ライトハウス」あけの星 声の図書館 朗読録音奉仕員 藤井美津枝氏 |
| 第8回 | 1976. 1.21 | 翠ボランティアグループ 代表 近藤ひさ子氏 |
| 第9回 | 1978. 4.28 | 「ライトハウス」あけの星 声の図書館 点訳奉仕員 橋本昌子氏
守山老人給食ボランティアグループ 代表 三谷節子氏 |
| 第10回 | 1979. 4.27 | 名古屋手話サークル「くすの会」 代表 土屋信男氏 |
| 第11回 | 1980. 4.25 | 主婦ボランティアグループ「のぞみの会」 代表 猪村礼子氏 |
| 第12回 | 1981. 4.17 | 豊田婦人ボランティアグループ 代表 豊田寿子氏 |
| 第13回 | 1982. 4.23 | 車いすセンター 代表 山田昭義氏 |
| 第14回 | 1983. 5.13 | 緑泉会青年の家 指導者 西尾長治氏
名古屋学生ボランティアサークル 代表 森川英之氏 |
| 第15回 | 1984. 4.27 | 夢工房 代表 荒井一也氏
愛知県重症心身障害児を守る会「ジュリアン」 代表 西尾新二氏 |
| 第16回 | 1985. 4.26 | 要約筆記グループ「OHPあいち」 代表 加藤裕史氏 |
| 第17回 | 1986. 4.25 | 厚生院ボランティアグループ「くすの会」 代表 長沼てる子氏
障害者リハビリボランティアグループ「たねの会」 代表 原 和美氏 |
| 第18回 | 1987. 4.24 | 社会奉仕団体鉄道少年団半田支部 代表 宮原宣義氏 |
| 第19回 | 1988. 4.22 | コジマ国際育英協会 主事 小島千鶴子氏 |
| 第20回 | 1989. 5.19 | 在宅老人ケア・ボランティアグループ「さつきの会」 代表 浅野久美子氏
在宅老人ケア・ボランティアグループ「ぶどうの会」 代表 牛田敏子氏 |

- 第21回 1990. 4.20 アジア保健研修所 代表 中村道太郎氏
- 第22回 1991. 4.26 OHP要約筆記等研究連絡会「まごのて」 代表 下出隆史氏
- 第23回 1992. 4.24 財団法人服部開会留學生育英会 代表 服部銀雄氏
- 第24回 1993. 4.23 EYE・マーク音声訳推進協議会 事務局長 磯野正典氏
- 第25回 1994. 4.22 C. A. N. HELP Thailand 会長 ハリー・レイ氏
- 第26回 1995. 4.14 消費生活グループ「双葉」 代表 山川幹子氏
- 第27回 1996. 4.14 世界寺子屋運動書き損じはがき回収キャンペーンボランティアグループ
- 第28回 1997. 4.11 子供の虐待防止ネットワーク・あいち (CAPNA) 代表 祖父江文宏氏
- 第29回 1998. 4.17 社団法人認知症の人と家族を支える会・愛知県支部 (旧名称 社団法人呆け老人をかかえる家族の会・愛知県支部) 代表 尾之内直美氏
- 第30回 1999. 4.23 日本口唇口蓋裂協会 常務理事 河合 幹氏
- 第31回 2000. 4.21 重度障害者の地域生活を支える会ぶなの家 代表 中井香代子氏
- 第32回 2001. 4.27 アジア法政情報交流センター センター長 佐々木雄太氏
- 第33回 2002. 4.26 財団法人中部盲導犬協会 会長 神作 博氏
- 第34回 2003. 5. 9 あいちホスピス研究会 会長 永井照代氏
岡崎ホスピスケアを考える会 会長 橋詰清子氏
- 第35回 2004. 5. 7 社会福祉法人養楽福祉会「養和荘」 荘長 小原伸二氏
長寿社会文化協会 (WAC) 中部ネットワークセンター 代表 岡山弘子氏
- 第36回 2005. 5.13 NPO法人チャイルドラインあいち 代表理事 山口真人氏 山口君子氏
財団法人愛知県母子寡婦福祉連合会 理事長 岡田弘子氏
- 第37回 2006. 5.12 特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネットワーク・あいち 理事長 岩城正光氏

キワニス文庫

名古屋キワニスクラブでは、「子どもたちの活字離れを憂い、将来本が大好きな子どもたちに育って欲しい」との願いを込めて、1975年より地域の福祉施設・病院などに「キワニス文庫」として書架と書籍を寄贈しています。この「キワニス文庫」の財源は、毎年暮れに実施するクリスマス家族会のチャリティバザーの収益金や、例会のハッピーボックスへの寄付、また旅行会、新年会、チャーターナイトなどのスナック写真の売り上げから拠出しています。

歴代贈呈先

- 第1回 1975. 3.27 身障者更正施設「緑風荘」
- 第2回 1976. 4.16 身障者療護施設「はなのき寮」
- 第3回 1977. 5.20 経費老人ホーム「緑寿荘」
- 第4回 1978. 4.28 山びこ文庫
- 第5回 1979. 4.27 名古屋厚生会「愛のホーム」

- 第6回 1980. 4.25 聖母カテキスタ会 ブラジル移住地日本語教室
- 第7回 1981. 4.17 聖母カテキスタ会 フィラデルフィア会「声の文庫」
- 第8回 1982. 4.23 養護施設「麦の穂学園」
- 第9回 1983. 5.13 希望の図書館
めぐみ文庫
- 第10回 1984. 4.27 中国人留学生施設「大内山塾」
- 第11回 1985. 4.26 身障者療護施設「一粒荘」
身障者療護施設「すぎのき寮」
- 第12回 1986. 4.25 春日井文庫連絡会
- 第13回 1987. 4.24 「知多文庫のつどい」知多文庫連絡協議会
- 第14回 1988. 4.22 西尾文庫連絡会
- 第15回 1989. 5.19 愛知県中国帰国者自立研修センター
- 第16回 1990. 4.20 岡崎市国際交流協会 日本語教室
- 第17回 1991. 4.26 名古屋市女性会館「女性情報センター」
- 第18回 1992. 4.24 財団法人国際留学生会館
- 第19回 1993. 4.23 愛知視覚障害者援護促進協議会
- 第20回 1994. 4.22 帰国児童生徒学習会「栄希望教室」
- 第21回 1995. 4.14 名古屋国際学園 名古屋国際学校
- 第22回 1996. 4.14 みどり子ども図書館
- 第23回 1997. 4.11 財団法人海外技術者研修協会中部研修センター
- 第24回 1998. 4.17 愛知県内少年矯正4施設
(名古屋少年鑑別所、瀬戸少年院、豊ヶ岡学園、愛知少年院)
- 第25回 1999. 4.23 財団法人国際環境技術移転研究センター
- 第26回 2000. 4.21 財団法人エヌジーケイ留学生基金
- 第27回 2001. 4.27 愛知県内病院内学級
- 第28回 2002. 4.26 愛知県内の施設内教育の学級
あいち小児保健医療総合センター
- 第29回 2003. 5. 9 あいち小児保健医療総合センター
- 第30回 2004. 5. 7 名古屋市子ども適応相談センター なごやフレンドリーナウ
名古屋市教育センター ハートフレンドなごや
名古屋市情緒障害児短期治療施設 くすのき学園
- 第31回 2005. 5.13 愛知県心身障害者コロニー中央病院及び施設内学級
- 第32回 2006. 5.12 名古屋市立大学病院小児科

家庭教育講演会協賛

名古屋キワニスクラブでは、青少年育成事業の一環として名古屋市教育委員会が主催する家庭教育講演会を長年にわたり協賛しています。家庭教育講演会は、教育の現場に携わっておられる方のお話を市内の小中学校の先生や父母の皆さんに広く聞いていただき、学校や家庭における教育に役立ててもらふ趣旨で毎年開催されています。

講演会協賛実績

- 昭和56年 児童文学者 岸 武雄氏 「いまの家庭教育の問題点」
- 昭和57年 篠ノ井旭高校校長 若林繁太氏 「現代っ子の行動と家庭教育」
- 昭和58年 児童文学者 椋 鳩十氏 「感動と人生」
- 昭和59年 都留文科大学学長 上田 薫氏 「親子の望ましいかかわり」
- 昭和60年 兵庫教育大学教授 上寺久雄氏 「家庭における親の教育力 ～母親のにおい・父親のひかり～」
- 昭和61年 国立教育研究所所長 鈴木 勲氏 「教育と文化について」
- 昭和62年 大阪教育大学助教授 服部祥子氏 「現代の親と子 ～子どもたちの豊かな未来のために～」
- 昭和63年 日本女子体育短期大学助教授 江幡玲子氏
「今、子どもたちは… ～子どもの世界と親のかかわり～」
- 平成元年 六甲カウンセリング研究所所長 井上敏明氏
「子供のストレスと心の健康 ～カウンセリングから大人の取り組みを考える～」
- 平成 2年 作新学院女子短期大学教授 加藤千佐子氏 「望ましい家庭教育 ～やる気のある子を育てる～」
- 平成 3年 女優 稲垣美穂子氏 「Baby・Baby」
- 平成 4年 教育評論家 斎藤次郎氏 「お父さん出番ですよ」
- 平成 5年 明治学院大学教授 神保信一氏 「ほめる・叱るはカウンセリングマインドで」
- 平成 6年 筑波大学教授 門脇厚司氏 「変わる社会と父親の役割」
- 平成 7年 千葉大学名誉教授 坂本昇一氏 「いじめ問題と対応 ～家庭教育を中心にして～」
- 平成 8年 愛知教育大学教授 渡辺久雄氏 「小・中学生とその親のメンタルヘルス」
- 平成 9年 川村学園女子大学教授 岡本包治氏 「親の生涯学習、子の生涯学習」
- 平成10年 目白学園女子短期大学副学長 真仁田昭氏 「揺れ動く子どもの心の内面と家庭のあり方」
- 平成11年 千葉大学教授 明石要一氏 「地域ぐるみの子育て考」
- 平成12年 岡山市旭川荘厚生専門学院 有森広子氏 「子どもと共に」
- 平成13年 青少年育成アドバイザー 青木信夫氏 「挫折と期待の中で ～素人カウンセラーの26年～」
- 平成14年 心理相談員 山本道子氏 「親も子も自分らしく生きる」
- 平成15年 シンガーソングライター 平松愛理氏 「子供は人生の教科書」
- 平成16年 声優 永井一郎氏 「育てる ～波平、大いに語る～」
- 平成17年 キャスター 木場弘子氏 「子育て中の皆さんへのメッセージ」
- 平成18年 作家 清水義範氏 「家庭で育てたい子どもの力」

AKK・名古屋キワニス国際教育研究助成 歴代受賞者一覧

教育現場の国際化が進む中、重要性を増している国際教育に関する研究を助成しています。対象は県内の高校などの教員で、このプロジェクトは愛知県高等学校国際教育研究協議会（AKK）と共同で行っています。

第1回 平成14年度

愛知県立豊橋聾学校 教諭 岩倉宏昌(グループ研究)

聴覚障害者の国際交流による異文化体験の拡充・深化 ～海外の聾学校訪問による国際交流を通して～

愛知県立御津高等学校 教諭 小柳津 佳久(グループ研究)

外国人留学生に対する効果的な日本語指導と、その発展としての日本文化体験学習

愛知県立名古屋西高等学校 教諭 筒井 正(個人研究)

多文化共生を目指した異文化理解教育カリキュラムの開発 ～グローバル化と外国人労働者をめぐって～

第2回 平成15年度

学校法人愛知学院愛知高等学校 教諭 伊佐治 浩(グループ研究)

国際理解選択コースの授業実践

愛知県立豊橋西高等学校 教諭 倉内弓子(個人研究)

高校における外国人教育の実践と課題 ～選抜、授業、課外授業、外国人生徒語学支援員について～

愛知県立千種高等学校 教諭 山森孝彦(グループ研究)

模擬国連会議を実施し、生徒が各国の代表として地球規模の問題を話し合う体系的な国際教育プログラムを構築することによって、国際問題に関心を持ち、将来、日本国内のみならず世界にその活躍の場を求める人材を育成する。

第3回 平成16年度

愛知県立平和高等学校 教諭 神谷貴司(個人研究)

愛・地球博の一市町村一國フレンドシップ事業に基づく、地元意識に根づいた国際交流の推進について

愛知県立旭丘高等学校 教諭 服部優子(グループ研究)

総合学習の時間における英語を使った国際理解教育

愛知県立加茂丘高等学校 教諭 鈴木三和子(グループ研究)

姉妹校との交流を通じての国際理解 ～日米の高校生が文化障壁を越える時～

第4回 平成17年度

愛知県立豊橋聾学校 教諭 加藤勝啓(グループ研究)

国際化に対応できる聴覚障害者(児)の育成を目指して ～カナダ・マニトバ聾学校との交流の推進～

愛知県立大府東高等学校 教諭 山本孝次(グループ研究)

高校時代の国際教育の在り方について ～生徒の進路にどう影響を与えるか～

愛知県立中村高等学校 校長 三宅正夫(グループ研究)

国際的視野を養うための教育実践 ～定期的な交換留学プログラムをめざして～

なごや子育てフォーラム実施内容

核家族化・少子化の進行によって、近隣との人間関係が希薄になり、子育ての伝承が断たれ、子育てに戸惑う保護者が多くなっています。なごや子育てフォーラムは保護者が抱く子育てへの不安やストレスを自分自身で乗り越えていける機会を作ろうと名古屋市幼児教育研究協議会が企画し、開催しています。

- 第1回 平成10年度 楽しさの広がる子育ての工夫 ～絵本とおはなしの魅力ある語りかけ～
昭和女子大学 教授 西本鶏介先生 メルヘンハウス 三輪 哲先生
＜キャッチフレーズ＞
子育てのためになるチョットいいお話とホッとするひとときを
- 第2回 平成11年度 クラシックコンサート(子供同伴) 名古屋フィルハーモニー交響楽団
＜キャッチフレーズ＞
子育て中のあなたに親子で楽しめる素敵な時間をプレゼント
- 第3回 平成12年度 親子で楽しむうたとあそび ジングル・ジャム
＜キャッチフレーズ＞
子育て中のあなたに親子で楽しめる素敵な時間をプレゼント
- 第4回 平成13年度 親子で楽しむうたとあそび ジングル・ジャム
＜キャッチフレーズ＞
子育て中のあなたに親子で楽しめる素敵な時間をプレゼント
- 第5回 平成14年度 講演会「子育てがづらくなったとき」 恵泉女学園大学 教授 大日向 雅美先生
＜キャッチフレーズ＞
子育て奮闘中のあなたへおくるメッセージ
- 第6回 平成15年度 講演と対談「親も子もともに育つもの」
大阪人間科学大学教授 服部祥子先生 対談者 森本曜子氏
＜キャッチフレーズ＞
子育て奮闘中のあなたへおくるメッセージ
- 第7回 平成16年度 講演会「おかあさんだって ほめられたい」 ルポライター 北村年子先生
＜キャッチフレーズ＞
子育て奮闘中のあなたへおくるメッセージ

発明とくふう展 名古屋キワニスクラブ賞

今年で60回という長い歴史を持つ「発明とくふう展」（発明協会愛知県支部主催）に「名古屋キワニスクラブ賞」を創設。未来を担う子供達が「ものづくり」を通じて科学する心を育む活動を支援し、今後10年間に亘って「発明とくふう展」に特別協賛し、発明協会愛知県支部に対し毎年30万円を贈呈いたします。

第1回 平成18年度

豊田市立末野原中学校

(受賞対象作品 『首のび防止ハンガー』 製作 豊田市立末野原中学校 2年 加納慧士)

ASPAC 2004 名古屋大会への取組み

全員参加の奮闘記

名古屋大会組織委員長(03、04年度会長) 齋藤 翁^{しげる}



会場の名古屋マリオットアソシアホテルのボールルーム・名古屋市消防局 brassバンドの演奏で盛大な開会式

どうする・ASPAC

第29回ASPAC（アジア太平洋総会）との出会いは本番の04年3月から遡ること三年半前のことになる。わが名古屋クラブが受け持ってやることになるらしいと聞かされ、その準備もあるので副会長に、とのご推挙を戴いたが、まさかそれからこのASPACなるものと長い長い格闘が始まろうとは考えてもいなかった。

それは丁度雲のかかった遥かなる山の頂きを目指す登山のような気分だった。どこが登山口で、果してどんな装備、準備でかかれば期日までに頂上に辿り着けるか。この会議のプロトコル（取決め）、仕組は、そしてどんな予算が組めるのか…。これらは後々一歩一歩、歩を進めて行くに従い、眼前の霧が晴れ次第に視界がひらけて来るように、文字通り案ずるより産むが易いと覚ることになるのだが、正直最初はクラブ全体がこんな手探りの気分に包まれていた。心配が募り極まるとき、人は開き直る。山より大きな鼠は出ない、やるしかない、01年10月に小山委員長の下に、常例の各委員会から関係するメンバーを集めた準備のための組織（後に委員会）を立上げることになった。

「全員参加」「自ら楽しむ心境で」をモットーにしていよいよ準備に取りかかる。一人でやれることには限りがあるが、志をひとつに、常に情報の共有化を心がけて、一人ひとりが自身の問題として受け止めることが出来ると組織は俄然威力を発揮する。ASPACは元来、遠来のキワニアン、ゲストを迎え旧交を暖め、平素の活躍ぶりを紹介し合う楽しい場である。これをやろう、あれは出来ないかと、まずはおもてなしづくりを楽しむ精神でと心懸けることにする。

ASPAC・取組み開始

最初に始めたのは情報集めである。日本地区が第7回の東京大会に次いで取り組んだのが阪神大震災直後の第20回大阪大会であるが、それから既に多くの年月が経過していた。日本地区事務局や大阪クラブを煩わせて当時の資料を探し出すなど、多々ご指南、ご協力を戴いておぼろげながら全体イメージの見当をつける。

むろん当クラブにはそれまで何回もASPACや世界大会に出席したことのある会員も少なくなかったが、何分それはゲストの立場であり、ホスト側として大会の全体像や舞台裏の仕掛けを知るものではない。そこで、名古屋大会のアピールの必要もあり、02年のタヒチ、03年のパースの両大会に参加し、ホスト役の目線で、つぶさに観察してこようと言うことになった。タヒチ大会では日本地区から初めて世界理事にチャレンジされる佐藤候補の選挙もあり、名古屋クラブも22名の会員、家族を送り出した。そしてめいめいが受付から会議、パーティ、エクスカージョンに至るまで、用意したチェックリストで総点検。翌年のパースは急遽マレーシアのコタキナバルに変更になったが、名古屋大会を翌年に控え28名の大デレゲーションで臨み、各国の要人とも接触を心懸けた。

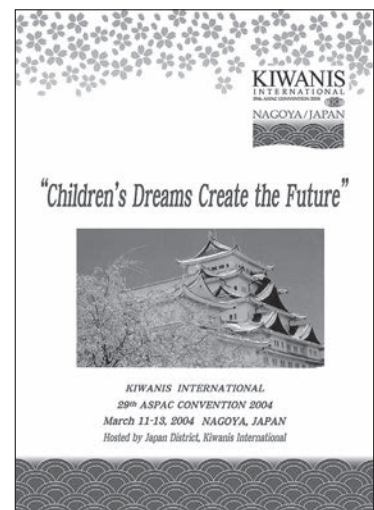
結果から見ると何れの大会もリゾート地での開催で、会場は自然に囲まれた全館貸切のホテル、流れる時間も実にゆったりとしていて、都心のシティホテルとなる名古屋ではそのままお手本というわけには行かない。日本では日本流で、名古屋らしさを出すのが一番だと割切ることにした。

その中でコタキナバル大会を取り仕切るコ・チエアマン（当時）のリ・カンユー氏らに時間を割いてもらい、大会の準備、運営について懇切丁寧なアドバイスを聴くことが出来たのは実に有難かった。携帯電話を片手に会議の進行にテキパキと指示を与えながらの対応だったが、多方面の協力者を動員した周到な準備があったことを知り、身の引締まる思いでもあった。その意味では、03年12月になってASPACのP・キンバリー議長とキワニス・インターナショナル（KI）のコラス・ノーリン部長にわざわざ名古屋に足を運んでもらい、会場の下見から日程の細部まで下打合せ願ったのも大変有難かった。何事も「会うのが一番」と言われる通りで、数々の疑問点の解消とともにその後の準備作業の詰めに向けて極めて有益な示唆が得られた。

加えて、ASPACのメンバーには経済的にも多様な国々があり、為替格差の問題が存在することも実感した。つまり同じ登録料200ドルでもその使い出のある国ほどその負担感も大きいのである。コスト高の日本で満足戴ける内容の大会を資金面の制約の中でどう遣り繰り出来るか。これについては、会員のチャンネルをフル活用して、数々のボランティア組織や多くの協力者のご支援を戴いたり、地元中心に少なからぬ協賛寄付や物品提供を仰ぐなどで乗り切ることが出来た。

万博との不思議なめぐり合わせ

併せて早々に手をつけたのが大会のスローガン決定とロゴマークづくりである。大会の正式エントリーのためには統一テーマであるスローガンは日本地区としての方向付けが必要で、小堀ガバナー（当時）のご指導を得て「子どもたちの夢が未来をつくる」（Children's Dreams Create the Future）とした。未だ貧困や疾病に悩む途上国、少子化や心の病に直面する先進国と、いつの時代も犠牲になるのは子供達。「ヤングチルドレン・プライオリティワン」を掲げるキワニスクラブとして、未来を担う子供達が夢を大きく育める状況づくりには何が出来るか。ここでも「日本に相応しい、名古屋だからやれることは何か」を考えること



(※1) ロゴマーク入りの公式プログラム



フォーラムのマリ・クリスチーナ愛知万博広報プロデューサー

になる。

折しも名古屋では翌年に「自然の叡智」「地球大交流」をテーマに万国博覧会が開かれる。21世紀の始めに、自然に学び自然とどう共生するかをモノづくりの風土、蓄積豊かなこの地で考えようと言うことだ。このお祭りは理屈なしで子供達の未来への夢を育くむ大きなきっかけになる。それはキワニスクラブの取組みともベクトルを同じくしている。加えてこの万博と名古屋クラブとは奇しくも不思議なめぐり合せがあった。つまり、30年前、クラブ創立十周年記念事業で1800本の樹木

を寄贈したのが今回万博のメイン会場となった旧青少年公園であり、その時の樹木は「キワニスの森」として大きく育ち、会場の「森林体感ゾーン」の一角に組込まれて大勢の観客の目に触れることになっている。それに当クラブのチャーターメンバー・トヨタの豊田名誉会長が万博協会の会長をお務めになる因縁もある。お蔭で名古屋大会への豊田会長のご出席、スピーチを始め、マリ・クリスチーナ広報プロデューサーのASPACフォーラムでの講演、万博会場ジオラマの展示などなど、大会スローガンを軸に記念すべき万博とのつながりが深い大会となった。

大会のロゴマークは地元の愛知県立大学の学生コンペで選ばれた。日本伝統の「青海波」を主題に、アジア太平洋のキワニアン達の海を越えた広がりや連帯をシンボライズした素晴らしい作品で、プログラム（※1 63頁参照）やポスター、バナー、ピンバッチ、名古屋クラブの法被などを次々と飾ることになる。

大会の設計図と部品づくり

一年間の勉強段階を終えて02年10月からは準備委員会を実行委員会に格上げした。ヒト、モノ（コト）、カネの各要素を設計図に描き、テーマごとの内容について責任を分担して詰め始める。コタキナバル大会のアジェンダ（議事日程）やプロシジャ（手続、要領）、それに大阪大会の予算記録などを参考に大まかな大会日程、予算、準備項目・スケジュールなどの部品を集め組立ててみるが、まだまだ見当づけの域を出ない。そんな中で、拡大事務局と称して陣容を強化し、テーマ別のグループごとに作業に着手する。スケジュール上急ぐものから、案内状の作成・発送、登録・受付及び宿泊の管理システム、予算・会計の仕組み、会議やセレモニー、パーティ、エクスカージョン等の設営、プログラム・アジェンダ等の制作・編集、VIPを始めとする接遇計画など、これらは後に本番当日の進行管理・役割分担に再編成することになるが、11のテーマ別にチームを編成（※2 70頁参照）した。そして各チーム毎に責任者と構成メンバーを決め、検討すべき項目をリストアップして一覧表に整理し、例会の前後等で定期的な打合せで進捗状況と問題点をチェックして行った。担当チーム内のメンバーのみならず、チーム横断の拡大事務局メンバー間での報告、調整を通じて、また、例会の席上折に触れて行ったクラブ全体への報告や要請とも相俟って、情報の共有化が進み、後々の実行段階で大きくものを言うことになる。

詰めるに従って増える一方の検討項目

検討を進めれば進める程詰めるべき項目は減るどころか逆に増えてくる。タイムリミットに向けて大から

中、中から小へと具体化に向けてやるべき事柄は次第に細分化され、検討項目相互の関連（※3 71頁参照）も見え始める。最終的には、本番当日用の項目も含めて累計で約70、その細目は約160まで膨らんだ。実行委員会の議論は次第に白熱化の様相を呈して来たが、それだけ準備作業に気合が入って来た証拠だと内心喜んだものである。

いよいよ組織委員会立上げ

ASPACは名古屋クラブが実行部隊を引受けたが、開催のホスト役は日本地区である。登録料の決定や日程の設定、会場の選定などは日本地区としてオーソライズし、KIとASPAC本部の了承をとりつける必要がある。また、国内各クラブへの参加者数目標や欠席数見合の負担金の提示、それに日本地区としての拠出金の額も決めて戴くことになる。このような実務を踏まえ、日本地区の役員会・総会において地区レベルでの組織委員会を立上げる必要があり、03年3月の暫定措置に続き10月段階で正式に発足（※4 72頁参照）した。名古屋クラブの実行委員会を裏打ちにして、当クラブ会長を委員長、日本地区ガバナーを大会最高顧問、各クラブ会長を参与、大阪クラブ会長を監事に頂いてオール日本地区体制の下、機動的、効率的運営を全う出来る形が整えられた。以下、主なテーマを中心にその準備内容と顛末について簡単に記しておきたい。

〈大会日程関係〉

大会三日間の日程の大枠（※5 72頁参照）は、前述のアジェンダ、プロシジャで定められている。会議をより充実させるため日程をもう一日追加しようと言う議論もこれまであったようだが、費用負担の問題もあり、既に準備に取り掛かっていた名古屋大会では見送りになった。

初日の3月11日は、登録受付の他は役員だけの会議、夫人プログラムと招待夕食会。例年この夕食会と日程がかち合うのが台湾主催のチャイナナイトだが、結局今回は取り止めになった。

二日目は開会式に始まり、夕刻にウエルカムパーティ（ASPACナイト）。この間最終日のフェアウエルパーティまで、一般会議、フォーラム、プレス会見やワークショップ等が続き、役員選挙や規約改正などで熱気を帯びる。その傍ら、終日に亘って各地区が独自の活動ぶりをアピールする展示が行われ、最終日の表彰を競う。併せて万博のジオラマや地元少年発明クラブの作品も特別出展。ボランティアによる呈茶や会員の豪華な生け花、伝統のからくり人形や七宝焼の実演なども大会スローガンに添って会場を盛り上げた。また、ものづくりの原点、産業・文化施設を尋ねるエクスカージョンやゴルフにも多くの参加があった。



R・ムーアKI会長を先頭に開会式の入場行進



役員会議のひとつ



エクスカージョンは産業技術記念館見学など



和服姿での呈茶にご満悦の外国女性たち

オープニングの開会式では、R・ムーアKI会長、P・キンバリーASPAC議長を始め、各地区ガバナー等の役員夫妻が名古屋市消防音楽隊の演奏の中、グランバスエイトのチアガールに導かれて入場し、壇上に勢ぞろいする算段。大会直前までこれらVIPの出欠や行進順が定まらず、プラカードやスクリーン表示とのシンクロもあって気をもんだが、本番では見事堂々の行進で大喝采を浴びた。

メインイベントのウェルカムパーティでは、多くの参加者でホールの収容力が心配される程だったが、VIPの配席問題も含めてピタリ注文通りに収まり、ホテル自慢の料理も大好評でまずは安堵。なお、幹盃の樽酒やビール等の飲料は協賛企業の提供でふんだんに振舞うことが出来た。

ここで特筆しておきたいのは、地元の神田知事、松原市長、それに豊田万博会長がそれぞれに議会や多忙な公務を差し繰って臨席戴いたことである。特に松原市長と豊田会長はキワニアンでもあり、就中チャーターメンバーの豊田会長には閉会式・フェアウエルパーティで最初から最後まで席に居て戴けた。各国のキワニアン、ゲスト達と気軽に談笑され、合唱に加わり、記念写真に応じておられた姿は、会場に親近感と深い感銘を呼んでいた。

アトラクションも、焼きものの町で万博会場にもなった瀬戸の少年太鼓やセラミック楽器の演奏などで、この地域ならではの演出になった。また、綿密に練ったシナリオによる進行管理や各国語の司会、同時通訳の確保にも会員のチャンネルがフルに活かされた。出席者に過不足のない通訳体制には頭を悩ませたが、用意した高価なレシーバーの紛失を万全の構えでゼロに抑えたのはこの種会議では珍しいとか。



各国キワニアンに囲まれるチャーターメンバー豊田会員(万博会長)



お揃いの法被姿でウェルカムパーティ出席の名古屋クラブ会員



子供たちの熱演に会場から大きな拍手と喝采が



各地区のお国ぶりが勢揃いした活動展示

〈案内、登録等のシステム関係〉

大会日程の詳細な詰めと併行して、第一段、次いで第二段の案内資料を国内・外に発出した。登録料のタリフは勿論、宿泊もメインのマリオットホテルの他、至近の二つのホテルを押さえた。会議、宴会用の部屋の確保も旅行、婚礼のシーズンだけに参加者数や大会日程の見極めでギリギリの時限まで調整が残った。その意味では大会用プログラムの編集、印刷も同様で、何度も校正を重ねることになる。難航した理由のひとつに出席になるVIPのリストと顔写真がなかなか揃わないことがあり、その背景にはビザの発給問題もあった。これには過去に前例があり今回もその危惧があったので、一部の国からの参加予定者リストについては、予めKIのお墨付きを取り付け、個人別の招待状を出す一方、写しを現地の日本大使館に送って審査の円滑化を期待したが、折からのテロ警戒の状況もあってか、相当数が来日に間に合わなかった模様で残念だった。

なお、もうひとつ心配のタネ、サーズ（肺炎）の再流行の方は幸いにして杞憂に終わってくれた。

大会登録や宿泊などの管理についてはインターネットを介してJTBの予約システムで処理できたのは大助かり。KIやASPAC事務局とのやりとりについても、インターネットの普及で重宝したばかりでなく経費的にも大変安上がりになった。

〈予算関係〉

ASPACの予算は手弁当での準備、実行を前提に出来上がっている。

まず収入計画は、国内・外からの会員、ゲスト約700人余の登録料、日本地区としての拠出金、各クラブからの欠席者数見合いの負担金、それに大会プログラムへの協賛広告料等で約3000万円を見込む一方、経費としては、会議運営費、会場運営費、印刷通信費、全体運営費、宴会・会食費その他で同額を見積もった。収支実績（※6 73頁参照）で見ると、見落としや見積り不足などもあって費用が約800万円余り上回るようになった。

これについては、収入面で国際会議誘致として名古屋コンベンションビューローからの会議費補助金（約100万円）が認められたため、差引不足分をホストクラブとして集めた協賛広告及び個人寄付の上積みと、



P・キンバリー議長と木村ガバナー



法被姿のR・ムーアKI会長、松原市長らによる鏡割り

一部催しの名古屋クラブ主催への切り替えなどで補った。

心配した登録料は予期せぬ為替変動やアーリーバード指向などがあり、見込み違いはあったが、幸いにも国内335人、海外427人、計762人と予想以上の参加（※7 73頁参照）を戴いてカバー出来た。

関連して、会員のチャンネルをフルに活かした働きかけで無料出演、物品や便宜の提供等で実に多くのボランティア団体、個人、施設の皆さんのご支援、ご協力（※8 73頁参照）を頂戴した。心からの謝意を込めて特筆しておきたい。

〈本番当日の進行管理、接遇関係〉

容赦なく期日が迫ってくる中で、未了の事柄の詰めを急ぐ傍らで、本番シフトを固め始める。直前二月の例会はASPACモードに切替え、全体状況の周知徹底を図るとともに当日の分担（※2 70頁参照）は、総括班以下、会議、行事、VIP接遇、登録・受付案内、広報・展示、エクスカージョンの計7班。これらに各々準備作業を進めてきた11の担当チームの責任者を中心に適宜チームメンバーを割当て、全員参加で再編成した。そしてこれら各班同士で円滑な連絡と連携プレーがとれるよう、初日から三日間の日別の日程表に、受付、会議、セレモニー・パーティ、各種催事ごとの時間割、場所、出席者名、議題テーマ等の内容をプロットした一覧表「総合進行表」（和・英）を作成。事務局責任者が常駐する「指令センター」の設置や「無線連絡電話」の配置も行った。また、セレモニー・パーティ等の進行管理については会員関連の専門職に無理をお願いし、そのための詳細な「進行台本」を何度となく練り直して作成し、徹底を図った。

来賓、役員については、ご本人、同伴者の到着便から出発便までの行程を把握するとともに「総合進行表」を基に、各人別の出番、座席割などをチェックして一覧表にし、極力マンツーマンの接遇体制をとったが、これも本番当日まで内容の確定がずれ込むケースもあった。

本番当日は、会員一人ひとりが役割分担に従って配置につき、ロゴマーク入りの法被姿で空港、駅の案内デスクや会場の受付、エクスカージョンの案内役などの持場に散った。大会プログラムを始め20種類以上の参加者用品をキャリーバッグに詰める作業は、本番直前日の半日、ホテルの一室に関係者を総動員して取組みひと汗かいた。

本番はあつと言う間に

不安と確信の交錯する中で詰めの作業を急いだが、時は日一日と非情にも過ぎ去り気がつく本番突入。

国内・外からの800人近い参加者や、来賓、講師の出席、そして多くの支援者、ボランティアの方々の協力を戴いて、三日間の大会日程は望外の盛上りのうちにあつと言う間に閉会を迎える。お蔭さまでKIのR・ムーア会長を始め各役員、各国ガバナーの皆さんから最大級の賛辞を頂戴することが出来た。

これは、名古屋クラブを挙げて注いだ足掛け三年間にわたる悪戦苦闘のエネルギーが三日間の本番に凝縮されて迸り出た成果だったと言うことだろう。そこには会員一人ひとりの献身的働きはもちろん、ここにいちいち紹介出来なかったが、会員それぞれのチャンネルをフルに活かした多くのボランティア、団体の協力取りつけが随所で大会を支えた。

それにしても本大会は天、地、人、つまり開催のタイミング、地域的利点、人的つながりに恵まれたと言うのが実感である。そしてそれを活かす組織力は「全員参加」「情報の共有化」でもたらされた。共通の目的意識、イメージを共有できた組織はゴールが見え始めると俄然ボルテージが上り、本番に至って一気に全体が動き始めたのである。自ら流した汗は如何に快いか。これは久し振りの実感であったが、それは平素ややもすると自ら汗をかくことなくお金で済ませようとしていたかを思い知らされることにもなった。これらの貴重な経験は到底言葉では言い尽くせないし、取組んだ数多くの関係者一人ひとりの記憶に刻まれているものであるが、ここにその一端を記したものである。

末筆になるが、KIの佐藤理事、日本地区の木村ガバナー、小堀前ガバナーを始め組織委員会（※4 72頁参照）に関わられた多くのメンバー、事務局の皆さまには一貫して暖かいご指導、ご支援を戴いた。ここに各位に深甚なる敬意と謝意を表して締めくくりとしたい。



ASPAC報道記事を速報して好評だった広報コーナー

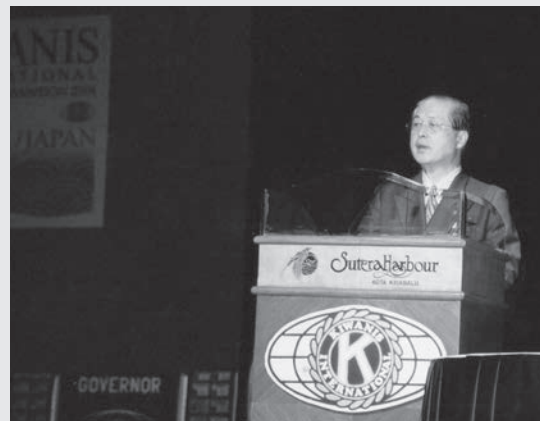
名古屋大会アピール

IN タヒチ

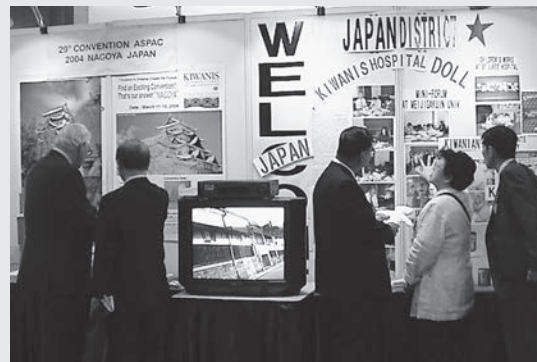


名古屋大会PRブース

IN コタキナバル



VTRでプレゼンテーション



名古屋大会PRブース

(※2) 準備体制

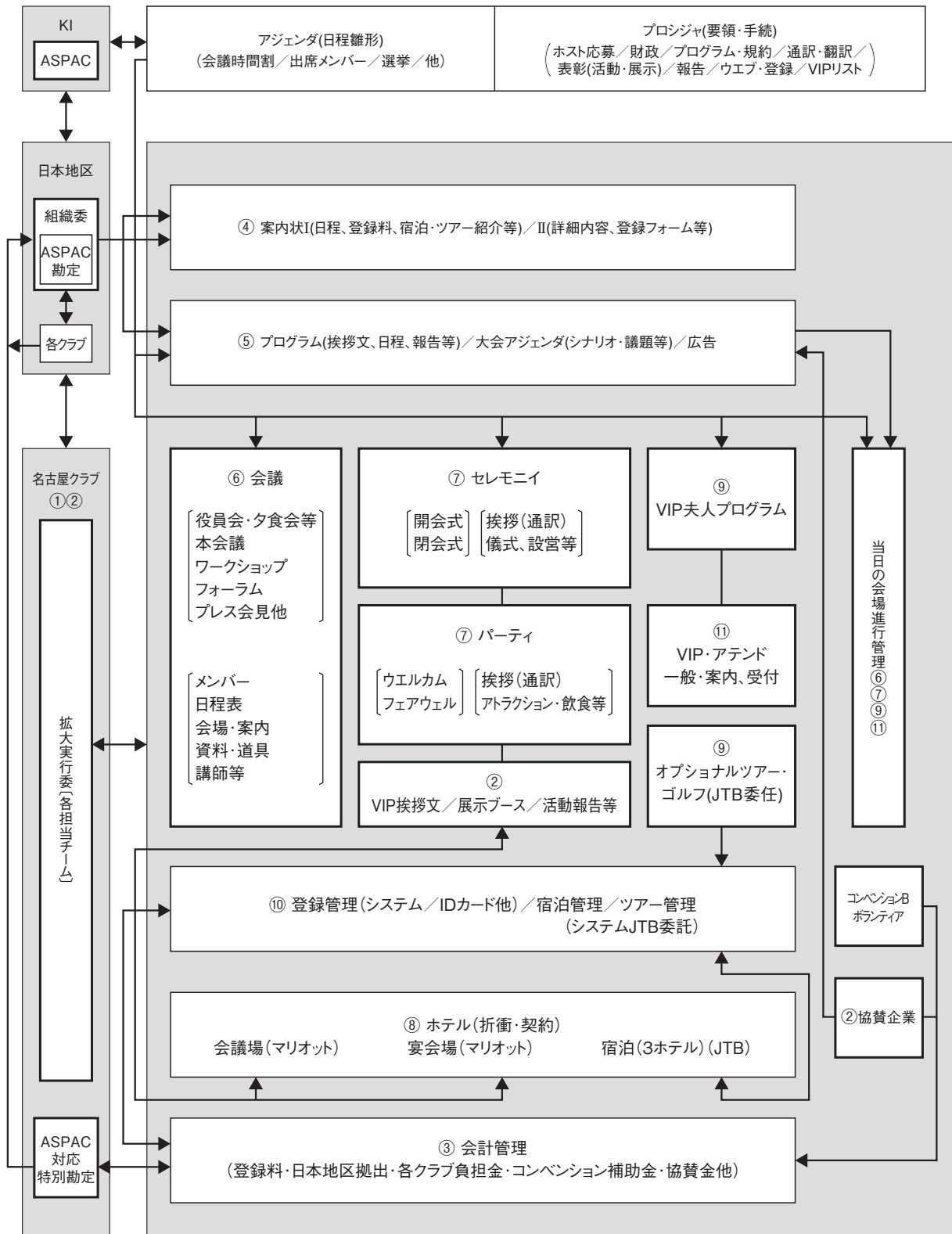
当日体制

	担当チーム	主な作業内容
総務 広報	① 総括	全体日程、場所、予算枠、組織、 参加目標・促進／他
	② 広報・渉外	PR、広告、展示等報告、スローガン、 ロゴ、プレス、記録／他
財務	③ 財務・会計	ASPAC会計、収支予算、執行、為替、 コンベンションビューロー／他
企画	④ 案内状	案内状(I、II、個別)、参加見込、 パフォーマンス報告／他
	⑤ プログラム	プログラム編集、装丁、原稿・写真、 翻訳、印刷、議事日程／他
	⑥ 会議設営	会議次第、昼食・夕食会設定、 通訳、会議支援、フォーラム／他
	⑦ 行事計画	式・宴会次第、会場設営、台本・演出、 司会・通訳、総合進行、映像／他
	⑧ ホテル手配	会場・控室・案内看板、展示場、料理、 飲料、価格折衝、宿泊、予約管理／他
	⑨ エクスカーション	ツアー手配、案内資料、ゴルフ、 夫人プログラム／他
運営	⑩ 登録管理	登録システム・フォーム、集計管理、 IDカード、業託契約／他
	⑪ 案内・接遇	受付・現地デスク、記念品、法被、 VIP接遇、救急、デモ・バザー／他

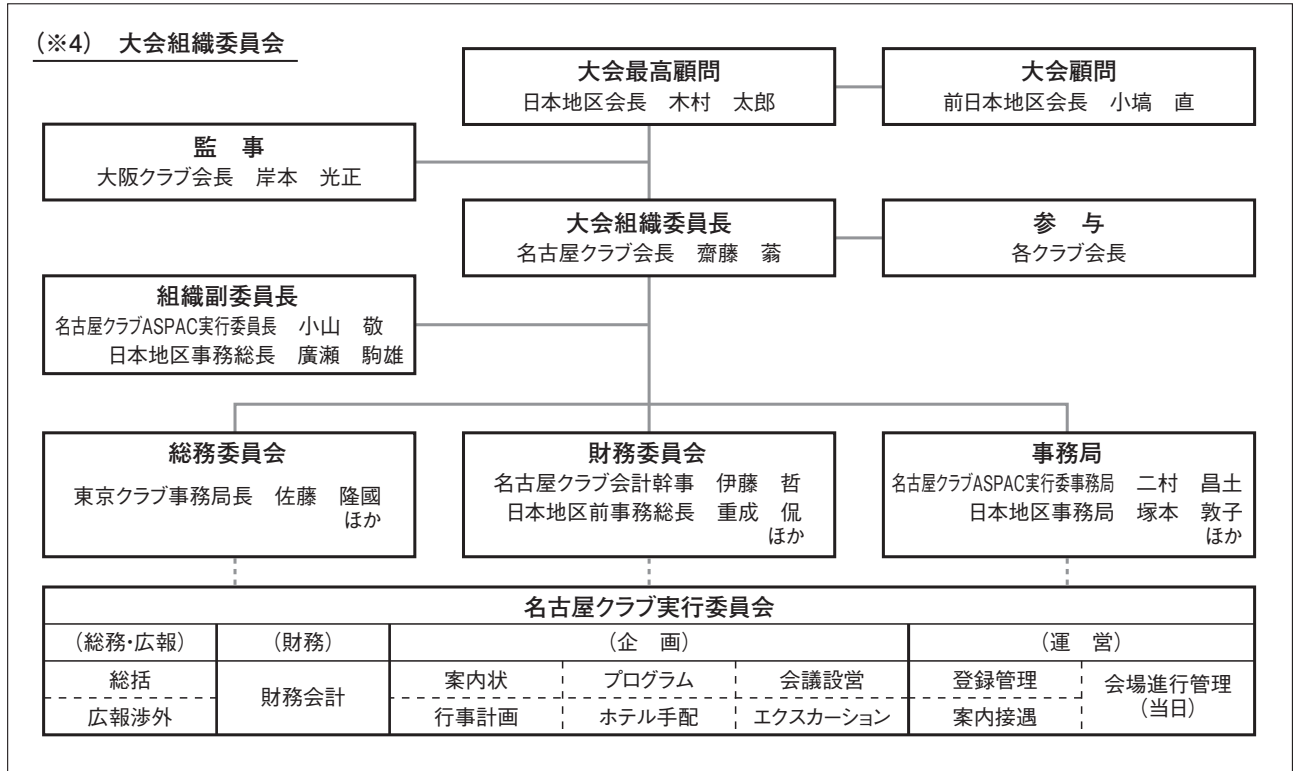
担当班	会員名
総括	[齋藤]、小山、三村(高櫻)、 相羽、小野、小竹、田中(君)、 山下(邦)
広報・展示	[片桐]、白井、服部、酒井、 尾藤、石田、小森、江口、 大島、川村、杉本、中林、 福原、三宅、村上、森、 山本、山中、吉田(明)
会場設営	[入谷]、宮田、九鬼、 鈴木(正)、田辺、伊藤(克)、 尾関、加藤、木ノ原、 中村(孝)、初鹿野、原、前川
セレモニー・ パーティ	[和田]、伊藤(千)、佐々木、 深山、栗栖、安藤、渋谷、 鈴木(信)、那須、飛驒、船山、 水谷、山岡
VIP・ 夫人接遇	[富田]、井上、清水、堀籠、 福西、青山、石黒、石原、 池永、磯谷、稲井、川澄、 田中(富)、土川、坂、武山、 西、野嶋、三輪(尚)
登録受付・ 案内	[大見]、戸谷、池田、高木、 三輪(勝)、伊藤(宗)、神野、 鬼頭、金原、近藤、田中(一)、 中長、中村(隆)、矢田、矢野、 山下(善)、山田、吉田(康)、 吉田(稜)、渡辺
エクスカーション・ ゴルフ	[岡本]、伊藤(哲)、神谷、 杉山、都築、赤尾、大津、 太田、岡田、岡山、河合、 竹内、丹下、平山、星野、 吉田、宮崎、山川、吉田(敏)

(敬称略 □ _は世話役)

(※3) 準備テーマ(分担)の相関チャート



(注) ○の数字は準備担当チームの番号



(※5) 大会日程

3/11(木)		3/12(金)		3/13(土)	
8:00	ガバナー、次期ガバナー 合同会議	9:00	開会式	8:30	ゼネラルセッションⅢ
10:30	役員ブレイク	10:30	ブレイク	10:30	ブレイク
10:45	ガバナー会議	10:45	ゼネラルセッションⅠ	10:45	ASPACフォーラム
12:30	次期ガバナー会議	11:30	キワニスフォーラム	11:45	(役員ランチ)
13:30	役員ランチ	12:30	昼食会	13:30	ASPAC合同役員会
14:00	ASPAC役員会	13:30	ゼネラルセッションⅡ	15:30	フェアウエルパーティ・閉会式
17:00		15:30	ブレイク	21:30	
18:30	役員夕食会(招待者)	15:45	ワークショップ		
20:30		16:45	プレス会見 15:30~16:00		
		18:30	ウエルカムパーティー (ASPACナイト)		
		21:30			
	・受付 8:00~17:00 (注)3/10役員受付		・受付 8:00~17:00		受付 8:30~11:00
	・展示 終日		・展示 終日		展示 終日(17:00~片付け)
	・夫人プログラム		・バザー 10:00~17:00 (ロゴ入りポロシャツ、 Tシャツ、有松絞り、 七宝、万博グッズ)		バザー 10:00~19:00
	・エクスカージョン(A、B、ゴルフ)		・エクスカージョン(B)		

(※6) 大会収支概計

収入		支出	
登録料	1620	会議運営費	310
日本地区拠出金	500	会場費	1500
各クラブ負担金	560	事務(印刷・通信)費	190
協賛金・寄附金	1030	全体運営費	490
コンベンションビューロー補助金	110	宴会・会食費	1470
		その他	270
計	3820	計	4230

(注1) 差引△410万円は名古屋クラブ負担
 (注2) 他に酒・飲料、生花、タバコ吸殻入等寄贈品多数

(※7) 大会登録者数

		会員	ゲスト	計
国内		270	65	335
海外	オーストラリア	10	6	16
	グアム	1	1	2
	インドネシア	4	1	5
	韓国	13	3	16
	マレーシア	30	6	36
	ニューカレドニア	10	5	15
	ニュージーランド	2	0	2
	フィリピン	24	3	27
	シンガポール	3	1	4
	台湾	282	10	292
	アメリカ	9	3	12
小計	388	39	427	
合計	658	104	762	

(※8) サポーターズ

(五十音順・敬称略)

会員(賛助)			企業(商品提供)	ボランティア(サービス)
青山 光子	小竹 爽男	星野 義裕	サントリー(株)	あいち小児保険医療総合センター
安藤 雅子	小森 治雄	堀籠 登喜雄	麒麟麦酒(株)	刈谷少年発明クラブ
池田 芳原	佐々木 侑利子	前川 勲	アサヒビール(株)	瀬戸子供太鼓こまいぬ座
石田 雅子	渋谷 弘	三宅 大策	サッポロビール(株)	豊田通商チアリーダー部、DIMPLES(ディンプルズ)
伊藤 千衛	杉本 裕俊	宮田 亮	中京コカ・コーラボトリング(株)	抹茶チーム(冨田宏子、中村真知子、松山宏子、吉田典子、吉田麻衣子)
伊藤 宗太郎	鈴木 正訓	深山 靖	大塚製薬(株)	名古屋観光コンベンションビューロー
入谷 正章	高木 弘	村上 和夫	(株)伊藤園	名古屋市消防音楽隊
大津 凡雄	都築 光昭	矢田 五夫	(株)ポッカコーポレーション	萬屋仁兵衛
大見 道夫	戸谷 良造	矢野 武	アサヒ飲料(株)	
尾関 利勝	二村 昌士	山岡 和彦	日本盛(株)	
片桐 清志	坂 芳雄	山川 皓	辰馬本家酒造(株)	
河合 恒人	平山 正之	山下 邦勝	富久娘酒造(株)	
鬼頭 昌子	福西 辰子	山本 光子	大関(株)	
木ノ原 長矩	福原 祥二	吉田 康彦	宝酒造(株)	

広告企業

(順不同)

トヨタ自動車(株)	あいおい損保(株)	中電興業(株)	(株)ユーフィット	東海旅客鉄道(株)
(株)豊田自動織機	名港海運(株)	中電ビル(株)	(株)UFJカード	ジェイアールセントラルビル(株)
トヨタ車体(株)	名古屋鉄道(株)	(株)新東通信	(株)セントラルファイナンス	(株)ジェイアール東海高島屋
豊田通商(株)	オリックス(株)	(株)UFJ銀行	日本ガイシ(株)	(株)ジェイアール東海ホテルズ
豊田紡織(株)	(株)中日新聞社	(株)中京銀行	(株)ジェイティービー	東海キヨスク(株)
(株)デンソー	中部電力(株)	セントラルリース(株)	日本車輛(株)	
豊田合成(株)	(株)トーエネック	(株)UFJ総合研究所		
EXPO2005 AICHI JAPAN				

名古屋キワニスクラブ40年の歩み

1965年(昭和40年) - 1996年(平成8年)

1965(昭和40年)	11月 8日	名古屋キワニスクラブ発起人会(名古屋国際ホテル)
1966(昭和41年)	1月24日	名古屋キワニスクラブ設立総会(名古屋国際ホテル)
	4月 8日	第1回例会(出席会員36名)
	9月 1日	名古屋キワニスクラブ憲章伝達式(チャーターナイト)
1967(昭和42年)	1月 6日	第1回新年懇親会(現 新年会員懇談会)
	9月16日	第1回ゴルフ会(名古屋ゴルフ倶楽部和合コース)
1968(昭和43年)	1月 5日	第1回キワニス社会公益賞贈呈式
	1月15日	会報「名古屋キワニスクラブ」創刊
	4月13日	第1回囲碁会(名古屋国際ホテル)
	12月15日	第1回中国文化研究会(タチソウ)
1969(昭和44年)	8月 1日	週報「BULLETIN」創刊
1970(昭和45年)	1月15日	第1回ボーリング大会(トーヨーボーリングセンター)
1971(昭和46年)	12月	「BULLETIN」KIコンテストで受賞
1972(昭和47年)	11月10日	第5回全日本キワニスクラブ合同大会(名古屋国際ホテル)
1973(昭和48年)	6月 9日	第1回家族旅行会(美濃湖北の旅)
1974(昭和49年)	1月18日	名古屋クラブ用バナレット作成
1975(昭和50年)	3月27日	第1回キワニス文庫贈呈式
1976(昭和51年)	8月27日	第500回例会
	9月 3日	第10回チャーターナイト記念特別例会
1977(昭和52年)	4月23日	第1回「キワニスの森」贈呈式(創立10周年記念事業)
1978(昭和53年)	12月16日	第1回クリスマス家族会
1979(昭和54年)	3月24日	第100回特別囲碁会
1980(昭和55年)	4月 3日～6日	第6回キワニスアジア太平洋総会(ASPAC)バンコク大会へ名古屋キワニスクラブから参加
1981(昭和56年)	5月27日	第1回家庭教育講演会へ協賛
1982(昭和57年)	6月18日	「キワニスの森」石碑除幕式
1983(昭和58年)	7月 3日～6日	第68回年次総会(ウィーン大会)に名古屋キワニスクラブから参加
1984(昭和59年)	3月31日	第10回キワニスアジア太平洋総会(ASPAC)ソウル大会で名古屋キワニスクラブ会長がスピーチ
1985(昭和60年)	1月19日	第100回ゴルフ会(三好カントリークラブ)
1986(昭和61年)	9月 5日	名古屋キワニスクラブ創立20周年記念式典 (徳川美術館へ陶壁画を贈呈、文芸同人誌「作家」に名古屋キワニスクラブ創立20周年記念特別賞を贈呈)
	2月13日	第1000回例会
1987(昭和62年)	2月16日	第1回雪見と懇親の会(蓬萊)
	8月11日	第200回囲碁会(東海囲碁センター)
1988(昭和63年)	5月13日	名古屋フィルハーモニーが例会で演奏
1989(平成元年)	9月 7日	第13回日本地区年次総会(名古屋国際ホテル)
1990(平成 2年)	2月23日	「愛知留学生後援会」へ特別寄付
1991(平成 3年)	9月27日	創立25周年記念事業として「愛知留学生後援会」へ奨学金を贈呈
1992(平成 4年)	7月 3日	第1回カメラ同好会
1993(平成 5年)	10月14日	第1回禅の会同好会
1994(平成 6年)	4月22日	第20回キワニス文庫贈呈式
1995(平成 7年)	2月17日	「阪神大地震」へ義援金を送る
1996(平成 8年)	5月14日	第300回囲碁会
	9月 6日	名古屋キワニスクラブ創立30周年記念式典(ブロンズ像「祝福されし二人」を寄贈)

1997年(平成9年)



新年会員懇談会



雪見と懇親の会(松楓閣)



第31回チャーターナイト記念特別例会



クリスマス家族会

- | | |
|---|--|
| <p>1月 8日 第4回禪の会同好会
1月 9日 第308回囲碁会
1月10日 新年会員懇談会(第1450回例会)
第4回カメラ同好会
1月17日 文化公益委員会
1月24日 国際委員会
文化公益委員会
事業企画委員会
1月31日 青少年教育委員会
メンバーシップ委員会
2月 6日 第309回囲碁会
2月 7日 第5回カメラ同好会
30周年記念誌委員会
2月12日 第5回禪の会同好会
雪見と懇親の会(松楓閣)
2月14日 文化公益委員会
2月21日 総務委員会
2月26日 幹事会
3月 6日 第310回囲碁会
3月 7日 第6回カメラ同好会
3月12日 第6回禪の会同好会
3月14日 事業企画委員会
広報委員会
3月15日 第171回ゴルフコンペ
(中京ゴルフ倶楽部)
3月28日 広報委員会
4月 3日 第311回囲碁会
4月 9日 第7回禪の会同好会
4月11日 第7回カメラ同好会
第28回社会公益賞・第23回キワニス
文庫贈呈式(第1463回例会)
4月17日 夜間例会(第1464回例会)
4月19日 第172回ゴルフコンペ
(多治見カントリークラブ)
4月25日 総務委員会
5月 1日 第312回囲碁会
5月 2日 財務委員会
第8回カメラ同好会
5月 9日 メンバーシップ委員会
5月10日 春の家族旅行会(長浜)
5月13日 家庭教育講演会 講師:岡本包治氏
(川村学園女子大学教授・文部省生
涯学習クリエイティブアドバイザー)
「親の生涯学習、子の生涯学習」
5月14日 第8回禪の会同好会
幹事会
5月16日 平成9年度臨時総会(第1468回例会)
6月 5日 第313回囲碁会
6月 6日 第9回カメラ同好会
6月11日 第9回禪の会同好会
6月13日 家族例会 講師:祖父江文宏氏
(子どもの虐待防止ネットワーク・あいち</p> | <p>代表)「いのち見失うとき-そんなにが
んばらないで-」
7月 3日 第314回囲碁会
7月 4日 第10回カメラ同好会
7月 9日 第9回禪の会同好会
7月18日 事業企画委員会
7月19日 第173回ゴルフコンペ
(ベルフラワーカントリークラブ)
8月 1日 第11回カメラ同好会
8月 6日 納涼と懇親の会(か茂免)
8月 7日 第315回囲碁会
8月 8日 事業企画委員会
総務委員会
8月13日 第10回禪の会同好会
8月22日 事業企画委員会
8月29日 第12回カメラ同好会
9月 4日 第316回囲碁会
9月 5日 第31回チャーターナイト記念特別例会
(第1483回例会)
9月10日 第12回禪の会同好会
9月19日 事業企画委員会
9月20日 第174回ゴルフコンペ
(松名カントリークラブ)
10月 2日 第317回囲碁会
10月 3日 新年度初例会
第1回カメラ同好会
10月 8日 第1回禪の会同好会
10月17日 事業企画委員会
財務委員会
10月18日~19日
秋の家族旅行会(近江、京都)
10月20日 幹事会
10月25日 第175回ゴルフコンペ
(青山高原カントリークラブ)
10月31日 平成10年度年次総会
リクリエーション委員会
11月 6日 第318回囲碁会
11月 7日 第2回カメラ同好会
11月12日 第2回禪の会同好会
11月14日 文化公益委員会
青少年教育委員会
事業企画委員会
11月15日 第176回ゴルフコンペ
(花の木ゴルフクラブ)
11月28日 メンバーシップ委員会
12月 4日 第319回囲碁会
12月 5日 第3回カメラ同好会
事業企画委員会
12月10日 第3回禪の会同好会
12月12日 事業企画委員会
12月19日 クリスマス家族会</p> |
|---|--|

1998年(平成10年)



第29回社会公益賞・
第24回キワニス文庫贈呈式



納涼と懇親の会(風流 屋形船)



第32回チャーターナイト記念特別例会



持出例会「キワニスの森」

- | | | | |
|-------|--|--------------|--|
| 1月 8日 | 第320回囲碁会 | 7月10日 | 事業企画委員会 |
| 1月 9日 | 新年会員懇談会(第1496回例会)
第3回カメラ同好会 | 7月11日 | 第180回ゴルフコンペ
(松名カントリークラブ) |
| 1月14日 | 第4回禅の会同好会 | 8月 4日 | 納涼と懇親の会(風流 屋形船) |
| 1月16日 | 文化公益委員会
国際委員会 | 8月 6日 | 第327回囲碁会 |
| 2月 5日 | 第321回囲碁会 | 8月 7日 | 総務委員会
第11回カメラ同好会
事業企画委員会
メンバーシップ委員会 |
| 2月 6日 | 第5回カメラ同好会
文化公益委員会 | 8月12日 | 第11回禅の会同好会 |
| 2月10日 | 第5回禅の会同好会 | 8月28日 | 第12回カメラ同好会 |
| 2月13日 | 青少年教育委員会 | 9月 3日 | 第328回囲碁会 |
| 2月26日 | 幹事会 | 9月 4日 | 第32回チャーターナイト記念特別例会
(第1529回例会) |
| 3月 4日 | 雪見と懇親の会(東桜庵) | 9月 9日 | 第12回禅の会同好会 |
| 3月 5日 | 第322回囲碁会 | 9月21日 | 第181回ゴルフコンペ
(名古屋ゴルフ倶楽部) |
| 3月 6日 | 第6回カメラ同好会
文化公益・広報合同委員会 | 9月25日 | 持出例会「キワニスの森」(第1531回
例会)
第1回なごや子育てフォーラム
講師:西本鶏介氏(昭和女子大学教授)
三輪 哲氏(メルヘンハウス)
「楽しさ広がる子育ての工夫—絵本と
おはなしの魅力ある語りかけ—」 |
| 3月11日 | 第6回禅の会同好会 | 9月29日 | 事業企画委員会 |
| 3月13日 | 事業企画委員会
幹事会 | 10月 1日 | 第329回囲碁会 |
| 3月14日 | 第177回ゴルフコンペ(中京ゴルフクラブ) | 10月 2日 | 新年度初例会
第1回カメラ同好会 |
| 4月 2日 | 第323回囲碁会 | 10月16日 | 事業企画委員会
財務委員会 |
| 4月 3日 | 第7回カメラ同好会
事業企画委員会 | 10月22日 | 幹事会 |
| 4月 8日 | 第7回禅の会同好会 | 10月30日 | 平成11年度年次総会
リクリエーション委員会
メンバーシップ委員会 |
| 4月11日 | 第178回ゴルフコンペ
(多治見カントリークラブ) | 10月31日~11月1日 | 秋の家族旅行会(四国徳島) |
| 4月17日 | 第29回社会公益賞・第24回キワニス
文庫贈呈式(第1510回例会)
国際委員会 | 11月 5日 | 第330回囲碁会 |
| 5月 1日 | 財務委員会
第8回カメラ同好会 | 11月 6日 | 第2回カメラ同好会
事業企画委員会 |
| 5月 7日 | 第324回囲碁会 | 11月13日 | 文化公益委員会
国際委員会 |
| 5月 9日 | 第179回ゴルフコンペ
(ベルフラワーカントリークラブ) | 11月20日 | 青少年教育委員会
事業企画委員会 |
| 5月12日 | 家庭教育講演会 講師:真仁田 昭
氏(目白学園女子短期大学副学長・筑
波大学名誉教授)「揺れ動く子ども
の心の内面と家庭のあり方」 | 11月21日 | 第182回ゴルフコンペ
(花の木ゴルフクラブ) |
| 5月13日 | 第8回禅の会同好会 | 12月 2日 | 事業企画委員会 |
| 5月14日 | 幹事会 | 12月 3日 | 第331回囲碁会 |
| 5月22日 | 平成10年度臨時総会(第1515回例会)
学校見学会(椋山女学園高等学校・
中学校・大学付属小学校・大学付属幼
稚園) | 12月 4日 | 第3回カメラ同好会
総務委員会 |
| 5月29日 | 事業企画委員会 | 12月11日 | 事業企画委員会 |
| 6月 4日 | 第325回囲碁会 | 12月18日 | クリスマス家族会 |
| 6月 5日 | 第9回カメラ同好会 | | |
| 6月 6日 | 春の家族旅行会(飛弾高山) | | |
| 6月10日 | 第9回禅の会同好会 | | |
| 6月19日 | 事業企画委員会 | | |
| 7月 2日 | 第326回囲碁会 | | |
| 7月 3日 | 第10回カメラ同好会 | | |
| 7月 7日 | 第10回禅の会同好会 | | |

1999年(平成11年)



持出例会「産業技術記念館」



第30回社会公益賞・第25回キワニス文庫 贈呈式



春の家族旅行会(岐阜、京都)



第33回チャーターナイト記念特別例会

- | | | | |
|-------|--|------------|--|
| 1月 7日 | 第332回囲碁会 | 9月 2日 | 第340回囲碁会 |
| 1月 8日 | 新年会員懇談会(第1543回例会)
第4回カメラ同好会 | 9月 3日 | 第33回チャーターナイト記念特別例会
(第1574回例会)
第12回カメラ同好会 |
| 1月22日 | 文化公益委員会
国際委員会 | 9月16日 | 事業企画委員会 |
| 2月 4日 | 第333回囲碁会 | 9月21日 | 第2回なごや子育てフォーラム 出演:
井上 京・杉浦 薫・石川ひとみ「親子
で楽しむ音楽会」 |
| 2月 5日 | 第5回カメラ同好会 | 9月29日 | 第187回ゴルフコンペ
(名古屋ゴルフ倶楽部) |
| 2月12日 | 事業企画委員会
青少年教育委員会
文化公益委員会 | 10月 1日 | 新年度初例会
第12回カメラ同好会 |
| 2月24日 | 雪見と懇親の会(神谷) | 10月 7日 | 第341回囲碁会 |
| 3月 4日 | 第334回囲碁会 | 10月 8日 | 事業企画委員会 |
| 3月 5日 | 第6回カメラ同好会 | 10月21日 | 幹事会 |
| 3月10日 | 幹事会 | 10月22日 | リクリエーション委員会
文化公益委員会 |
| 3月12日 | 事業企画委員会 | 10月25日 | 財務委員会 |
| 3月13日 | 第183回ゴルフコンペ
(中京ゴルフ倶楽部) | 10月29日 | 第1回カメラ同好会
平成12年度年次総会 |
| 3月19日 | 文化公益・広報合同委員会 | 11月 4日 | 第342回囲碁会 |
| 4月 1日 | 第335回囲碁会 | 11月 6日 | 第188回ゴルフコンペ
(花の木ゴルフクラブ) |
| 4月 2日 | 第7回カメラ同好会 | 11月13日~14日 | 秋の家族旅行会(瀬戸内しまなみ) |
| 4月 9日 | 総務委員会
広報委員会 | 11月12日 | 事業企画委員会
国際委員会 |
| 4月10日 | 第184回ゴルフコンペ
(多治見カントリークラブ) | 11月19日 | 事業企画委員会
メンバーシップ委員会
青少年教育委員会 |
| 4月16日 | 持出例会「産業技術記念館」
(第1556回例会) | 11月26日 | 広報委員会
第2回カメラ同好会 |
| 4月23日 | 第30回社会公益賞・第25回キワニス
文庫贈呈式(第1557回例会)
財務委員会
文化公益・広報合同委員会 | 12月 2日 | 第343回囲碁会 |
| 5月 6日 | 第336回囲碁会
幹事会 | 12月 3日 | 事業企画委員会 |
| 5月 7日 | 第8回カメラ同好会 | 12月17日 | クリスマス家族会 |
| 5月 8日 | 第185回ゴルフコンペ
(バelfラワーカントリークラブ) | | |
| 5月11日 | 家庭教育講演会 講師:明石要一氏
(千葉大学教育学部教授)「地域ぐる
みの子育て考」 | | |
| 5月14日 | 平成11年度臨時総会(第1559回例会) | | |
| 5月28日 | 第9回カメラ同好会 | | |
| 6月 3日 | 第337回囲碁会 | | |
| 6月 5日 | 春の家族旅行会(岐阜、京都) | | |
| 7月 1日 | 第338回囲碁会 | | |
| 7月 2日 | 事業企画委員会 | | |
| 7月 6日 | 第186回ゴルフコンペ
(三好カントリー倶楽部) | | |
| 7月16日 | 事業企画委員会 | | |
| 7月23日 | 総務委員会 | | |
| 7月30日 | 第10回カメラ同好会 | | |
| 8月 3日 | 納涼と懇親の会(中国料理 鳳城) | | |
| 8月 5日 | 第339回囲碁会 | | |
| 8月27日 | 第11回カメラ同好会 | | |



クリスマス家族会

2000年(平成12年)



第31回社会公益賞・
第26回キワニス文庫 贈呈式



持出例会
「山梨リニア実験線視察」



納涼と懇親の会
(名古屋マリオットアソシアホテル)



第34回チャーターナイト記念
特別例会

- 1月 6日 第344回囲碁会
- 1月 7日 新年会員懇談会(第1588回例会)
- 1月14日 総務委員会
第3回カメラ同好会
- 1月21日 文化公益委員会
国際委員会
- 2月 3日 第345回囲碁会
- 2月 4日 第4回カメラ同好会
文化公益委員会
- 2月 9日 雪見と懇親の会(志ら玉)
- 2月16日 幹事会
- 3月 2日 第346回囲碁会
- 3月 3日 事業企画委員会
第5回カメラ同好会
- 3月 7日 文化公益・広報合同委員会
- 3月11日 第189回ゴルフコンペ
(中京ゴルフ倶楽部)
- 3月17日 文化公益・広報合同委員会
- 4月 6日 第347回囲碁会
- 4月 8日 第190回ゴルフコンペ
(ベルフラワーカントリークラブ)
- 4月14日 事業企画委員会
- 4月21日 第31回社会公益賞・第26回キワニス
文庫贈呈式(第1602回例会)
第6回カメラ同好会
- 5月10日 家庭教育講演会 講師:有森広子氏
(岡山市旭川荘厚生専門学院勤務)
「子どもとともに」
- 5月11日 第348回囲碁会
- 5月12日 財務委員会
- 5月13日 第191回ゴルフコンペ
(多治見カントリークラブ)
- 5月16日 幹事会
- 5月19日 平成12年度臨時総会(第1605回例会)
- 5月26日 第7回カメラ同好会
- 6月 1日 第349回囲碁会
- 6月 3日 春の家族旅行会(奈良)
- 6月 9日 第8回カメラ同好会
- 6月16日 青少年教育委員会
- 7月 6日 第350回囲碁会
- 7月 7日 事業企画委員会
- 7月 8日 第192回ゴルフコンペ
(グレイスヒルズカントリークラブ)
- 7月14日 持出例会「山梨リニア実験線視察」
(第1613回例会)
- 7月28日 第9回カメラ同好会
- 8月 3日 第351回囲碁会
- 8月 4日 総務委員会
事業企画委員会
- 8月 9日 納涼と懇親の会
(名古屋マリオットアソシアホテル)
- 8月25日 メンバーシップ委員会
- 9月 1日 第34回チャーターナイト記念特別例会
(第1619回例会)
第10回カメラ同好会
- 9月 7日 第352回囲碁会
- 9月16日 第193回ゴルフコンペ
(松名カントリークラブ)
- 9月18日 第3回なごや子育てフォーラム 出演:
ジャングル・ジャム「親子で楽しむうたと
あそび」
- 9月29日 第11回カメラ同好会
- 10月 6日 新年度初例会
- 10月13日 リクリエーション委員会
- 10月20日 財務委員会
- 10月23日 幹事会
- 10月27日 平成13年度年次総会
事業企画委員会
文化公益委員会
- 10月28日~29日
秋の家族旅行会(箱根、鎌倉)
- 11月10日 国際委員会
- 11月11日 第193回ゴルフコンペ
(花の木ゴルフクラブ)
- 11月17日 メンバーシップ委員会
第1回カメラ同好会
- 11月24日 事業企画委員会
- 12月 1日 第2回カメラ同好会
- 12月 8日 青少年教育委員会
- 12月22日 クリスマス家族会



クリスマス家族会

2001年(平成13年)



雪見と懇親の会(蕙茂)

第32回社会公益賞・
第27回キワニス文庫贈呈式
文庫にシールを貼る作業

春の家族旅行会(滋賀)

秋の家族旅行会
(金沢、氷見、白川郷)

- | | | | |
|-------|---|------------|---|
| 1月12日 | 新年会員懇談会(第1632回例会) | 9月14日 | 第35回チャーターナイト記念特別例会
(第1663回例会) |
| 1月19日 | 文化公益委員会
第3回カメラ同好会 | | 第10回カメラ同好会 |
| 2月 2日 | 国際委員会
文化公益委員会
広報委員会 | 9月15日 | 第198回ゴルフコンペ
(松名カントリークラブ) |
| 2月 7日 | 雪見と懇親の会(蕙茂) | 9月20日 | 幹事会 |
| 2月 9日 | 第4回カメラ同好会 | 9月26日 | 第4回なごや子育てフォーラム 出演:
ジャングル・ジャム「親子で楽しむうたと
あそび」 |
| 2月16日 | 事業企画委員会 | 9月28日 | 第11回カメラ同好会 |
| 2月23日 | 文化公益委員会 | 10月 5日 | 新年度初例会 |
| 3月 2日 | 第5回カメラ同好会 | 10月12日 | ASPAC準備会
リクリエーション委員会 |
| 3月 9日 | 事業企画委員会 | 10月19日 | 第1回カメラ同好会
財務委員会 |
| 3月17日 | 第194回ゴルフコンペ
(中京ゴルフ倶楽部) | 10月20日~21日 | 秋の家族旅行会(金沢、氷見、白川郷) |
| 3月22日 | 幹事会 | 10月22日 | 幹事会 |
| 3月30日 | 第6回カメラ同好会
文化公益・広報合同委員会 | 10月26日 | 平成14年度年次総会 |
| 3月31日 | 第7回カメラ同好会 | 11月 1日 | 第339回囲碁会 |
| 4月 6日 | 文化公益委員会 | 11月 2日 | 事業企画委員会 |
| 4月21日 | 第195回ゴルフコンペ
(ベルフラワーカントリークラブ) | 11月 9日 | 持出例会「NHK名古屋放送局」
(第1671例会)
文化公益委員会 |
| 4月27日 | 第32回社会公益賞・第27回キワニス
文庫贈呈式(第1647回例会) | 11月16日 | ASPAC準備委員会
事業企画委員会 |
| 5月 9日 | 家庭教育講演会 講師:青木信夫氏
(青少年育成アドバイザー)「挫折と期待
の中で ~ 素人カウンセラーの26年～」 | 11月17日 | 第199回ゴルフコンペ
(花の木ゴルフクラブ) |
| 5月10日 | 第335回囲碁会 | 12月 6日 | 囲碁会 |
| 5月11日 | 財務委員会 | 12月 7日 | 広報委員会
青少年教育委員会 |
| 5月16日 | 幹事会 | | 国際委員会
事業企画委員会 |
| 5月19日 | 第196回ゴルフコンペ
(多治見カントリークラブ) | 12月12日 | 持出例会「山梨リニア実験線視察」
(第1675例会) |
| 5月25日 | 平成13年度臨時総会(第1650回例会)
幹事会 | 12月14日 | クリスマス家族会 |
| 5月27日 | 春の家族旅行会(滋賀) | | |
| 6月 7日 | 第336回囲碁会 | | |
| 6月22日 | 総務委員会
第8回カメラ同好会 | | |
| 6月29日 | 事業企画委員会 | | |
| 7月 5日 | 第337回囲碁会 | | |
| 7月21日 | 第197回ゴルフコンペ
(グレイスヒルズカントリー倶楽部) | | |
| 7月27日 | 第9回カメラ同好会 | | |
| 8月 2日 | 納涼と懇親の会
(ホテルオークラレストラン「桃花林」)
幹事会
第337回囲碁会 | | |
| 8月 3日 | 総務委員会
青少年教育委員会
リクリエーション委員会 | | |
| 8月31日 | 幹事会 | | |
| 9月 6日 | 第338回囲碁会 | | |



クリスマス家族会

2002年(平成14年)



新年会員懇談会



キワニス文庫
(あいち小児保健医療総合センター)



持出例会「HSST試乗会」



納涼と懇親の会
(スーパードライ名古屋)

- | | | | |
|-----------|--|------------|---|
| 1月11日 | 新年会員懇談会(第1676回例会) | 9月20日 | 第36回チャーターナイト記念特別例会(第1708回例会) |
| 1月18日 | ASPAC準備委員会 | 9月21日 | 第203回ゴルフコンペ(花の木ゴルフクラブ) |
| 1月25日 | 第2回カメラ同好会
文化公益委員会 | 9月27日 | 平成14年度臨時総会(第1709回例会)
第8回カメラ同好会
青少年教育委員会 |
| 2月 8日 | 文化公益委員会
第3回カメラ同好会 | 10月 1日 | 囲碁会 |
| 2月18日 | 雪見と懇親の会(ベニーニ・エスト) | 10月 4日 | 新年度初例会 |
| 3月 1日 | 幹事会 | 10月11日 | 財務委員会
リクリエーション委員会 |
| 3月 7日 | 囲碁会 | 10月18日 | 幹事会
ASPAC実行委員会 |
| 3月 8日 | 広報委員会
事業企画委員会
総務委員会 | 10月25日 | 平成15年度年次総会 |
| 3月14日~16日 | ASPACタヒチ大会に参加 | 10月26日~27日 | 秋の家族旅行会
(磐梯、会津若松、猪苗代) |
| 4月12日 | 文化公益委員会 | 11月 1日 | 事業企画委員会
第1回カメラ同好会 |
| 4月19日 | ASPAC準備委員会 | 11月 5日 | 囲碁会 |
| 4月20日 | 第200回ゴルフコンペ
(ベルフラワーカントリークラブ) | 11月 6日 | 新旧役員を囲む懇親の会(舞鶴館) |
| 4月26日 | 第33回社会公益賞・第28回キワニス
文庫贈呈式(第1690回例会)
第4回カメラ同好会 | 11月 8日 | 総務委員会
国際委員会 |
| 5月 8日 | 家庭教育講演会 講師:山本道子氏
(心理相談員)「親も子ども自分らしく生きる」 | 11月15日 | 文化公益委員会
広報委員会
メンバーシップ委員会
国際委員会 |
| 5月17日 | 財務委員会 | 11月16日 | 第204回ゴルフコンペ
(ベルフラワーカントリークラブ) |
| 5月18日 | 第201回ゴルフコンペ
(グレイスヒルズカントリークラブ) | 11月22日 | リクリエーション委員会
事業企画委員会 |
| 5月24日 | ASPAC準備委員会 | 12月 3日 | 囲碁会 |
| 5月25日 | 春の家族旅行会(信州) | 12月 6日 | 財務委員会
総務委員会
青少年教育委員会 |
| 5月28日 | 幹事会 | 12月13日 | クリスマス家族会 |
| 5月31日 | 平成14年度臨時総会(第1694回例会)
第5回カメラ同好会 | | |
| 6月14日 | 持出例会「HSST試乗会」(第1696回)
第6回カメラ同好会 | | |
| 7月 5日 | ASPAC準備委員会
事業企画委員会 | | |
| 7月20日 | 第202回ゴルフコンペ(中京ゴルフ倶楽部) | | |
| 8月 1日 | 囲碁会 | | |
| 8月 2日 | 第7回カメラ同好会
青少年教育委員会 | | |
| 8月 6日 | 納涼と懇親の会(スーパードライ名古屋) | | |
| 8月 9日 | 事業企画委員会
ASPAC準備委員会
総務委員会 | | |
| 9月 3日 | 囲碁会 | | |
| 9月 9日 | 第5回なごや子育てフォーラム 講師:
大日向 雅美氏(恵泉女学園大学)
「子育てがづらくなったとき」 | | |
| 9月12日 | 山梨リニア試乗会 | | |
| 9月18日 | 幹事会 | | |

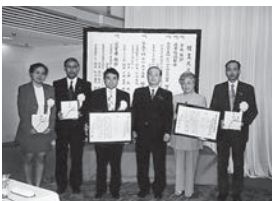


クリスマス家族会

2003年(平成15年)



第1回AKK名古屋キワニス
国際教育研究助成贈呈式



第34回社会公益賞・
第29回キワニス文庫贈呈式



春の家族旅行会(三方五湖)



中部国際空港セントレア見学

- 1月 7日 囲碁会
- 1月10日 新年会員懇談会(第1720回例会)
幹事会
- 1月15日 AKK・名古屋キワニス国際教育研究
助成贈呈式
- 1月17日 文化公益委員会
- 1月24日 国際委員会
メンバーシップ委員会
- 1月31日 第2回カメラ同好会
- 2月 4日 囲碁会
- 2月 7日 事業企画委員会
- 2月14日 文化公益委員会
幹事会
- 2月18日 雪見と懇親の会(稲本)
- 2月28日 事業企画委員会
第3回カメラ同好会
- 3月 4日 囲碁会
- 3月 7日 ASPAC実行委員会
- 3月15日 第205回ゴルフコンペ
(多治見カントリークラブ)
- 3月20日~22日
ASPACコタキナバル大会に参加
- 3月28日 第4回カメラ同好会
文化公益委員会
- 4月 4日 持出例会「ノリタケの森」
(第1731例会)
- 4月18日 第5回カメラ同好会
財務委員会
- 4月19日 第206回ゴルフコンペ
(ベルフラワーカントリークラブ)
- 4月25日 幹事会
- 5月 6日 囲碁会
- 5月 7日 家庭教育講演会 講師:平松愛理氏
(シンガーソングライター)「子供は人生
の教科書」
- 5月 9日 第34回社会公益賞・第29回キワニス
文庫贈呈式(第1735回例会)
- 5月17日 第207回ゴルフコンペ
(中京ゴルフ倶楽部)
- 5月23日 第6回カメラ同好会
- 5月24日 春の家族旅行会(三方五湖)
- 5月30日 平成15年度臨時総会(第1738回例会)
- 6月 3日 囲碁会
- 6月27日 第7回カメラ同好会
- 7月 1日 囲碁会
- 7月19日 第208回ゴルフコンペ
(グレイスヒルズカントリークラブ)
- 7月25日 第8回カメラ同好会
- 7月26日 第9回カメラ同好会
- 8月 5日 囲碁会
- 8月 7日 納涼と懇親の会(十洲桜)
- 8月 8日 幹事会
- 8月22日 持出例会「刈谷ディースクエア」
(第1749回)
- 8月29日 「中部国際空港セントレア見学」
(第1750回)
- 9月19日 第37回チャーターナイト記念特別例会
(第1752回例会)
- 9月20日 第209回ゴルフコンペ
(花の木ゴルフクラブ)
- 9月29日 第6回なごや子育てフォーラム 講師:
服部祥子氏(大阪人間科学大学教授)「親も子も ともに育つもの」
- 10月 1日 ASPAC名古屋大会組織委員会発足
- 10月 3日 新年度初例会
- 10月 7日 第389回囲碁会
- 10月 9日 持出例会「山梨リニアモーターカー試
乗」(第1755回)
- 10月10日 財務委員会
- 10月17日 幹事会
- 10月24日 平成16年度年度次総会(第1757回例会)
- 10月31日 事業企画委員会
総務委員会
- 11月 4日 第390回囲碁会
- 11月 8日~9日
秋の家族旅行会(西伊豆、下田)
- 11月14日 文化公益委員会
- 11月15日 第210回ゴルフコンペ
(ベルフラワーカントリークラブ)
- 11月21日 総務委員会
- 11月28日 事業企画委員会
- 12月 2日 第391回囲碁会
- 12月 5日 総務委員会
第1回カメラ同好会
- 12月12日 事業企画委員会
- 12月19日 クリスマス家族会



第37回チャーターナイト記念
特別例会

2004年(平成16年)



第2回AKK名古屋キワニス
国際教育研究助成金贈呈式



花見の会・ASPAC打上げの会
(千代田)



春の家族旅行会(信楽、甲賀)



第38回チャーターナイト記念
特別例会

- | | | | |
|-----------|---|-----------|--|
| 1月 6日 | 第392回囲碁会 | 9月 7日 | 第400回囲碁会 |
| 1月 9日 | 新年会員懇談会 | 9月17日 | 幹事会 |
| 1月16日 | 広報委員会
リクリエーション委員会 | 9月18日 | 第214回ゴルフコンペ
(ナガシマカントリークラブ) |
| 1月13日 | 総務委員会 | 9月25日 | 第7回なごや子育てフォーラム 講師:
北村年子氏(ルポライター)「おかあさ
んだって ほめられたい」 |
| 1月23日 | 文化公益委員会
第2回カメラ同好会 | 10月 1日 | 新年度初例会 |
| 2月 3日 | 第393回囲碁会 | 10月 8日 | 財務委員会 |
| 2月 6日 | AKK・名古屋キワニス国際教育研究
助成贈呈式(第1769回例会)
事業企画委員会 | 10月13日 | 新旧役員を囲む懇親の会(一楽) |
| 2月13日 | 総務委員会 | 10月25日 | 幹事会 |
| 2月27日 | 第3回カメラ同好会 | 10月29日 | メンバーシップ委員会
第1回カメラ同好会 |
| 3月 2日 | 第394回囲碁会 | 11月 5日 | 平成17年度年次総会(第1804回例会)
事業企画委員会 |
| 3月 5日 | 幹事会 | 11月 6日~7日 | 秋の家族旅行会(熊野古道) |
| 3月11日~13日 | 第29回ASPAC名古屋大会 | 11月13日 | 第215回ゴルフコンペ
(中京ゴルフ倶楽部) |
| 4月 2日 | 文化公益委員会
事業企画委員会 | 11月19日 | 40周年記念事業等準備委員会 |
| 4月 6日 | 第395回囲碁会 | 11月26日 | 第2回カメラ同好会
文化公益委員会
事業企画委員会 |
| 4月 7日 | 花見の会・ASPAC打ち上げの会
(千代田) | 12月10日 | 事業企画委員会
総務委員会 |
| 4月16日 | 幹事会 | 12月17日 | クリスマス家族会 |
| 4月17日 | 第211回ゴルフコンペ
(中京ゴルフ倶楽部) | | |
| 4月23日 | 財務委員会 | | |
| 5月 4日 | 第396回囲碁会 | | |
| 5月 7日 | 第35回社会公益賞・第30回キワニス
文庫贈呈式(第1780回例会)
幹事会 | | |
| 5月12日 | 家庭教育講演会 講師:永井一郎氏
(声優)「人間をつくる~波平、大いに
語る~」 | | |
| 5月15日 | 春の家族旅行会(信楽、甲賀) | | |
| 5月28日 | 平成16年度臨時総会(第1783回例会) | | |
| 6月 1日 | 第397回囲碁会 | | |
| 6月 5日 | 第212回ゴルフコンペ
(松名カントリークラブ) | | |
| 6月11日 | 第4回カメラ同好会 | | |
| 7月 6日 | 第398回囲碁会 | | |
| 7月16日 | 事業企画委員会 | | |
| 7月17日 | 第213回ゴルフコンペ
(花の木ゴルフクラブ) | | |
| 7月23日 | 第5回カメラ同好会 | | |
| 8月 3日 | 第399回囲碁会 | | |
| 8月 4日 | 納涼と懇親の会(ホテルアソシア名古屋
ターミナル「プリアール」) | | |
| 8月27日 | 第6回カメラ同好会 | | |
| 9月 3日 | 第38回チャーターナイト記念特別例会
(第1796回例会)
総務委員会 | | |



第7回なごや子育てフォーラム

2005年(平成17年)



新年会員懇談会

第36回社会公益賞・
第31回キワニス文庫 贈呈式

納涼と懇親の会(イル・ノド)

第39回チャーターナイト記念
特別例会

- 1月 7日 新年会員懇談会
1月12日 40周年記念事業等準備委員会
1月21日 第3回カメラ同好会
1月28日 持出例会「セントレア見学」(第1813回)
2月 4日 40周年記念事業等準備委員会
幹事会
2月16日 雪見と懇親の会
(ガーデンレストラン徳川園)
2月18日 持出例会「キワニスの森」(第1815回)
2月25日 文化公益委員会
3月 4日 40周年記念事業等準備委員会
第4回カメラ同好会
3月11日 事業企画委員会
3月18日 青少年教育委員会
3月19日 第216回ゴルフコンペ
(ベルフラワーカントリークラブ)
3月25日 AKK・名古屋キワニス国際教育研究
助成贈呈式(第1820回例会)
4月 8日 40周年記念事業等準備委員会
メンバーシップ委員会
交流委員会
財務委員会
4月15日 第5回カメラ同好会
4月22日 幹事会
5月11日 家庭教育講演会 講師:木場弘子氏
(キャスター)「子育て中のみなさんへの
メッセージ」
5月13日 第36回社会公益賞・第31回キワニス
文庫贈呈式(第1825回例会)
5月14日 春の家族旅行会(京都)
5月15日 春の食事会(東京クラブ万博ツアー)
(東急ホテル「南国酒家」)
5月20日 第6回カメラ同好会
5月21日 第217回ゴルフコンペ
(小萱チェリークリークカントリークラブ)
5月27日 40周年記念事業等準備委員会
6月 3日 平成17年度臨時総会(第1828回例会)
総務委員会
幹事会
7月 1日 40周年記念事業等準備委員会
7月15日 第7回カメラ同好会
7月16日 第218回ゴルフコンペ
(花の木ゴルフクラブ)
7月20日 納涼と懇親の会(イル・ノド)
7月22日 40周年記念事業等準備委員会
7月29日 事業企画委員会
8月19日 40周年記念事業等準備委員会
8月26日 メンバーシップ委員会
9月 2日 第39回チャーターナイト記念特別例会
(第1840回例会)
第8回カメラ同好会
9月16日 40周年記念事業等準備委員会
9月17日 第219回ゴルフコンペ
(ナガシマカントリークラブ)
10月 3日 新年度初例会
10月 7日 第9回カメラ同好会
10月28日 財務委員会
11月 4日 平成18年度年次総会(第1847回例会)
事業企画委員会
11月11日 40周年記念事業実行委員会
メンバーシップ委員会
11月12日~13日
秋の家族旅行会(萩、津和野、秋芳洞)
11月18日 総務委員会
11月19日 第220回ゴルフコンペ
(中京ゴルフ倶楽部)
11月25日 事業企画委員会
第10回カメラ同好会
12月 2日 青少年教育委員会
12月 9日 事業企画委員会
12月16日 クリスマス家族会
40周年記念事業実行委員会



クリスマス家族会

2006年(平成18年)



ASPAC高雄大会
(台湾新幹線左營基地)



家庭教育講演会



第37回社会公益賞・
第32回キワニス文庫贈呈式



第4回AKK名古屋キワニス
国際教育研究助成贈呈式

- | | |
|---|--|
| <p>1月13日 新年会員懇談会
40周年記念事業実行委員会</p> <p>1月20日 文化公益委員会
第3回カメラ同好会</p> <p>2月 3日 青少年教育委員会
事業企画委員会</p> <p>2月14日 雪見と懇親の会(マリオットアソシアホテル ジュピターの間)
講師:シニアソムリエ 島 幸子氏</p> <p>2月17日 40周年記念事業実行委員会
メンバーシップ委員会</p> <p>2月24日 第4回カメラ同好会</p> <p>3月10日 40周年記念誌分科会</p> <p>3月17日 文化公益委員会</p> <p>3月18日 第221回ゴルフコンペ
(スプリングフィールドゴルフクラブ)</p> <p>3月30日 第3回幹事会</p> <p>3月31日 40周年記念事業実行委員会
第5回カメラ同好会</p> <p>4月 7日 中部ディビジョン会議中部ディビジョン交流会</p> <p>4月14日 財務委員会</p> <p>4月21日 第4回幹事会
総務委員会</p> <p>5月10日 家庭教育講演会
講師:作家 清水義範氏
「家庭で育てたい子どもの力」</p> <p>5月12日 第37回社会公益賞・第32回キワニス文庫贈呈式(第1868回例会)
40周年記念事業等準備委員会</p> <p>5月19日 青少年教育委員会
第6回カメラ同好会</p> <p>5月20日 第222回ゴルフコンペ
(多治見カントリークラブ)</p> <p>5月26日 平成18年度臨時総会
(第1870回例会)</p> <p>6月 2日 青少年教育委員会</p> <p>6月 3日 春の家族旅行会(近江八幡)</p> <p>6月 9日 総務委員会</p> <p>6月16日 40周年記念事業実行委員会</p> <p>7月14日 40周年記念事業実行委員会</p> <p>7月15日 第223回ゴルフコンペ
(ナガシマカントリークラブ)</p> <p>7月25日 納涼と懇親の会(ザ・タワーレストラン)</p> <p>7月28日 第7回カメラ同好会</p> <p>8月11日 40周年記念事業実行委員会</p> <p>8月18日 AKK・名古屋キワニス国際教育研究助成贈呈式(第1881回例会)</p> <p>8月25日 40周年記念事業実行委員会
メンバーシップ委員会
事業企画委員会
第8回カメラ同好会</p> | <p>9月 5日 第4回幹事会</p> <p>9月 8日 40周年記念事業実行委員会</p> <p>9月15日 40周年記念事業実行委員会</p> <p>9月16日 第224回ゴルフコンペ
(花の木ゴルフクラブ)</p> <p>9月22日 40周年記念事業実行委員会</p> <p>9月27日 40周年記念講演会 講師:東京大学名誉教授 月尾嘉男氏 「子どもたちの科学する心を育てるために」
40周年記念式典
名古屋キワニスクラブ賞創設
発明とくふう展優秀作品展示
40周年記念祝賀会(チャーターナイト
記念特別例会を兼ねて)</p> <p>10月 6日 新年度初例会</p> <p>10月 7日 第9回カメラ同好会</p> <p>10月13日 財務委員会</p> <p>10月27日 平成19年度年次総会
(第1889回例会)</p> <p>11月 2日 第六十回「発明とくふう展」
特別協賛 名古屋キワニスクラブ賞</p> <p>11月10日 青少年教育委員会
総務委員会</p> <p>11月11日~12日
秋の家族旅行会
(永平寺、朝倉氏遺跡、金沢)</p> <p>11月17日 文化公益委員会
メンバーシップ委員会
事業企画委員会</p> <p>11月18日 第225回ゴルフコンペ
(中京ゴルフ倶楽部)</p> <p>12月 1日 事業企画委員会</p> <p>12月 2日 「第六十回発明とくふう展」表彰式
名古屋キワニスクラブ賞贈呈</p> <p>12月 8日 青少年教育委員会
事業企画委員会</p> <p>12月15日 クリスマス家族会</p> |
|---|--|



秋の家族旅行会
(金沢)

例会の記録

●平成9年度

- 1439回1996年10月 4日 新年度初例会
- 1440 1996 10 11 中京大学 教養学部教授 桑村哲生 「魚の性、ヒトの性」
- 1441 1996 10 18 マルハ大東魚類(株) 前会長 中部政次郎 「鯨のはなし」
- 1442 1996 10 25 本郷眼科 眼科医 高柳泰世 「目の健康度について」
- 1443 1996 11 1 平成9年度年次総会
- 1444 1996 11 8 名古屋港水族館長 内田 至 「ギネスブックの亀達」
- 1445 1996 11 15 彫刻家・日展審査委員 鷺見香治 「ブロンズ像『祝福されし二人』によせて」
- 1446 1996 11 22 会員懇談会
- 1447 1996 11 29 立正大学 経済学部教授 藤井 隆
「グローバル化とローカリゼーション ～中部と世界の結び付き～」
- 1448 1996 12 6 伊藤宗太郎会員 「日本経済の奇跡 ～どんとこい消費税～」
- 1449 1996 12 20 運輸省中部運輸局長 磯田社一郎 「中部圏の運輸事業について」
- 1450 1997 1 10 新年会員懇談会
- 1451 1997 1 17 岡田 博会員 「病原性大腸菌O157の流行について」
- 1452 1997 1 24 林原グループ(株) JNF会長 清水弘昭 「プロポリス健康法」
- 1453 1997 1 31 工芸盆栽家 後藤孝敏 「ロシアはいま」
- 1454 1997 2 7 人事院法律顧問・元人事院総裁 内海 倫 「公務員OBから見た行政改革に思う」
- 1455 1997 2 14 河合 甫会員 「室内環境汚染の危機(クライシス)」
- 1456 1997 2 21 元自治大臣・前衆議院議員 佐藤観樹 「愛と技術は地球を救う」
- 1457 1997 2 28 日本車輛製造(株) 専務 堤 敦雄 「鉄道車両の変遷」
- 1458 1997 3 7 花井製作所 取締役会長 花井文雄 「江戸時代の手工業」
- 1459 1997 3 14 愛知学院大学 経営学部教授 北洞忠宏 「社員、顧客、サービス、そして成功 ～成功企業への道程～」
- 1460 1997 3 21 カラーコーディネーター 丸山真澄 「色彩活動の流れと重要性」
- 1461 1997 3 28 愛知県がんセンター 総長 青木国雄 「がん予防をめぐる最近の話題」
- 1462 1997 4 4 共同商事(株) 専務取締役 山村 興 「コーンスターチを知っていますか」
- 1463 1997 4 11 第28回社会公益賞・第23回キワニス文庫贈呈式
- 1464 1997 4 17 夜間会員懇談会
- 1465 1997 4 25 南山大学 外国語学部教授 ハリー・レイ 「C.A.N.HELPタイランドの活動、その後」
- 1466 1997 5 2 二科会写真部会員 託間喬夫 「撮影雑感」
- 1467 1997 5 9 豊川高等学校長 平井眞一 「今の若者について」
- 1468 1997 5 16 臨時総会
- 1469 1997 5 23 藤田保健衛生大学 医学部神経外科助教授 庄田 基 「脳卒中の予防と治療法」
- 1470 1997 5 30 岐阜女子大学 英米文学部教授 沢田助太郎 「ロダンと花子」
- 1471 1997 6 6 安藤七宝店 代表 安藤重良 「よみがえる巨大七宝」
- 1472 1997 6 13 CAPNA 代表 祖父江文宏 「いのち見失うとき ～そんなにがんばらないで～」
- 1473 1997 6 20 元河合塾学園 理事 伊藤 博 「私の音楽人生」
- 1474 1997 6 27 名古屋証券取引所 理事長 河合一郎 「IRエキスポをめぐる」
- 1475 1997 7 4 画家・新馬の会事務局 永井順子 「木曾馬の魅力教えます」
- 1476 1997 7 11 ソプラノ・ミュージックキャスター 下垣真希 「音楽は心の栄養素 ～ドイツ音楽武者修行～」
- 1477 1997 7 18 東海銀行女子陸上競技部 監督 竹内伸也 「一流選手と落ちこぼれ選手」
- 1478 1997 7 25 版画浮世絵作家、サロン・ド・パリ会員 瀧 秀水 「浮世絵と私」
- 1479 1997 8 1 愛知淑徳短期大学助教授 清水良典 「現代文学と教育」
- 1480 1997 8 8 電波タイムズ社 中部支局長 井坂明雄 「最近の放送界」
- 1481 1997 8 22 名古屋市立西味鉢小学校 校長 瀬瀬絃子 「子育て支援に向けての学校の機能」
- 1482 1997 8 29 日本舞踊内田流家元 内田寿子 「今がそのとき」
- 1483 1997 9 5 第31回チャーターナイト記念特別例会
- 1484 1997 9 19 伊藤宗太郎会員 「コストダウンの手法 ～どんとこい消費税Ⅱ～」
- 1485 1997 9 26 名古屋第一赤病院 院長 服部竜夫 「外科医の密かな反省」

●平成10年度

- 1486回1997年10月 3日 新年度初例会
- 1487 1997 10 17 村上公一会員 「村上水軍のはなし」
- 1488 1997 10 24 名古屋フィルハーモニー交響楽団 三宅 薫、太田一也 「オーケストラとは?(チェロ演奏)」
- 1489 1997 10 31 平成10年度年次総会
- 1490 1997 11 7 光洋精工(株) 会長 坪井珍彦 「ベアリングの父～レオナルド・ダ・ヴィンチ」
- 1491 1997 11 14 (株)ニュース 取締役 二代目 勤勉亭親不孝(鈴木雅貴)
「名古屋弁に見る人、街、文化のお話 ～名古屋はどおーでもええんだわ論～」
- 1492 1997 11 21 愛知淑徳大学 大学院教授 義井 博 「第二次大戦前の日独外交秘話」
- 1493 1997 11 28 愛知学院大学 非常勤講師・バイオデンタルクリニック 院長 大原盛勝
「チェンジ・ユア・スマイル～心と体を豊かにする歯科治療」
- 1494 1997 12 5 日本工芸会会員・硯刻 名倉利幸 「日本の硯」
- 1495 1997 12 12 花岳寺 住職 鈴木悦道 「忠臣蔵うらおもて」
- 1496 1998 1 9 新年会員懇談会
- 1497 1998 1 16 御園座 経理部長 渡辺久男 「歌舞伎の女形」
- 1498 1998 1 23 岡田 博会員 「我が国の高齢者は10才は若返っている」
- 1499 1998 1 30 名古屋市民芸術祭賞受賞 岩田恭彦 「琴・尺八の演奏と楽器アラカルト」
- 1500 1998 2 6 会員懇談会
- 1501 1998 2 13 ボイス・オブ・アイチ 代表理事 山内光男 「高校野球春夏記念大会の話題」
- 1502 1998 2 20 清水建設(株) 名古屋支店三河統括営業所長 飯柴英次 「蟹のはなし」
- 1503 1998 2 27 樋口敬二会員 「地球温暖化と日本」
- 1504 1998 3 6 NHK名古屋放送局 チーフアナウンサー 榊 寿之 「きくばり会話術」
- 1505 1998 3 13 現代舞踊 杉江良子 「モダンダンス・ミニパフォーマンス」
- 1506 1998 3 20 樹樹画廊 下村直樹 「版画の青春 ～小野忠重の道～」
- 1507 1998 3 27 名古屋大学 医学部教授・薬剤部長 鍋島俊隆 「ほけ防止に効く薬はあるか」
- 1508 1998 4 3 戸谷良造会員 「ニューヨーク・エイズ事情」
- 1509 1998 4 10 二科展写真部審査員・日本写真家協会会員 高間新治 「竹撮り人生」
- 1510 1998 4 17 第29回社会公益賞・第24回キワニス文庫贈呈式
- 1511 1998 4 24 日本コロムビア専属・(株)ディーシーエス感性研究所 主任研究員 松田哲男
「心の豊かさを求めて ～大江 光の世界と癒しの音楽～」
- 1512 1998 5 1 ビデオ上映会 「国際キワニス世界奉仕活動・ヨード欠乏症撲滅運動」
- 1513 1998 5 8 相羽雅文会員 「真の学習目標に挑戦、そして望ましい日常生活を」
- 1514 1998 5 15 岐阜県名古屋事務所 所長 服部康夫 「ご存知ですか? 最近の岐阜県」
- 1515 1998 5 22 臨時総会
- 1516 1998 5 29 吉田康彦会員 「古事記の中に記された超古代の高度科学技術文明」
- 1517 1998 6 5 (財)日本不動産研究所 名古屋支所長 伊藤明良
「不動産市場のグローバル化と定期借家制度の創設」
- 1518 1998 6 12 日本計量史学会会員・「秤の館」館長 秤屋健蔵 「秤にかけた人生」
- 1519 1998 6 19 愛知県21世紀芸術家集団 代表・彩色書 創始者 亀山雪峰 「書 ～21世紀への挑戦～」
- 1520 1998 6 26 名古屋第一赤十字病院 小児科部長 有吉允子 「三つ子の魂 百まで」
- 1521 1998 7 3 瀬戸少年院 院長 奥平裕美 「少年非行と法務教官」
- 1522 1998 7 10 会員懇談会
- 1523 1998 7 17 医療法人伊藤内科 理事長 伊藤春夫 「子供の心の悩みに対する対応について」
- 1524 1998 7 24 元・東海高等学校 校長 松濤基道 「日本人とうた」
- 1525 1998 7 31 (株)ダイテック 社長 堀 誠 「ソフトウェア企業の現状」
- 1526 1998 8 7 名古屋大学 大学院教授 小川 明 「情報通信の将来」
- 1527 1998 8 21 中部大学 大学院教授 飯田経夫 「現在の日本経済の問題点」
- 1528 1998 8 28 (株)石捨 野村勘治 「名古屋の庭園文化」
- 1529 1998 9 4 第32回チャーターナイト特別記念例会
- 1530 1998 9 18 名古屋大学 教授 松崎雄嗣 「身体の中のニュートン力学」
- 1531 1998 9 25 河合恒人会員 「キワニスの森について」

● 平成11年度

- 1532回 1998年10月 2日 新年度初例会
- 1533 1998 10 9 名古屋市美術館 学芸員 深谷克典 「ピカソの生涯」
- 1534 1998 10 16 本州四国連絡橋公団 企画開発部長 西田寿起 「明石海峡大橋について」
- 1535 1998 10 23 歯科医師 新田義人 「ミャンマー蒸気機関車の旅」
- 1536 1998 10 30 平成11年度年次総会
- 1537 1998 11 6 東海旅客鉄道(株) 取締役 酒井吉彦 「いよいよ棟上げ、超高層JRセントラルタワーズはこんなビル」
- 1538 1998 11 13 (株)W5スタッフサービス 代表取締役社長 橋本桂子 「ベンチャービジネス ゼロからの出発」
- 1539 1998 11 20 会員懇談会
- 1540 1998 11 27 名城大学理工学部 教授 泉 満明 「橋紀行・パリ」
- 1541 1998 12 4 名古屋大学 名誉教授 井関弘太郎 「矢作川河口堰の起結」
- 1542 1998 12 11 名古屋ポストン美術館 学芸部長 山脇佐江子 「名古屋ポストン美術館、いよいよ開館」
- 1543 1999 1 8 新年会員懇談会
- 1544 1999 1 22 中部国際空港(株) 副社長 山下邦勝 「中部国際空港の進行状況」
- 1545 1999 1 29 料亭「魚鉄」 料理長 五味貞介 「南極越冬隊体験記」
- 1546 1999 2 5 YOSHIの会 代表 服部政一 「米国銃社会と規制運動」
- 1547 1999 2 12 (株)地域計画建築研究所(アルバック) 取締役副社長 尾関利勝
「21世紀は世界都市の時代 ～名古屋は、はたして日本の三男坊か～」
- 1548 1999 2 19 (財)2005年日本国際博覧会協会 事務総長 黒田 眞 「2005年日本国際博覧会の現状」
- 1549 1999 2 26 東山動物園 園長 鹿島英佑 「動物園こぼれ話」
- 1550 1999 3 5 会員懇談会
- 1551 1999 3 12 名古屋市立大学 名誉教授 青山光子 「ドイツのゴミ事情」
- 1552 1999 3 19 日本アイ・ビー・エム(株) 取締役西日本支社長 石黒和義 「相撲錦絵を語る」
- 1553 1999 3 26 前・県サービスセンター常務理事 岡田和幸 「心の教育について」
- 1554 1999 4 2 陝西省文物事業管理局外事處 趙 鷗 「兵馬俑の発見及び最新情報」
- 1555 1999 4 9 東海旅客鉄道(株) 代表取締役会長 須田 寛 「産業文化財を訪ねて『産業観光』」
- 1556 1999 4 16 「産業技術記念館」例会
- 1557 1999 4 23 第30回社会公益賞・第25回キワニス文庫贈呈式
- 1558 1999 5 7 内山保育園 園長 片山千鶴子 「子どもたちのまなざしの中で」
- 1559 1999 5 14 臨時総会
- 1560 1999 5 21 (財)鉄道総合技術研究所 理事長 副島廣海 「山梨リニア実験線の成果と展望」
- 1561 1999 5 28 版画「米屋」 中林静江 「旅話いろいろ」
- 1562 1999 6 4 会員懇談会
- 1563 1999 6 11 中国医学気功学院長 何 雲 「健康増進、生活習慣病の予防と治療のための誰でもできる中国気功」
- 1564 1999 6 18 東海銀行プライベートバンキング 推進部長 木村一郎 「日本の投資信託の現状とその将来」
- 1565 1999 6 25 NHK名古屋放送局 アナウンサー 吉田 賢 「大相撲こぼれ話」
- 1566 1999 7 2 名古屋大学 名誉教授 塩澤君夫 「近年日本の高等教育の現状と学界状況」
- 1567 1999 7 9 愛知県警察本部 刑事部参事官 河野勝慶 「企業を狙う組織犯罪」
- 1568 1999 7 16 水中写真家 今尾映子 「海、生命の物語」
- 1569 1999 7 23 富士ゼロックス教育総合研究所 人権専任アドバイザー 佐野好美
「益々重要になる企業のセクハラ防止対策」
- 1570 1999 7 30 (株)吉理 代表取締役 義積五郎 「思いつくまま一人旅」
- 1571 1999 8 6 桜花学園大学 教授 日下英之 「熱田歴史散歩」
- 1572 1999 8 20 津島市民病院 副院長 林 博史 「体内リズムの秘密」
- 1573 1999 8 27 東海旅客鉄道(株) 代表取締役副社長 田中宏昌 「新幹線を守る人々」
- 1574 1999 9 3 第33回チャーターナイト記念特別例会
- 1575 1999 9 17 親業訓練協会 インストラクター 横田美佐子 「親業 ～親と子はもっとわかりあえる～」
- 1576 1999 9 24 南山大学大学院神学研究科(元旭サナック専務) 三本木國喜 「天使学入門」

● 平成12年度

- 1577回1999年10月 1日 新年度初例会
- 1578 1999 10 8 中国医学気功学院 事務局長 西川 修 「生活習慣病と<薬膳>」
- 1579 1999 10 15 名古屋大学 名誉教授 堀内 守 「少子化の行方」
- 1580 1999 10 22 伊藤宗太郎会員 「名古屋城下町あれこれ」
- 1581 1999 10 29 平成12年度年次総会
- 1582 1999 11 5 村上公一会員 「伊予水軍物語」
- 1583 1999 11 12 金城学院大学 講師、現代美術作家 山田彊一 「ピカソは、やっぱり名古屋人」
- 1584 1999 11 19 桜花学園大学 比較文化学科生 宗 婷 「中国琵琶の演奏」
- 1585 1999 11 26 愛知学院大学 教授 岩田憲明 「井原西鶴に学ぶ経営学」
- 1586 1999 12 3 会員懇談会
- 1587 1999 12 10 (株)安藤七宝店 取締役社長 安藤重良 「七宝焼について」
- 1588 2000 1 7 新年会員懇談会
- 1589 2000 1 14 名古屋市役所 民生局 介護保険準備室長 松永恒裕 「介護保険と名古屋市における取り組み」
- 1590 2000 1 21 尺八奏者 岩田恭彦 「進化する尺八と琴、21世紀の可能性…」
- 1591 2000 1 28 中日文化センター 料理教室長 伊藤華づ枝 「食事による健康づくり ～健康は人生成功の秘訣～」
- 1592 2000 2 4 名古屋自由学院短期大学 教授 雑喉 潤 「55年前の素晴らしい教育」
- 1593 2000 2 18 のなみ訪問看護ステーション 管理者 藤村淳子 「楽しく老いるためには —— 一緒に考えませんか」
- 1594 2000 2 25 (財)日本不動産研究所 名古屋支所長 長田保夫 「定期借家制度創設に伴う影響について」
- 1595 2000 3 3 元・中部電力(株) 副社長 林 政義 「幕末における水戸藩の悲劇」
- 1596 2000 3 10 キワニス日本地区 会長 徳永幸雄 「日本地区会長に就任して」
- 1597 2000 3 17 (有)てとと 代表取締役 熊代維勢子 「生涯現役で!」
- 1598 2000 3 24 パートナースHIP・サポートセンター 常務理事・事務局長 岸田眞代
「NPOとのパートナーシップで企業は伸びる」
- 1599 2000 3 31 ハーブ&アロマ・コーディネーター 影山むつみ 「ハーブの香りで心身リフレッシュ ～アロマセラピー～」
- 1600 2000 4 7 西川流 日本舞踊 西川長寿 「芸どころ名古屋の今昔ばなし ～踊りの心、扇の見立～」
- 1601 2000 4 14 増子記念病院 院長 伊藤 晃 「駅裏診療録あれこれ」
- 1602 2000 4 21 第31回社会公益賞、第26回キワニス文庫贈呈式
- 1603 2000 4 28 会員懇談会
- 1604 2000 5 12 愛知県人形劇協会 会長 須藤三男 「人形劇文化史 ～人形劇は、なぜ面白い～」
- 1605 2000 5 19 臨時総会
- 1606 2000 5 26 愛知県立芸術大学 助教授 林 功 「源氏物語絵巻の復元と科学調査」
- 1607 2000 6 2 帝京大学 教授 唐津康夫 「イギリスで歩いて考えた」
- 1608 2000 6 9 (株)中日新聞社 客員、元・副知事 甲斐一政 「避けられない行政のビッグバン」
- 1609 2000 6 16 (有)イメージアップ 代表取締役 井坂勝美 「自分をより活かすカラーコーディネイト」
- 1610 2000 6 23 環境ディレクター／愛知県立芸術大学教授 林 英光
「21世紀の都市環境づくりの試み『混在のデザイン』」
- 1611 2000 6 30 胡弓、三味線、ホーミー 演奏家 石田音人 「弦の響きはアジアの風」
- 1612 2000 7 7 東海旅客鉄道(株) 常務取締役 関 秋生 「超電導リニアの開発の現状と今後の課題」
- 1613 2000 7 14 山梨リニア実験線視察持出例会
- 1614 2000 7 21 (株)料亭志ら玉 社長 柴山笑庵 「日本の食文化について」
- 1615 2000 7 28 都市調査室 代表 高田弘子 「まちづくりのポエム」
- 1616 2000 8 4 決戦関ヶ原大垣博実行委員会 会長 田中康義 「決戦関ヶ原 大垣博について」
- 1617 2000 8 18 名古屋大学医学部 教授 二村雄次 「肝臓・胆道・膵臓癌の治療」
- 1618 2000 8 25 椋山女学園大学 教授 成田善弘 「若者のひきこもりについて」
- 1619 2000 9 1 第34回チャーターナイト記念特別例会
- 1620 2000 9 22 国立民族博物館 名誉教授 藤井知昭 「21世紀の文化戦略」
- 1621 2000 9 29 日本電話施設(株) 代表取締役社長 山内一郎 「くたばれ IT」

● 平成13年度

- 1622回2000年10月 6日 新年度初例会
- 1623 2000 10 13 (株)花井製作所 社長 花井文雄 「テーブルマナー」
- 1624 2000 10 20 ACTIVE・G 館長 渡邊 勲 「ONLY ONEへの試み ～ワールドデザインシティ・GIFU～」
- 1625 2000 10 27 平成13年度年次総会
- 1626 2000 11 10 テミス綜合法律事務所 弁護士 藤田 哲 「日本のPL法」
- 1627 2000 11 17 関西ペイント(株) 自動車塗料本部第二技術部 部長 森本和之 「ペンキのお話」
- 1628 2000 11 24 英国領事館 領事 セーラ・ウテン 「英国と日本 変わりゆく2つの社会」
- 1629 2000 12 1 東海旅客鉄道(株) 副社長 田中宏昌 「台湾新幹線プロジェクトへの日本の参画」
- 1630 2000 12 8 名古屋市立大学医学部 名誉教授、美術評論、俳人 馬場駿吉 「俳句の国際化」
- 1631 2000 12 15 NTT西日本 ビジネス・ユーザー営業本部戦略企画室 担当部長 山田 勇 「ITの歴史」
- 1632 2001 1 12 新年会員懇談会
- 1633 2001 1 19 名古屋大学 名誉教授 福住一雄 「『老化防止と長寿』の達成について」
- 1634 2001 1 26 (株)丸栄 代表取締役会長 澤木秀夫 「愛知県の金融史『東海銀行を中心として』」
- 1635 2001 2 2 日本国際博覧会協会 事務総長 坂本春生 「新世紀にふさわしい万博」
- 1636 2001 2 9 女優 いとう まい子 「素顔の子供達 ～中学生日記と私～」
- 1637 2001 2 16 会員懇談会
- 1638 2001 2 23 三ツ木 修 「生で聴くSP」
- 1639 2001 3 2 高知県名古屋事務所 所長 垣内省三 「室戸海洋深層水について」
- 1640 2001 3 9 (有)センチメンタル・ファミリー 代表取締役 竹内健人 「万博は志民の扉を開ける」
- 1641 2001 3 16 臨床心理士 山田麻紗子 「現場から見た少年非行について」
- 1642 2001 3 23 漢方の本草閣 薬剤師 浮亀 浩
「予防医学からみた漢方薬・民間薬 ～百歳まで元気で長生きするには!～」
- 1643 2001 3 30 弁護士 藤田 哲 「米国カリフォルニア州の陪審制について」
- 1644 2001 4 6 (株)東海総合研究所 代表取締役副社長 門野史明 「2001年度の経済見通し」
- 1645 2001 4 13 谷澤知巴矢 「箏の演奏と箏曲についてのお話」
- 1646 2001 4 20 (株)NTTドコモ東海モバイル マルチメディア推進本部 部長 中村典生
「モバイルマルチメディアとIT革命」
- 1647 2001 4 27 第32回社会公益賞・第27回キワニス文庫贈呈式
- 1648 2001 5 11 中京女子大学 学長 谷岡郁子 「青少年のための大人教育」
- 1649 2001 5 18 (株)ポッカコーポレーション基礎技術研究所 係長、農学博士 三宅義明 「レモンの健康機能について」
- 1650 2001 5 25 臨時総会
- 1651 2001 6 1 ウェザーニューズ名古屋(株) 社長 高梨生馬 「天気予報の活用法」
- 1652 2001 6 8 愛知県立芸術大学音楽学部助教授、バイロイト音楽祭管弦楽団トランペット奏者 武内安幸
「バイロイトとワーグナー」
- 1653 2001 6 15 藤田保健衛生大学医学部 教授 野村隆英 「クスリと副作用」
- 1654 2001 6 22 名古屋工業大学工学部 教授、建築家 若山 滋 「ネット時代の都市像」
- 1655 2001 6 29 正調名古屋甚句を拡める会 主宰、本條流端唄 本條秀華 「正調名古屋甚句について」
- 1656 2001 7 6 南山大学文学部 教授 安田文吉 「名古屋文化」
- 1657 2001 7 13 中部経済産業局 局長 市川祐三 「中部ビジネスモデル」
- 1658 2001 7 27 (株)シナ忠 代表取締役社長 白木信平 「浪曲 ～乃木将軍とシナ忠の巻～」
- 1659 2001 8 3 福岡教育大学 障害児教育講座教授 志村 洋 「触れる優しさ:盲人と触覚の世界」
- 1660 2001 8 10 会員懇談会
- 1661 2001 8 24 名古屋大学医学部 教授 吉田 純 「脳卒中外科医療の現状と問題点」
- 1662 2001 8 31 JR東海生涯学習財団 常務理事 川口順啓 「生涯学習の振興をめざして」
- 1663 2001 9 14 第35回チャーターナイト記念特別例会
- 1664 2001 9 21 日本車輛製造(株) 取締役社長 松田和久 「ペットボトルの B to B リサイクル」
- 1665 2001 9 28 住友重機械工業(株) 中部支社長 田中 昭 「フルトヴェングラーのアセテート録音」

● 平成14年度

1666回	2001年10月	5日	新年度初例会
1667	2001	10 12	ロンドンシティーユニバーシティ 講師・作曲家 ユミ・ハラ・コークウエル 「医者をやめてイギリスで音楽家」
1668	2001	10 19	香道 御家流 石川阿季子 「香道による幽玄の美」
1669	2001	10 26	平成14年度年次総会
1670	2001	11 2	(株)花井製作所 社長 花井文雄 「日本の常識は世界の非常識」
1671	2001	11 9	NHK名古屋放送局 伊井和徳 「放送のデジタル化について ～BSデジタル放送受信体験～」
1672	2001	11 16	(株)東光園 販売部課長 吉田久美子 「フイトンチッド効果について」
1673	2001	11 30	林哲郎会員 「公安委員室の窓から」
1674	2001	12 7	アロン化成(株) 高槻事業所 主査 岩田 晋 「韓国に残る日本家屋」
1675	2001	12 12	山梨リニア試乗会
1676	2002	1 11	新年会員懇談会
1677	2002	1 18	伊藤宗太郎会員 「清州越と名古屋碁盤割り」
1678	2002	1 25	マチュ・フィリップ神父 「パキスタンとインドの事情について」
1679	2002	2 1	大橋小源治会員 「津島の祭り」
1680	2002	2 8	名古屋市立大学 医学部臨床教授 上田公介 「癌治療における温熱療法」
1681	2002	2 15	画家(示現会所属) 志賀源吾 「絵の話」
1682	2002	2 22	キワニスインターナショナル日本地区 会長 佐藤満秋 「Building Today For Tomorrow's Dreams」
1683	2002	3 1	元民社党委員長 塚本三郎 「景気回復と政治の使命」
1684	2002	3 8	チェンバロ製作クラヴサン工房 安達正浩 「『過去との対話』～楽器作りの楽しみ～」
1685	2002	3 22	岐阜大学講師 清水良明 「父親業 ～子供に学びながら～」
1686	2002	3 29	名古屋市立大学留学生会 会長 李 相奎 「日本へ留学して」
1687	2002	4 5	和泉流狂言師 井上祐一 「伝統芸能 ～狂言～ の話」
1688	2002	4 12	北京東方薬膳研究会 日本代表 NHK文化センター講師 西川 修 「中医学から見る食べ物学」
1689	2002	4 19	野球評論家 河村保彦 「野球人生」
1690	2002	4 26	第33回社会公益賞、第28回キワニス文庫贈呈式
1691	2002	5 10	会員懇談会
1692	2002	5 17	NHK文化センター 講師 何 雲 「自分で出来る康復療法」
1693	2002	5 24	三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所 取締役技師長 山崎 勲 「H-IIA ロケットの開発について」
1694	2002	5 31	臨時総会
1695	2002	6 7	名古屋工業大学 名誉教授 池田哲夫 「インターネット社会の危険性について」
1696	2002	6 14	中部HSST開発(株) 代表取締役社長 関谷崇夫 「HSSTと東部丘陵線(2005年国際博覧会アクセス線)・HSST試乗会」
1697	2002	6 21	西日本電信電話(株) 取締役名古屋支店長 笹倉信行 「川・街道から見た名古屋」
1698	2002	6 28	三ツ木 修 「生で聴くSP盤の世界 パート2」
1699	2002	7 5	尺八琴演奏 岩田恭彦 岩田知恵美 「日本の音 ～若々しさとその響き～」
1700	2002	7 12	名古屋港管理組合 副管理者 国際港湾協会 会長 染谷昭夫 「日本一になった名古屋港」
1701	2002	7 19	NHK チーフディレクター 佐藤峰世 「大河ドラマ『利家とまつ』の舞台裏」
1702	2002	7 26	名古屋大学大学院 教授 工学博士 環境学研究科都市環境学専攻 福和伸夫 「東海地震について」
1703	2002	8 2	現代礼法研究所 マナーデザイナー 伊藤享子 「心のおしゃれをしてみませんか」
1704	2002	8 9	佛師 江場琳賢 「祈りのお姿、仏像」
1705	2002	8 23	日本貿易振興会 理事長 渡辺 修 「内外経済雑感」
1706	2002	8 30	愛知県立芸術大学 日本画保存模写研究会 指導技師 加藤純子 「本丸御殿の障壁画と復元模写」
1707	2002	9 6	青山光子会員 「上海の敬老院をたずねて」
1708	2002	9 20	第36回チャーターナイト記念特別例会
1709	2002	9 27	臨時総会

● 平成15年度

- 1710回2002年10月 4日 新年度初例会 坂 芳雄会員 「世界大会短信とアメリカの寝台列車の旅」
- 1711 2002 10 11 地価ジャーナリスト 大野幸一 「名古屋の地価 この時、再生する」
- 1712 2002 10 18 会員懇談会
- 1713 2002 10 25 平成15年度年次総会
- 1714 2002 11 1 柳家小三亀松、内田り三亀 「名古屋発祥の都都逸講座」
- 1715 2002 11 8 豊田合成(株) オプトE事業部主席研究員 小池正好 「青色LEDの開発と製品」
- 1716 2002 11 15 (社)東京キワニスクラブ 理事副会長 大堀太千男 「IDDのお話」
- 1717 2002 11 22 萬屋仁兵衛 文造 「からくり人形」
- 1718 2002 11 29 住友重機械工業(株) 中部支社長 田中 昭 「中国を知る」
- 1719 2002 12 6 ヴァイオリニスト 石田なをみ 「ヴァイオリン演奏」
- 1720 2003 1 10 新年会員懇談会
- 1721 2003 1 17 ひまわりの会 代表 奥 貴敏 「花は生きとし生ける全てのものへの神様からの贈りもの」
- 1722 2003 1 24 名古屋市 齋藤 孝 「名古屋学入門 ～名古屋人、名古屋を知らず～」
- 1723 2003 1 31 NHK名古屋放送局 技術部長 横尾忠晃 「デジタル化でテレビはこう変わる」
- 1724 2003 2 7 (財)名古屋コンベンションビューロー 参事 林 昌利 「タイ 昆虫記」
- 1725 2003 2 14 弁護士 大塚鏡子 「オペラで綴る法律のお話 ～カルメン～」
- 1726 2003 2 21 (財)岐阜県県民ふれあい会館 理事長 桑田宜典 「イベント立県 ぎふ」
- 1727 2003 2 28 蓮性院 住職 加藤彰信 「大樹寺と徳川家康公」
- 1728 2003 3 7 ソプラノ 水谷映美 ピアノ 釣 由美 「ソプラノ スプリングコンサート」
- 1729 2003 3 14 キワニスインタナショナル日本地区 会長 小堀 直 「Commit to Serve With Humble Excellence」
- 1730 2003 3 28 軽井沢上野美術館 館長、中部ベンクラブ 理事 上野ミチオ 「絵と出会う」
- 1731 2003 4 4 持出例会 ノリタケの森
- 1732 2003 4 11 人材開発プロデューサー 犬塚尚美 「ワインと暮らす お洒落に暮らす」
- 1733 2003 4 18 元愛知県立千種高等学校 校長 高島 敬 「庭木から学ぶ」
- 1734 2003 4 25 日本銀行 名古屋支店長 横田 格 「銀行券物語」
- 1735 2003 5 9 第34回社会公益賞 第29回キワニス文庫授賞式
- 1736 2003 5 16 高木 弘会員 「健やかに老いるために」
- 1737 2003 5 23 竹田嘉兵衛商店 竹田耕三 「有松しぼり」
- 1738 2003 5 30 臨時総会
- 1739 2003 6 6 (財)トヨタ理化学研究所 理事・刈谷少年発明クラブ 会長 桑門 聰 「少年少女発明クラブのこと」
- 1740 2003 6 13 会員懇談会
- 1741 2003 6 20 西日本電信電話(株) 取締役名古屋支店長 笹倉信行 「水から見た名古屋の歴史・地名」
- 1742 2003 6 27 愛知文教女子短期大学 非常勤講師 日比野敏夫 「古典からの贈り物 ～「徒然草」から学ぶ人生訓～」
- 1743 2003 7 4 名古屋学芸大学 学長 井形昭弘 「明るい長寿社会」
- 1744 2003 7 11 あいち小児保健医療総合センター センター長 長嶋正實 「こどもと健康」
- 1745 2003 7 18 リコタン企画 岡本典子 「今輝いてシーンボイスガイド」
- 1746 2003 7 25 東海旅客鉄道(株) 執行役員 総合技術本部技術開発部 森村 勉
「東海道新幹線全編成270kmの技術の歩み」
- 1747 2003 8 1 ヘヤーデザイナー(シュバリエナイト勲章受賞者) 大林博之
「世界が認める日本人ヘアアーティストの美意識」
- 1748 2003 8 8 住友重機械工業(株) 中部支社長 田中 昭 「手塚治虫と私」
- 1749 2003 8 22 (財)トヨタ理化学研究所 理事・刈谷少年発明クラブ 会長 桑門 聰 「刈谷少年発明クラブ見学」
- 1750 2003 8 29 山下邦勝会員 「中部国際空港 ～開港まであと一年半～」
- 1751 2003 9 5 東海旅客鉄道(株) 代表取締役副社長 渡邊高峯 「新たな時代に飛躍する東海道新幹線」
- 1752 2003 9 19 第37回チャーターナイト記念特別例会
- 1753 2003 9 26 東海旅客鉄道(株) 取締役建設工事部長 野田豊範 「東海道新幹線品川駅の概要と新設工事」

● 平成16年度

- 1754回2003年10月 3日 新年度初例会 元気に百歳クラブ 代表幹事 鈴木将夫 「元気が最高のボランティア」
- 1755 2003 10 9 山梨リニア視察例会
- 1756 2003 10 17 藤田保健衛生大学 医学部神経内科 教授 山本纈子 「脳血管障害と生活習慣病」
- 1757 2003 10 24 平成16年度年次総会
- 1758 2003 10 31 三輪勝年会員 「不動産オーナーのサバイバル戦略」
- 1759 2003 11 7 愛知県警察 柔道師範、名古屋大学 柔道師範 高濱久和 「柔道から学んだこと」
- 1760 2003 11 14 野嶋 孝会員 「北米大停電について」
- 1761 2003 11 21 齋藤 蕙会長 「ASPAC概要説明会」
- 1762 2003 11 28 学校法人名古屋大原学園 理事長 杉山孝男 「読書は百万人の心の緑化運動」
- 1763 2003 12 5 ホテルアソシア名古屋ターミナル 総料理長 太田成正 「ごちそう」
- 1764 2003 12 12 (財)2005年日本国際博覧会協会 副会長 坂本春生 「愛・地球博の創造と挑戦」
- 1765 2004 1 9 新年会員懇談会
- 1766 2004 1 16 NHK名古屋放送局 受信技術部長 清水義則 「地上デジタル放送について」
- 1767 2004 1 23 元中部電力(株) 副社長 林 政義 「実録水戸黄門」
- 1768 2004 1 30 (株)正文館書店 代表取締役社長 谷口正明 「選ぶことは捨てること」
- 1769 2004 2 6 AKK名古屋キワニス国際教育助成金贈呈式
- 1770 2004 2 13 齋藤 蕙会長、二村昌土事務局長、和田政司会員
「ASPAC名古屋大会の説明会I 開会式、ASPACナイト、閉会式の説明」
- 1771 2004 2 20 齋藤 蕙会長 「ASPAC名古屋大会の説明会II 大会全体の説明」
- 1772 2004 2 27 齋藤 蕙会長 「ASPAC名古屋大会の説明会III 各担当部署の説明会」
- 1773 2004 3 5 齋藤 蕙会長 「ASPAC名古屋大会の説明会IV 全体進行表の説明」
- 1774 2004 3 19 本條流直門端唄 本條秀生 「端唄と正調名古屋甚句」
- 1775 2004 3 26 入谷正章会員 「裁判員制度について」
- 1776 2004 4 2 中村孝王会員 「野球を2倍楽しむために」
- 1777 2004 4 9 名古屋女子文化短期大学 非常勤講師、画家 車戸優子 「画家と名画」
- 1778 2004 4 16 名古屋市 教育長 大野重忠 「家庭教育講演会協賛金贈呈式」
- 1779 2004 4 23 伊藤宗太郎会員 「続 名古屋碁盤割り」
- 1780 2004 5 7 第35回社会公益賞 第30回キワニス文庫授賞式
- 1781 2004 5 14 (有)シー・アンド・シー・藤田 代表取締役社長 藤田訓弘
「21世紀に求められるリーダー像: ~混とんとした時代をブレイクスルーするためのリーダーのあり方~」
- 1782 2004 5 21 (株)ジャルセールス 執行役員中部支社長 池田 博 「航空輸送業のあれこれ」
- 1783 2004 5 28 臨時総会
- 1784 2004 6 4 会員懇談会 「40周年記念事業等についてフリートーク」
- 1785 2004 6 11 クリーン堀川 副会長 松田勝三 「堀川はよみがえるか」
- 1786 2004 6 18 (株)妙香園 専務取締役 嶋村徳之 「お茶の話」
- 1787 2004 6 25 弁護士 熊田登与子 「子どもたちをめぐる問題」
- 1788 2004 7 2 愛知学泉文化センター 政策室事務局長 伊藤寿洪 「最近の邪馬台国論争」
- 1789 2004 7 9 東京キワニスクラブ 事務局長 佐藤隆国 「キワニススクールと奉仕活動」
- 1790 2004 7 16 松原武久会員 「『環境首都なごや』をめざして」
- 1791 2004 7 23 硯刻家 名倉鳳山 「『心の器』を創る」
- 1792 2004 7 30 名古屋女子大学 文学部教授 林 和利 「狂言の現状と名古屋」
- 1793 2004 8 6 中京大学 心理学部非常勤講師 丹羽辰夫 「知られていない訪問教育」
- 1794 2004 8 20 キワニスインターナショナル日本地区 ガバナー 木村太郎 「キワニス奉仕活動を考える」
- 1795 2004 8 27 半田鉄道少年団 団長 北川謙次郎 「半田鉄道少年団の活動を通じて」
- 1796 2004 9 3 第38回チャーターナイト記念特別例会
- 1797 2004 9 17 長寿社会文化協会中部ネットワークセンター 代表 岡山弘子 「ボランティア育成と海外支援」
- 1798 2004 9 24 (株)ニュース 鈴木雅貴 「名古屋はどお~でもええんだわ論」

● 平成17年度

- 1799回2004年10月1日 新年度初例会
- 1800 2004 10 8 徳川美術館 学芸員 吉川美穂 「江戸の大名庭園」
- 1801 2004 10 15 中電興業(株) 企画部企画担当次長 谷 伸司 「コンプライアンス落語『鹿政談』」
- 1802 2004 10 22 中京大学 体育学部教授 湯浅景元 「一流スポーツ選手に学ぶ健康法」
- 1803 2004 10 29 弁護士 水野泰二 「裁判員制度について」
- 1804 2004 11 5 平成17年度年次総会
- 1805 2004 11 12 会員懇談会
- 1806 2004 11 19 名古屋大学 医学部放射線科 教授 石垣武男 「がん治療最前線 ～重粒子線治療～」
- 1807 2004 11 26 (株)中田ドラゴンズ 相談役 佐藤 毅 「日本の自立について」
- 1808 2004 12 3 旭硝子中建材(株) 代表取締役 高瀬博道 「防犯ガラスの話」
- 1809 2004 12 10 ボストンコンサルティンググループ 名古屋事務所代表 水越 豊 「新・名古屋」
- 1810 2005 1 7 新年会員懇談会
- 1811 2005 1 14 (財)海陽学園設立準備財団 理事(校長予定者) 伊豆山 健夫 「海陽学園が目指す教育」
- 1812 2005 1 21 写真家 今尾映子 「『海底の神秘』～ケープタウン沖人食いザメと呼ばれるホホシロザメの真実～」
- 1813 2005 1 28 中部国際空港セントレア見学会
- 1814 2005 2 4 三重大学医学部 泌尿器科教授 杉村芳樹 「前立腺の話」
- 1815 2005 2 18 万博会場内キワニスの森見学
- 1816 2005 2 25 キワニス日本地区 ガバナー 小田忠雄 「日本地区ガバナー公式訪問 ～今年度の活動方針について～」
- 1817 2005 3 4 (株)中田ドラゴンズ 代表取締役社長 西川順之助氏 「今年のプロ野球」
- 1818 2005 3 11 会員懇談会
- 1819 2005 3 18 名古屋第二日赤病院 院長 柳 務 「脳の科学から見た熟年の脳の使い方」
- 1820 2005 3 25 AKK名古屋キワニス国際教育助成金贈呈式
- 1821 2005 4 1 夜間例会 麒麟麦酒株式会社 名古屋工場長 桂 総一郎 「ビールの話」
- 1822 2005 4 8 (有)亀末広 代表取締役 吉田敬三 「オカシな話」
- 1823 2005 4 15 テーラー神谷((株)神谷ゲーム) 代表取締役社長 神谷裕之 「英国式フォーマルウエアについて」
- 1824 2005 4 22 大島英雄会員 「写心」
- 1825 2005 5 13 第36回社会公益賞 第31回キワニス文庫授賞式
- 1826 2005 5 20 愛知県史編纂委員 赤羽一郎 「やきもの王国あいちのルーツ」
- 1827 2005 5 27 会員懇談会
- 1828 2005 6 3 臨時総会
- 1829 2005 6 10 (財)海陽学園設立準備財団 事務局長 磯部 克 「私のアメリカ」
- 1830 2005 6 17 (株)安藤七寶店 代表取締役社長 安藤重良 「京都迎賓館の七寶飾り」
- 1831 2005 6 24 弁護士 西垣 誠 「遺言書について」
- 1832 2005 7 1 (社)国立大学協会 専務理事 松尾 稔 「先達との出会いいただいた恩恵」
- 1833 2005 7 8 八事山興正寺 執事長 梅村正昭 「徳川宗春と八事山興正寺」
- 1834 2005 7 15 川澄昭治会員 「今どき流行りのロング・ステイ」
- 1835 2005 7 22 郵政公社 副総裁 高橋俊裕 「公社後の郵便事業の現況」
- 1836 2005 7 29 名古屋市立大学 名誉教授、金城学院大学 薬学部教授 奥山治美 「脳を侵す油」
- 1837 2005 8 5 衆善会夜間保育園 園長 杉山えり子 「生きる力となる躰」
- 1838 2005 8 19 名古屋テレビ塔(株) 代表取締役社長 大澤和宏 「テレビ塔の誕生と名古屋の発展」
- 1839 2005 8 26 ジェイアール東海建設(株) 顧問 増田 裕 「名古屋駅の生い立ち」
- 1840 2005 9 2 第39回チャーターナイト記念特別例会
- 1841 2005 9 16 中部エイチ・エス・エス・ティ開発(株) 代表取締役 藤野政明 「HSSTリニモに賭けた夢」
- 1842 2005 9 30 (株)樹研工業 代表取締役 松浦元男 「変化に対応する中小企業」

● 平成18年度

- 1843回2005年10月 3日 新年度初例会
- 1844 2005 10 14 染色作家 鳥羽美花 「型染めで描いてきたベトナムの11年」
- 1845 2005 10 21 (財)名古屋都市産業振興公社 支援センター長 池田誠一
「名古屋の街の中心地 ～移動した『栄町』～」
- 1846 2005 10 28 秤の館 館長 秤屋健蔵 「秤がくれた人との出会い」
- 1847 2005 11 4 平成18年度年次総会
- 1848 2005 11 11 伊藤宗太郎会員 「最後の晚餐と貸借対照表」
- 1849 2005 11 18 会員懇談会
- 1850 2005 11 25 国際キワニス日本地区 ガバナー 中田一男 日本地区ガバナー公式訪問
「キワニス活動の活性化に向けて」
- 1851 2005 12 2 作曲家 ユミ・ハラ・コークウェル 「イギリス人に伝わらない本当の日本人像」
- 1852 2005 12 9 (財)2005年日本国際博覧会協会 審議役兼運営統括室長 本庄孝志 「愛・地球博を振り返って」
- 1853 2006 1 13 新年会員懇談会
- 1854 2006 1 20 ビデオ上映 「キワニスドールを知っていますか」
- 1855 2006 11 27 画家 城戸和子 「絵のある生活」
- 1856 2006 2 3 子どもの虐待防止ネットワーク・あいち(CAPNA) 理事 同朋大学 教授 白石淑江
「CAPNAのあゆみと活動」
- 1857 2006 2 10 尺八演奏家 岩田恭彦・岩田知恵美 「尺八と琴の演奏と尺八体験」
- 1858 2006 2 17 東海旅客鉄道(株) 顧問 田中宏昌 「台湾新幹線その後」
- 1859 2006 2 24 TBR(株) 代表取締役会長 伴 辰三 「私の歩いてきた道これから歩く道」
- 1860 2006 3 3 名古屋市立大学 芸術工学部 教授 広川美子 「犬山の国宝茶室『如庵』の土壁について」
- 1861 2006 3 10 会員懇談会
- 1862 2006 3 17 西川順之助会員 「今年のプロ野球」
- 1863 2006 3 24 松原武久会員 「尾張名古屋は城で持つ ～本丸御殿の復元～」
- 1864 2006 3 31 弁護士 松隈千栄子 「成年後見について」
- 1865 2006 4 7 夜間例会・中部ディビジョン交流会
- 1866 2006 4 14 在カンボジア王国 名誉領事 高田誠喜 「最近のカンボジア事情」
- 1867 2006 4 21 (社)日本プロサッカーリーグ 専務理事 鬼武健二 「Jリーグ100年構想」
- 1868 2006 5 12 第37回社会公益賞・第32回キワニス文庫授賞式
- 1869 2006 5 19 NHK名古屋放送局 エグゼクティブアナウンサー 柿沼 郭 「放送四方山話」
- 1870 2006 5 26 臨時総会
- 1871 2006 6 2 子どもの虐待防止ネットワーク・あいち(CAPNA) 理事長 弁護士 岩城正光 「虐待と非行」
- 1872 2006 6 9 中部日本放送(株) 調査役 三久保角男 「ことば事情」
- 1873 2006 6 16 名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授 若山 滋 「トヨタシステムと工人たちの武士道」
- 1874 2006 6 23 夜間例会 愛知江南短期大学 教授 河合 勝 「マジックとトリック」
- 1875 2006 6 30 谷口正明会員 「本屋のウラ話」
- 1876 2006 7 7 あいち小児保健医療総合センター 保健センター長・心療科部長 杉山登志郎 「子ども虐待への対応」
- 1877 2006 7 14 会員懇談会
- 1878 2006 7 21 観世流能楽師 吉田篤史 「能へのいざない」
- 1879 2006 7 28 池田芳原会員 「投資あれこれ ～中小企業を育てる～」
- 1880 2006 8 4 (有)亀末広 代表取締役 吉田敬三 「味覚あれこれ」
- 1881 2006 8 18 AKK・名古屋キワニス国際教育研究助成贈呈式
- 1882 2006 8 25 高木 弘会員 「胃がんの話」
- 1883 2006 9 8 なごや環境大学実行委員会 常任幹事 日本福祉大学 情報社会科学部 教授 千頭 聡
「名古屋環境大学がめざすもの」
- 1884 2006 9 15 名古屋大学 名誉教授 堀内 守 「『団塊の世代』を待つハードル」
- 1885 2006 9 22 洋画家 斉藤吾朗 「児童画にみるこどもの心理」

思い出のアルバム

1997



1997年1月10日 新年会員懇談会



1997年9月5日 第31回チャーターナイト記念特別会



1997年10月18～19日 秋の家族旅行会(近江、京都)



1997年10月31日 日本地区年次総会



1997年12月19日 クリスマス家族会

1998



1998年6月6日 春の家族旅行会(飛弾高山)



1998年8月4日 納涼と懇親の会(風流 屋形船)



1998年10月31日～11月1日 秋の家族旅行会(四国徳島)



1998年12月18日 クリスマス家族会

1999



1999年1月8日 新年会員懇談会



1999年2月24日 雪見と懇親の会(神谷)



1999年4月16日 持出例会(産業技術記念館)



1999年8月3日 納涼と懇親の会(中華料理 鳳城)



1999年11月13~14日 秋の家族旅行会(瀬戸内しまなみ)



1999年12月7日 クリスマス家族会

2000



2000年3月10日 徳永日本地区会長例会訪問



2000年6月3日 春の家族旅行会(奈良)



2000年9月1日 第34回チャーターナイト記念特別例会



2000年9月18日 第3回なごや子育てフォーラム(名古屋市女性会館)
出演:ジャングル・ジャム「親子で楽しむうたとあそび」



2000年10月27日 第24回キワニスインターナショナル日本地区
年次総会のひとこま



2000年10月28～29日 秋の家族旅行会(箱根、鎌倉)

2001



2001年4月27日 第32回社会公益賞・第27回キワニス文庫贈呈式



2001年9月7日 第25回キワニスインターナショナル
日本地区東京大会懇親会



2001年9月14日 第35回チャーターナイト記念特別例会



2001年12月12日 持出例会「山梨リニア実験線視察」(山梨リニア実験センター)



2001年12月14日 クリスマス家族会

2002



2002年2月18日 雪見と懇親の会(ベニーニ・エスト)



2002年4月26日 社会公益賞贈呈先(中部盲導犬協会訓練センター)



2002年9月20日 第36回チャーターナイト記念特別会



2002年11月6日 新旧役員を囲む懇親の会(舞鶴館)



2002年12月13日 クリスマス家族会

2003



2003年4月4日 持出例会(ノリタケの森)



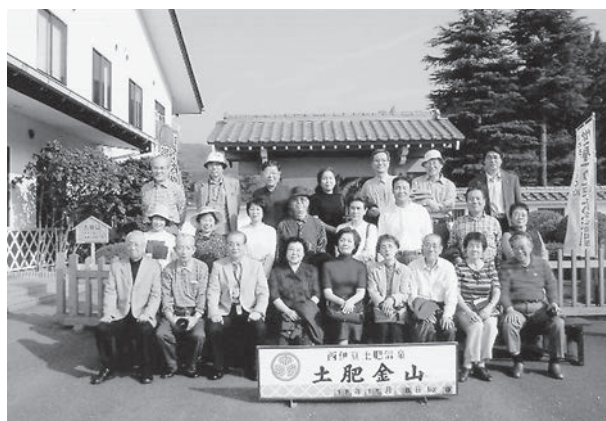
2003年8月22日 持出例会(刈谷少年発明クラブ)



2003年9月12日 第27回キワニスインターナショナル日本地区年次総会(ASPAC名古屋大会のPR)

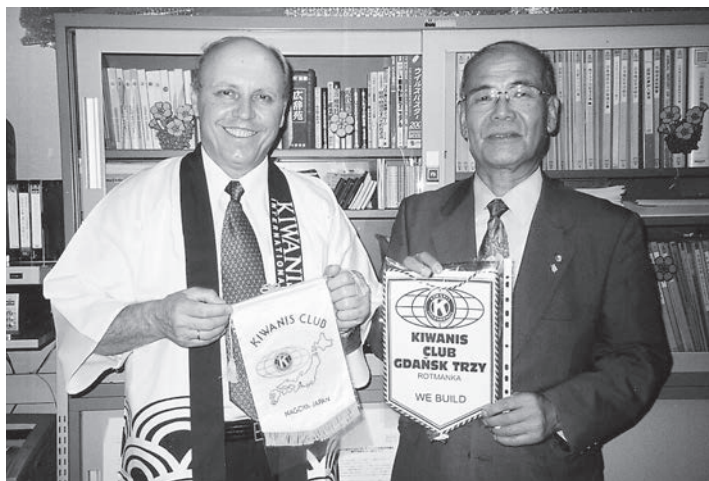


2003年10月9日 持出例会「山梨リニアモーターカー試乗」
(山梨リニア実験センター)



2003年11月8～9日 秋の家族旅行会(西伊豆、下田)

2004



2004年 ポーランドのグダニスクキワニスクラブ会員が名古屋キワニスクラブを訪問



2004年8月4日 納涼と懇親の会
(ホテルアソシア名古屋ターミナル「ブリエール」)



2004年9月3日 第38回チャーターナイト記念特別例会



2004年11月6～7日 秋の家族旅行会(熊野古道)



2004年11月6～7日 秋の家族旅行会(熊野古道)

2005



2005年5月13日 第36回社会公益賞・第31回キワニス文庫贈呈式



2005年5月14日 春の家族旅行会(京都)



2005年9月2日 第39回チャーターナイト記念特別例会



2005年11月12~13日 秋の家族旅行会(萩、津和野、秋芳洞)



2006



2006年2月14日 雪見と懇親の会(マリオットアソシアホテル ジュピターの間)
講師:シニアソムリエ 島 幸子氏



2006年4月7日 中部ディビジョン交流会



2006年6月3日 春の家族旅行会(近江八幡)



2006年7月25日 納涼と懇親の会(ザ・タワーレストラン)



2006年11月11～12日 秋の家族旅行会(永平寺)

国際
大会への
参加



1996年 キワニスインターナショナル年次総会
ソルトレーク大会
第81回国際年次総会で国際キワニスよりバース
デーキャンペーンの実績世界一で表彰を受けた
井上日本地区会長(名古屋クラブ)



1996年 第21回ASPACマニラ大会



1996年 第21回ASPACマニラ大会



2002年 ASPACタヒチ大会にて(ASPAC名古屋大会の広報活動のため)



1997年 第22回ASPACニューカレドニア大会



2006年3月12日 ASPAC高雄大会

キワニスの仲間たち

(社)東京キワニスクラブ

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-3-2 米山ビル7階
電話 03(5256)4567 Fax 03(5256)0080

東京キワニスクラブは、一昨年2004年に創立40周年を祝いました。アジアで初めて東京にキワニスクラブが誕生したのは、東京オリンピックが華々しく開催された1964年のことでした。この42年の間、クラブを取り巻く環境は大きく変動し、当クラブの会員の成長もこの変動に大きく影響されて来ましたが、その度に活動内容や運営のあり方について検討を加えて改革をして来ましたが、特に40周年を迎える機会に、原点に立ち返ってクラブの運営について大改革を行い、それに伴い新規会員の入会も大幅に増加し、会員層の若返りを図ることが出来ました。

メインの活動であるお昼の例会は、現在、以前の毎週開催から隔週金曜日の開催となっておりますが、一方、夜の国際懇話会は回数も増え内容も充実し、また防衛庁、気象庁、イージス艦、日光大猷院奥の院等の種々の見学会、春秋のゴルフ会、ファミリーデー、新春歌舞伎、文楽鑑賞、第九コンサート等、盛り沢山の活動が行われ、活動そのものは、以前より活発になっています。また、毎週火曜日の昼食時に集まる火曜会は毎回30名近くの出席者があり、連日活発な会話が弾んでおります。

社会奉仕活動として最も力を入れている活動は、キワニスドールの活動です。会員が汗をかいてキワニスドールを作り、病院等に寄贈して、病気の子供達の癒しになるようにすることに本格的に取り組んでいます。会員のパートナーによるドールを作る「さくら会」も活発に活動し、また明治学院大学、淑徳短期大学、田園調布学園等に出かけて学生の皆さんと一緒に「キワニスドールをつくる会」を開催したり、その活動は大きく広がっています。東京クラブよりこれまでに寄贈した病院数は、聖路加国際病院、慶応病院、順天堂大学病院、東大病院、自衛隊中央病院、北里病院、日赤関係の病院及び看護学校等、全国150以上の病院に約4000個のドールを寄贈しました。この状況が新聞、雑誌等にも大きく取り上げられ、特に昨年読売新聞に掲載された時は、600人を越す方々から、ドール作りをしたいとの申し込みが来るなど、大きな反響を呼びました。このようなキワニスドールの活動をまとめた1時間のテレビ番組を制作し、昨年8月衛星テレビ放送局で全国に放映しました。また、この番組を基に20分のPR版をVTRとDVDにまとめ、英語版も制作しました。また、今年の4月には金沢市での小児科学会にキワニスドールのブースを設けて出展し、学会参加の方々から300個を越えるドールの注文を受ける反響を呼びました。

子供に対する支援活動としては、更に活動を延長して、今年はYoung Children Priority One (YCPO)の方針に則り児童虐待防止活動に取り組み始めました。現在、会員同士で勉強会を続けると共に具体的な支援活動にも取り組み始めております。この分野では、既に先行した経験を持っておられるクラブもおられますので、お互いに連携をとりながら進めております。

これまでのIDD（ヨード欠乏症撲滅活動）（2005年終了）、慰霊の泉の清掃活動に加えて、当クラブの社会奉仕活動も段々と幅広い地に着いた活動となり、「楽しみながら社会奉仕」というキワニスクラブの特色を活かした活動を行なっています。これからも各クラブの皆様と連携を深めて国際キワニスの中での日本地区の存在感を高めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。



キワニスドールの会

大阪キワニスクラブ

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル内
電話 06(6448)3870 Fax 06(6443)7975

名古屋キワニスクラブ設立40周年おめでとうございます。

大阪キワニスクラブは、1年後に先輩名古屋クラブのホストでスタートしましたので、来年設立40周年を迎えます。記念式典は、大阪で一番盛り上がる天神祭の7月25日を予定しています。

今年の天神祭は、丁度例会日で大阪クラブの最大行事である「社会公益賞」の贈呈式の日でした。この賞は、当クラブ設立と同時にスタートし今回で39回目になりますが、今年も福祉の現場で永年地道なご苦勞を重ねて来られたお二人に贈りました。

この贈呈式は毎年NHK・TVがニュースとして取り上げてくれています。

もうひとつ大阪クラブが取り組んでいるのが、他クラブと同じキワニスドールです。

例会の待合室でいつも数人のメンバーがミシンを掛けたり綿を詰めたり慣れない手付きでドール制作に夢中です。

以前このドールを寄贈した病院の看護師さんが医療現場での活用方法を説明に来られた時、この作業を見て「偉い方々が一生懸命にドール作りに取り組んでおられる姿を見て感動しました。このドールは大切に使わせて頂きます。」と言ってくれました。

これまでは「お金」で対処する奉仕活動が多かったが、ドールは自分たちの手で直接奉仕できる格好のテーマなので、外注したり外部の人の手を借りたりせず、メンバーと家族だけで汗を流して作った物を病院で子供達のために活かしてもらおうと頑張っています。



キワニスドール製作

広島キワニスクラブ

〒730-0011 広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島内
電話 082(227)5315 Fax 082(223)0756

広島キワニスクラブは、東京、名古屋、大阪に次ぎ、4番目のクラブとして1970年にスタートした、比較的歴史の古いクラブです。ご他間にもれず、会員数の減少と高齢化の波に見舞われていますが、会員たちは、クラブの理想である「社会奉仕」を目標に、物質より精神性を重んじた地道な活動を続けています。

毎月2回の例会でコミュニケーションを図るほか、次のような活動をしています。

「社会公益賞」 広島県全域で、永年、社会公益の奉仕に献身的な苦勞を重ねながら、世間に認められ、報われることの少ない隠れた人々を対象に、その功績を称え、尊い存在を広く世間に紹介することを目的としています。第1回で、広島市を貫流する太田川の樋門の番をしてきた人を表彰して以来、34回目。

「キワニス留学生日本語作文募集」 外国人留学生を対象に作文を募集、優秀作品に奨学金を贈っています。国際関係から日常体験までどんなテーマでもよく、日本人の文化や生活、広島の特徴など鋭い指摘もあり、キワニス会員の国際交流にも大変役立っています。

「キワニスドールの製作・贈呈」 2001年に日本地区に導入された運動の趣旨に沿い2003年度から取り組み、これまでに広島大学付属病院、県立広島病院、赤十字広島病院、市民病院などに約500体を寄贈、大変喜ばれています。今後も会員、家族、ボランティアを含め、楽しみながら運動を続ける考えです。

「キワニス平和1000本桜」 1974年2月、設立3周年を記念して、広島駅前大橋のかかる猿こう川の両川岸2kmにわたって1000本の桜を植樹しました。毎年見事な花を咲かせて、市民の憩いの場となっています。



ASPACに参加

神戸キワニスクラブ

〒651-0083 神戸市中央区浜辺通5-1-14 神戸商工貿易センタービル
電話 078(251)6530 Fax 078(271)7203

神戸キワニスクラブは現在会員数が75名で内8名が女性会員です。例会は第2及び第4水曜日の午後6時から行っております。

昨年設立35周年を迎え、その記念事業として12月に外国語の絵本だけを集めた「神戸キワニス子供文庫」を神戸市立中央図書館に寄贈いたしました。現在蔵書数は約340冊ですが、貸出冊数は既に410冊を超えており予想以上に利用されております。

この文庫の補充・更新は神戸キワニスクラブが担当いたします。各地のキワニスクラブの会員やそのご家族が海外に出かけられる際には1冊でも結構ですから現地の絵本をご入手頂きご寄贈頂ければ幸いです。

また、昨年はあの悪夢の阪神淡路大震災から10年の節目の年でありました。大震災の記憶の風化が言われる中、昨年11月26日に震災の年に生まれた子供とその親100組、300人を公募し、「震災10年大きくなったねの集い」を開催いたしました。

我々にとりまして初の大掛かりな外部の方々を対象にした行事でありましたが、終了後のアンケートでは、ご参加の皆様には大変喜ばれ、その趣旨を理解して頂きました。キワニスの広報に大きく貢献したと自負いたしております。

本年2月には仙台、西宮、神戸の総勢23名でベトナムのスイートウォーター村を訪問いたしました。日本での1万ドルが現地で立派な「慈悲子供病院」に生まれ変わっており、子供から老人までの診療に大変役立っている現状を確認し、感動を憶え帰国いたしました。

神戸キワニスクラブでは新入会員に対するオリエンテーションを重視しております。また、会員同士の親睦を深めるため、コーラスをはじめとする同好会活動も活発に行っております。毎年10月には会員と家族が協力して神戸市の「しあわせの村 大バザー」に参加し、バザーでの売却代金が100万円貯まるのを待って社会福祉活動に寄贈しております。



ベトナム子供病院視察

仙台キワニスクラブ

〒980-0014 仙台市青葉区本町2-20-2 斎藤報恩会館4階
電話 022(261)6629 Fax 022(261)2744

私達仙台クラブは、昨年、日本地区年次総会のホストクラブを務めさせていただき、多くの皆様にご参加いただき、大変盛り上がった大会となりましたこと、改めて御礼申し上げます。

当クラブは、今年6月に35周年を迎え、記念講演会を開催いたしました。その演題は、「過剰なメディアの刺激から子どもの脳を守る」というもので、講師は国立病院機構仙台医療センターの田澤雄作小児科医長にお願いしました。講師は、長年の臨床経験において、子ども達がテレビなどの見すぎやゲームのし過ぎにより、特に体に異常が無いのに頭痛や腹痛を訴える不定愁訴の治療方法を確立されております。これは脳の前頭葉の慢性疲労に起因するもので、適切な治療を施されなければ、人格障害や不登校、反社会的行動へとエスカレートしていきと言われております。脳の発達段階にある、幼年期における無分別なメディアの刺激は危険だと警鐘を鳴らしております。講演の後の120名ほどの聴衆との質疑応答も大変活発で、有意義な講演会となり、またキワニスの知名度向上にも役立ったのではないかと考えております。

この講演会は、青少年委員会のリーダーシップのもと、企画、広報のチラシ作成とその配布、会場設営と案内など皆で分担して実施いたしました。特に、当日は子育て中のお母さん方も参加できるように、託児ボランティアのお手伝いを頂き、また子育て支援のNPOの皆さんなどと交流を深めることが出来たことは、今後の、我々のYCPO活動への広がりにも寄与するものと考えております。

このことは、全国のキワニスの仲間にもお知らせしたく、各クラブへ、講師の著書「テレビ画面の幻想と弊害」と当日の講演資料を、別途送らせて頂きました。少しでも、当日の雰囲気が多くの方々に伝わりますことを願っております。



記念講演会

札幌キワニスクラブ

〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目-10-1 大通西6ビル3階
電話 011(221)7355 Fax 011(242)8785

名古屋キワニスクラブ40周年、まことにおめでとうございます。

北の都は札幌キワニスクラブでございます。

2006年7月現在、会員数72名、内女性会員7名が花を添えています。例会は隔週水曜日12時半より1時間、京王プラザホテル札幌を会場に行っております。お誕生日のお祝いと政治経済からスポーツ芸能まで幅広い分野のかたがたをお招きしての講話が定番です。又例会のない第3火曜日は札幌グランドホテルで12時から13時「昼食会」を行い例会に出られなかった方がメーキャップをできるようになっています。

今年はなんと言いましても日本キワニス年次総会開催という大イベントを無事終え安堵しております。全国から多数のご参加氏を頂き会員一同心から感謝しております。

札幌クラブがもっとも良く活動しているのは「キワニスドル」です。

既に800体を作成し20の病院に収めました。有志会員が例会前に「綿入れを」行います。会員の奥様や従業員の方たちも協力を頂いております。

また年に一度市民を中心とした公園の「ごみ拾い」にも積極的に参加しています。

「和気あいあいとした会員相互の交流と弱者へのいたわり」こそクラブのモットーです。

基幹産業の中心中京と自然の宝庫北海道、ぜひ協力しあって素晴らしい活動をつづけてまいりましょう。



ゴルフ大会

横浜キワニスクラブ

〒231-0015 横浜市中区尾上町6-87-3 産経新聞横浜総局内
電話 045(661)0918 Fax 045(661)0919

創立40周年を迎えられた名古屋キワニスクラブにお祝いを申し上げます。名古屋より8年後れで創立された横浜クラブは現在、会員増員を目指しており、会員約140人の名古屋クラブは目標であり、日頃の活動を模範とさせていただきます。

横浜クラブの活動は月2回の例会のほか、家族納涼会など季節ごとの恒例行事、委員会ごとの会合などが中心で、出席率はいずれも好調です。こうした行事の中で私たちが最も力を注いでいるのが毎年開催している「マタニティコンサート」です。これはキワニスの重点施策である幼児最優先より、更に一歩先んじた胎児教育に目を向けたもので、音楽を通じて、おなかの赤ちゃんに胎教を授ける一方、妊婦の『子供を生む喜び』をテーマとして掲げ、今回で11回目になります。

今年は6月4日、横浜MM21地区のみなとみらい小ホールで開催され、抽選で選ばれた約400人をお迎えしました。第1部では胎内記憶の研究などで知られる産婦人科医師・池川明氏の講演。第2部のフルート奏者・吉川久子さんのコンサートでは、お腹の赤ちゃんに語りかけるようなやさしいフルートの音色で観客を魅了してくれました。今年は特別ゲストとして、第1回目にお腹の中でコンサートを聴いていただいた親子を迎えました。成長したお子さまの姿を拝見して11年間の活動の重みが実感でき、これからも続けていく励みになりました。

さて、横浜クラブは来年の日本地区年次総会のホストクラブの重任を控えており、早くも準備にとりかかっております。名古屋から多数の方々がいらっしゃるのを期待しております。



マタニティコンサート

高松キワニスクラブ

〒760-0028 高松市鍛冶屋町7-10 産経新聞高松支局内
電話 087(851)5533 Fax 087(823)6105

この10年、当クラブも会員の減少に頭を悩ませて、6年前、奉仕活動を活発にすれば会が活性化し会員が増えるのではと、教育委員会や校長先生に意見を求め「少年ボランティア発表会」ができました。初年度から「お金を出すだけでなく、実際に見せていただこう」と学校訪問を続け、子供たちと一緒に清掃したり挨拶運動に加わったりと、新たな感動がありました。発表会も今年で5回目を数え、学校行事に組み込むところも出てきました。地道な活動により会員にも会への帰属意識と誇りが生まれ、日本地区でも「素晴らしい活動」と表彰いただき、充実感を持てるようになりました。

昨年の30周年記念事業では、感謝の気持ちをいかに地域社会へお返しするかと、香川短大の北川会員や香川県・高松市のご協力で「生活習慣病から子どもを守ろう」というシンポジウムを開催しました。またバザーを開催し、「食生活改善」の活動団体に寄付しました。会員が一丸となり、会社ではすることのない商品集め、値札貼り、会場の椅子並べ、資料の袋詰めなどをしました。2年後の日本地区年次総会高松大会に向けて、また一緒に何かができると思うと楽しみです。

高松も再開発が進み、駅周辺は様変わりしました。サンポートができた記念に私たちが寄付したイサムノグチの右腕和泉正敏さん作の庵治石のベンチが、噴水近くにあります。高松にお越しの節には一度座ってみてください。

香川は美術館が相次ぎオープンして美術館巡りがブームになり、地中美術館、イサムノグチ庭園美術館、東山魁夷美術館、猪熊弦一郎美術館など、素晴らしい美術品を鑑賞できます。10年前とは違う新しい香川、そして高松キワニスクラブをご紹介できることを今から楽しみにしております。

今回の名古屋キワニスクラブ50周年記念誌で、もっと素晴らしいクラブになったと寄稿できるよう、これからも地域社会の為に微力ながらお手伝いさせていただきます。



少年ボランティア発表会

福岡キワニスクラブ

〒810-0001 福岡市中央区天神2-5-1 しんれんビル6F 産経新聞九州総局内
電話 092(741)7090 Fax 092(741)7095

福岡クラブは去る7月8日、設立30周年記念式典と祝賀会を無事、終えることができました。ちょうど、博多祇園山笠のお祭りが行われているところで、記念式典でも、博多男衆から祇園山笠の歴史を披露していただきました。

「博多もんは祭りずき」と言われるほど、夏のこの時期、福岡のどこかで必ず、お祭りが行われています。神社仏閣が多いことが影響しているのですが、元々、博多に住んでいる人たちには「祭りずき」の血が流れているとしか思えません。

ビジネスマンへの「転勤してみたい都市」アンケート。「博多・福岡」が転勤希望ナンバー1でした。理由としては、「人情が厚い」「気候がよい」「物価が安く生活しやすい」をあげています。実際、福岡クラブ会員にも現在、「福岡支社長」「福岡支店長」「九州支社長」などの転勤族会員が何人かおられます。なかには、福岡勤務時代にすっかり博多が入り、退職後にご夫婦で博多に移り住んだ人もおられます。私、福岡事務局長も目下、博っチョン（博多単身赴任）を楽しんでおります。気ままな単身赴任、九州一の繁華街・中洲に出かけることもあります。そんな翌朝の出勤は辛いものがあります。

福岡クラブは、月2回（第1、第3水曜日）の例会で講師をお呼びして、各界の知られざるお話に感心することばかりです。先日は、福岡市の山崎広太郎市長を講師にお迎えし、新聞では見られない市政の裏側を垣間見ることができました。山崎市長には、30周年記念式典にもお越しいたご、祝辞を頂戴しました。



30周年記念祝賀会

京都キワニスクラブ

〒600-8412 京都市下京区烏丸通り仏光寺上ル 烏丸四条KSビル3F
電話 075(341)8018 Fax 075(341)8018

名古屋キワニスクラブの設立40周年、おめでとうございます。

名古屋はいま、経済を中心に、「日本でもっとも元気な街」といいでしょう。

日本の歴史を顧みれば、名古屋で育った人物が、京にのぼり、権力を握った例が少なくありません。織田信長しかり、豊臣秀吉しかりです。皮肉なことに、京都の街は日本の政治・文化の中心でありながら、こうした「覇気の人」を産むことはできなかったのです。京の民衆たちは、かの英雄たちを最初は冷やかな目で迎え、「お手並み拝見」と観察し、やがては心酔者となりました。京の民衆と英雄たちとの“結婚”は思いの外、成功だったのです。

現代の京都と名古屋は、それほど深いつながりがあるとはいえません。しかし改めて歴史に学び、個性の異なるこの二つの街が協力しあうことによって、「1+1=2」以上の力が出しあえると信じます。関ヶ原を越えて二つのクラブの会員が交流しあい、互いに足らざるを補いあうことによって、キワニスクラブの活動の新たな可能性を開くことができ、社会奉仕を通じての地域貢献という夢も果たせるのではないのでしょうか。

京都クラブは現在、会員は42人（休会含む）。隔週に開催する例会と、祇園祭など四季おりおりに開く特別例会とが活動の中心です。奉仕活動はキワニスドールの製作、寄贈が主ですが、新たな「京都独自の活動」も模索しています。

現在、何より私たちを悩ませているのが、会員の減少です。設立時から大きく落ち込んでおり、単なる親睦団体に化してしまう恐れすらあるため、会員増強をめざし、改革に着手しています。

その一つが、隔週月曜午後12時半開始だった例会を木曜日に移し、1回は夜（午後6時半～）の会合としたことです。昼間のあわただしい例会に比べ、夜の例会では終了後に会場のホテルのバーに集まり、講演のゲストを囲んで話の輪が広がっています。ここから新しい人間関係が広まり、若い会員が増えることを期待しています。

千葉キワニスクラブ

〒260-0013 千葉市中央区中央4-17-3 袖ヶ浦ビル 産経新聞千葉総局内
電話 043(225)0987 Fax 043(221)0300

名古屋キワニスクラブ設立40周年おめでとうございます。

当千葉キワニスクラブは、創立23年を迎えました。

設立当時のメンバーは36人、現在は59人で僅かな増員に過ぎません。

これは設立当時、キワニス精神の尊重は勿論ですが、当クラブ独自に長く継続するクラブを目指し、決して無理をしないクラブをモットーとしてきたからかと思っています。

その為、例会も月2回としていますが、各回の例会時間は15分程延ばしています。

又、出席率も50%程度です。がこれも強制はしない表れです。但しメンバー増強は常に意識しながらやっています。

各クラブと同様に例会以外のイベントは何かと設けて積極的に行っています。

特に昨年は、日韓交流40周年という事もあってソウルへ参り、ソウルキワニスクラブが設立以来行っています交通遺児施設へのボランティア活動に、ささやかながらの協力をして参りました。地元に於きますキワニスクラブの知名度の高さを感じました。

そして本年は、当クラブの国際委員会、事業企画委員会の企画により、台北新竹キワニスクラブを訪問致しました。

毎回のASPACに見られる台湾各クラブのバイタリティに接して参りました。熱烈歓迎に恐縮致しました。和やかな交流会は時間を忘れさせました。

台北では八千年の中国の歴史を故宫博物館で見学、その足で今度は世界で最も新しい高さ500mの101ビル展望台へ登って参りました。

ソウルでの焼肉、台北での小籠包の味は各クラブの歓迎と共に忘れられません。



台湾との交流会

和歌山キワニスクラブ

〒640-8269 和歌山市小松原通1-1-35 サンビル3F
電話 073(424)2111 Fax 073(425)1210

名古屋キワニスクラブにおかれましては、本年設立40周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。和歌山キワニスクラブは、設立から13年を迎えたところですが、40年間クラブを維持、継続して来られたことは、只々敬服の至りでございます。

和歌山キワニスクラブの今年度の活動としましては、一般に知られることの少ない方々で、地域社会に永年に亘り貢献された個人や団体を表彰する「キワニス賞」を設立からの事業とし、また青少年が地域・社会への理解を深めることを目的とする「青少年のメッセージ“きらり”」を贈呈しております。親睦事業としては、年4回ゴルフコンペを実施、名刹・紀三井寺に於ける夜桜例会や、夏の阪神タイガース応援ビアガーデン（夜間例会）を行っております。昨年8月には、虐待されている子どもの存在を広く社会に知らせ、一般市民からその実態の通報を頂くことにより早期発見・予防に繋げることで、子どもの命を守って行くと言う主旨のもと「子ども虐待防止プロジェクト」を立ち上げました。メンバー総出による街頭でのチラシ配布や講演会への参加呼びかけなど、広報活動を主体とした運動を展開しています。そして更に運動を内外に広めて行くために、メンバーにも例会での卓話や講演を通して理解を深めて貰う努力している最中です。今後も地道に長く活動していくことが、子ども虐待防止の一助となることを確信しております。



街頭活動

新潟キワニスクラブ

〒950-0087 新潟市東大通1-2-23 北陸ビル1F ストックプラス330
電話 025(246)1371 Fax 025(246)1331

名古屋キワニスクラブ創立40周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私共新潟キワニスクラブは現在会員34名、チャーター時からメンバーの出入り、変化はあったものの、人数は折からの経済動向もあり、あまり変わっておりません。今、増員を目指して奮起、知恵をめぐらせております。また、年間20回を計画している例会も180回を数え、ようやく9年を経過したところです。

4年前から取り組んでおりますキワニスドール普及活動は、取り組み初年度こそ、全員でドールを制作し、完成後、安全性を確認するために事務局長の指先をセンサーにして入念な検査を行い、事業運営委員長が先頭に立って寄贈先を探して、地元赤十字病院はじめ県内4病院に寄贈しました。しかし、以降今年度まで、病院看護師のチャイルドプランとのバッティングや病院の建て替え等々と遭遇し、一時頓挫の形となりました。が、先般県内の小児科のある病院をリストアップしてみましたら、既寄贈先を含めて19の病院を数えました。これら病院に改めてキワニスドールの紹介・キワニスクラブの紹介をしながら、寄贈受け入れの有無を回答していただくことに致しました。再びドール制作に汗する日が近づいております。

これまで、定例例会中心の活動にアクセントを付けるため、大規模公共施設見学会や現地生産者のユニークな農法を聞きながらのグルメ例会等、野外例会も種々やってみました。また、仙台クラブとの交流ゴルフコンペは仙台クラブのご迷惑も顧みず継続させていただいております。これからも会員同志の絆、クラブ同志の絆を深め、キワニスクラブの本分たる奉仕活動に、より結束した力を発揮できる新潟クラブとして存在すべく努力して参りますので、名古屋クラブはじめ先輩各クラブの皆様方のご指導を賜りますようお願い申し上げます。新潟キワニスクラブの近況報告とさせていただきます。



例会講演風景

泉州キワニスクラブ

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西1-3-19 南海日本橋ビル5F
電話 06(6634)2777 Fax 063(6634)2778

名古屋キワニスクラブ、ご設立40周年を迎えられ心よりお慶び申し上げます。

さて、国内16番目の泉州キワニスクラブは、大阪キワニスクラブ各位の三年がかりのご尽力により、堺市をはじめとする大阪府南部の泉州地域を中心に1999年7月9日に発足いたしました。

スタート時のチャーターメンバー31名の内16人が現在も活躍中、徐々に女性や若年層を勧誘し、また家族会員制度を設けるなど会員増強の努力の結果、現在では49名になっています。

泉州キワニスクラブは、個性豊かなメンバーが揃い活気のある楽しい例会と年二回の家族会や日帰りバス旅行、各種同好会活動を通じて家族ぐるみで親睦を深めています。そして、その連帯感をエネルギーに「本当に喜ばれる奉仕活動」を目指しているのです。例えば、子供向けの朗読イベント「毎日放送～おはなし夢ひろば～」への協賛や発足以来5年間続けた社会公益賞に替えて、地元小学生に防犯ブザーを、また虐待被害幼児に対して玩具を寄贈するなど、子供最優先をモットーに独自の奉仕活動を実行しています。

それらの資金となるのが社会公益基金「こころの箱」です。寄金に添えられた会員の喜びや日常の反省がこめられたメッセージを例会場で読み上げることにより、奉仕の心が身近なものに感じられその輪が広がります。

先輩クラブの歴史を追い越すことはできませんが、我クラブも将来10周年、20周年…と無事通過できますようご指導のほどよろしく願い申し上げます。



ハワイアン家族会

埼玉キワニスクラブ

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町2-292 毎日興業(株)桜木町事務所内
電話 048(647)7368 Fax 048(642)5216

名古屋キワニスクラブ40周年おめでとうございます。

また、私たち埼玉クラブの紹介のコーナーをいただき有難うございます。

私たち埼玉クラブは、2000年9月に17番目のクラブとして誕生しました。まだ6年です。2006年7月現在、会員数は43名です。毎月、第2・第4水曜日の12時より13時30分まで、さいたま市の大宮清水園で例会を行っています。50分ほどの卓話をお願いする講師例会で、本年は演題を見ただけでも「坂東太郎へ虹かける」「中国少数民族 東トルキスタン」「明日の日本 明日の埼玉」「遺言信託について」「激動する国際状況と日本経済の行方」「わが国の生存と繁栄」「心臓病の現状」「うなぎの不思議」など、地域から日本、世界、医療から金融、防衛、など多岐に渡っています。

今年は特に、児童相談所の所長を招き、「児童虐待をどうしたら防げるか」というテーマで卓話をお願いしました。全国で埼玉県だけ、虐待の通告が入ってから48時間以内に子どもの安全を確認する時間設定がされており、これにより平成16年度以降、子どもの死亡事故はなくなったそうです。

年3回は夜間例会を行っています。夜間例会には、上田埼玉県知事、相川さいたま市長、そして会員の家族や友人も出席し、演奏や歌を聴きながら和やかな夜のひと時を過ごします。

キワニスクールも、県からの紹介もあり、本年は12病院、看護専門学校2校に寄付しております。



夜間例会

西宮キワニスクラブ

例会場：〒662-0064 西宮市雲井町2-24 小池宅
電話 0798(72)1365 Fax 0798(74)6839

この度は名古屋キワニスクラブ40周年おめでとうございます。

西宮キワニスクラブは、ただ今第5期の終了を前に先ほど100回記念例会を祝うことができました。世界会長に就任した従妹の主人MR. CUNATのため親族代表で台湾に参りました時、当時、日本地区ガバナーでいらした佐藤満秋氏より阪神間にクラブ新設を要請され、氏のご指導のもと急遽誕生いたしましたのが5年前のことでした。会場は自宅、メンバーはカップル中心の私の友人、知人達という異色のクラブで、会費は日本一少ない、でもキワニスのモットーである“世界の子供たちに奉仕しよう”の実現には最大の努力を払おうと30名の会員でスタートした小さなクラブでしたが、ただ今45名の会員となり月2回の例会出席率は70%強と毎回尽きない素晴らしい講演者に恵まれ、チャリティーコンサートやバザーなどプログラムも変化に富みキワニスライフをともに楽しんでいます。特に女性会員が多いためキワニスドールの取り組みは大変熱心で、今日までに大きな成果をあげることができました。

初代会長三好氏は阪神タイガースの元球団社長、2代目会長土井氏は住友クレジットサービス元専務取締役と、社会の第一線で活躍された方々がクラブをまとめあげていただいたことが今日のクラブの発展を実現できたと思います。

今後の問題は、もしこのまま会員の増強が実現しますと例会場が狭くなり西宮キワニスクラブの特性の一つである家庭的な雰囲気が持続できなくなるのではということですが、あまり先のことは心配せず、一回ごとの例会の充実をはかり一步一步進んでいきたいと思っています。最後になりましたが伝統ある神戸クラブが我がクラブの指導クラブとしてお心にかけていただき、親しい交わりを持たせていただいておりますことに心からの感謝を申しあげたいと存じます。

(西宮クラブ会長 小池和子)



小池邸での例会

渋谷キワニスクラブ

〒180-0002 武蔵野市吉祥寺東町1-21-20 東日商事株式会社 代表取締役 難波克己
電話 0422(21)7585 Fax 0422(21)7585

名古屋キワニスクラブ創立40周年に当り衷心より祝意を申し上げます。

ここに至るまでには大変なご苦勞を経て歴史を刻まれた事は、創立会員の意志を引き継がれ、実践された貴クラブ会員の弛まざるご尽力の賜物と畏敬の念を禁じえません。

日本のキワニスクラブのリーダーとして次なる50周年に向けて更なる飛躍発展されます事をお祈り申し上げます。

渋谷キワニスクラブは2002年3月28日、東京キワニスクラブをスポンサークラブとして創立されました。創立当初の会員数は29名で発足しましたが、現在は19名で活動しております。奉仕活動としてはキワニスドールの製作寄贈は現在までに600個となっております。また、国立成育医療センターからの要請により、幼児向け絵本の定期寄贈、自動車型カートの寄贈等があります。

また、童謡「春の小川」の原点となった、渋谷川に清流を取り戻す運動にも参加して国土交通省、東京都、渋谷区と連携を取りながら、「NPO法人・渋谷川ルネッサンス」と共同歩調で活動しております。その他地域社会と共同しての活動提案に対して実現可能なものから手掛けてゆきたいと思っております。

クラブ運営については次の4項目を拳拳服膺して活動しております。

曰く！

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなの為になるかどうか



カート寄贈

福山キワニスクラブ

〒721-0942 福山市引野町3-32-11 共和工業(株)ビル1F
電話 084(941)0762 Fax 084(941)0762

名古屋キワニスクラブが創立40周年を迎えられたこと誠におめでとうございます。

私ども福山キワニスクラブは、平成14年に国内20番目のクラブとして設立され歴史は浅いのですが、それだけに会員が一丸となって試行錯誤しながらクラブの発展のために努めている所です。

例会は、通常第2火曜日で奉仕例会を行い、第4火曜日は夕方に友愛例会で会員相互の親睦を図っています。

そして、今春からは新しく野外に出て、福山の観光名所など清掃美化活動をしました。第1回目は、6月の第4日曜日に鞆の浦の仙酔島という所の海水浴場のゴミ拾いを行いました。この日のために作った、キワニスのロゴを背中と胸に大きくデザインしたキルティングのジャンパーを全員が着て清掃活動をしました。その成果は、リヤカー1台半分(約100kg)が集まり、その様子は、翌日の新聞でも紹介されました。海開き直前という時期で、海岸前のホテルの方からも大変喜んでいただけましたので、これからも年に2、3度は奉仕出来ればと考えています。

勿論、基本活動であるキワニスドールの贈呈を行っており、今年も新規、継続を含めて病院や恵まれない子どもたちの施設を訪問し、現在までに480体贈呈しております。

このような奉仕活動を通じて、地域に広く認知していただけるクラブでありたいと願っております。現在、少人数ゆえのまとまりもありますが、より大きな奉仕活動を行うには、やはり会員増強が必要だと感じております。10周年に向け60人体制を目指し会員一同努力したいと思っております。



野外清掃活動

熊本キワニスクラブ

〒860-8552 熊本市紺屋町1-2-2 くまもと経済内
電話 096(351)3333 Fax 096(326)4444

名古屋キワニスクラブ創立40周年誠におめでとうございます。

熊本は21番目の2002年8月設立、現在ようやく5年目に入ろうかというところです。2004年3月アスパック名古屋大会には、当クラブは設立間もなく何かと未知のままでしたが10名が参加させて頂きました。期間中は有意義でとても楽しい国際交流の時間を過ごす事が出来、参加会員には大変良い思い出となっています。名古屋の会員様のおもてなしの気持ちと国内外のキワニアン同志が集う素晴らしさを体感させて頂きました。ありがとうございました。

例会は毎月第1、3火曜日に熊本全日空ホテルニュースカイ25階の見晴らしの良いホールで実施しています。現在例会では、委員会報告の他には時折ゲストを招く事もあるものの、主に会員が卓話を担当して自社の紹介や身の回りの情報などをスピーチしております。約60人の会員は地元の主たる経済界代表や大学長、弁護士、マスコミ・金融関係者などで近況ニュースだけでも盛りだくさん。毎回充実した情報交換の場にもなっています。

設立以来の恒例行事は会員企業訪問例会、親睦ゴルフ会、チャリティークリスマス会、水前寺公園に程近い江津湖での屋形船夜間例会です。又、社会公益委員会中心に毎年一般フリーマーケットにも参加し、益金はすべて日本地区から要請があった海外災害義捐金に充てています。2005年からは例会前に毎回幹事会を行っており、例会打合せと独自の社会奉仕活動へ意見交換をしております。

このたびの40年と言う大変な歴史に敬意を表します。先輩クラブをお手本に私共も一年一年素晴らしいキワニス活動の年輪を刻んで行きたいと思っております。



フリーマーケットに参加

静岡キワニスクラブ

〒420-0034 静岡市葵区常磐町2-13-1住友生命静岡常磐町ビル2F 富士ゼロックス静岡(株)
電話 054(255)4443 Fax 054(255)4319

「名古屋キワニスクラブ 創立40周年」心からお祝い申し上げます。

静岡キワニスクラブは2004年2月24日に日本地区の22番目のクラブとして23名で発足しました。まだ3年にも満たない、会員数も2006年10月1日現在33名という、まだ新しいクラブでございます。静岡キワニスクラブも、同じ中部ディビジョンの大先輩クラブであります名古屋キワニスクラブをお手本にさせていただき、さらに充実したクラブとなるべく努力していきたいと思っております。

静岡キワニスクラブの昨年度の主な3つの活動についてご報告させていただきます。

1. 「海外留学生のための作文募集」(テーマ:日本の子供たちとの交流)

今年で第2回目となりますが、静岡理工科大学の羅民仙(ナ ミンソン:韓国)さんが「優秀賞」を受賞しました。当日の様子はテレビ静岡、SBSテレビでニュース放映され、静岡新聞、中日新聞、産経新聞の取材も受けました。

2. 「キワニスドールの寄贈」

今年初めて、3団体へ計55体の寄贈を行いました。寄贈先: NPO法人「クリエイティブサポート・レッツ」(浜松市)20体、静岡医療科学専門学校 小児看護科(浜松市)30体、静岡県立大学 看護学科(静岡市)5体

3. 「冬の家族会」

今年で3回目となる、会員の家族も参加するクリスマスパーティーを兼ねた夜の例会です。会員によるバンド演奏やダンスでおおいに盛り上がり、家族を含めたキワニス会員のコミュニケーションアップがおおいに図られました。

まだまだ未熟な静岡キワニスクラブではございますが、これからも会員間のさらなるコミュニケーションを基に「社会奉仕・社会貢献」活動を活性化させて参りたいと考えますので、名古屋キワニスクラブをはじめとする先輩各クラブの温かいご指導を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。



「海外留学生作文募集」表彰式

金沢キワニスクラブ

〒920-8501 石川県金沢市中橋町11番18号 富士ゼロックス北陸株式会社社内
電話 076(260)0900 Fax 076(260)0901

名古屋キワニスクラブが創立40周年を迎えられたとの由、誠に喜ばしいことであり、心からお祝い申し上げます。

私たち金沢キワニスクラブは本年7月20日にキワニスクラブ日本地区23番目のクラブとして設立し、8月30日に各界の方々をお招きしてのチャーターナイトを終えたばかりのできたてのクラブです。設立会員数は33名、新年度入会者を1名加えて現在会員は34名です。(女性会員2名)

会員34名は官・民・学・医と多彩なメンバー構成でスタートいたしました。特に官界から石川県副知事、金沢市助役を始め6名の方が入会されています。

具体的な活動方針は2007年度総会において明らかにしてまいりたいと思っておりますが、その骨子は、まず会員の増強、特に女性会員の増員を図りたいと思っております。次にキワニスドールの普及活動、当クラブと金沢におけるボランティアグループへの働きかけにより共催して行えないかを考えています。また、金沢キワニスクラブ独自の奉仕活動も是非検討して実現させたいと思っております。

まだ、スタートしたばかりで例会は会員相互の自己紹介を中心に会員同士の絆を深めています。これからいろいろやりたい希望が膨らんできていますが、現実的には例会出席率の向上も含めて活動の取り組みを一つ一つ着実に進めていきたいと思っております。

先輩クラブの活動を参考にさせていただきながら、当クラブも息の長い地道な活動を通して、キワニアンとしての歴史を刻んでいけたらと願っています。

名古屋クラブをはじめ先輩各クラブの皆様方のご指導を賜りますようお願い申しあげ、今後のご活躍を衷心よりお祈り申し上げます。



金沢キワニスクラブ憲章伝達式

松江キワニスクラブ

〒690-0011 松江市東津田町1847-1 山陰中央ヤクルト販売株式会社内
電話 0852(26)8960 Fax 0852(21)0811

松江キワニスクラブは、今年9月26日設立総会、10月31日チャーターナイトを終えたばかりの誕生ホヤホヤです。

松江にもキワニスクラブをつくろうという話は、昨年5月神戸キワニスクラブからの呼びかけで始まりました。松江市は人口20万人の地方都市ですがロータリークラブが4つ、ライオンズクラブが3つあり各クラブとも活発に活動し又、会員獲得の為の勧誘も非常に熱心です。そういうなかで、キワニスクラブは世界的にはライオンズクラブよりも古く設立された伝統があり、特に子供に対する奉仕活動に熱意をもって取り組んでいる魅力あるクラブであることを知りました。そして何よりこれから設立しようとするメンバーが皆で考え、会費も例会の回数も昼か夜かも決定するということでした。この魅力に賛同したメンバーが10人集まり設立準備委員会を立ち上げました。当初、一向に同志が増えず半年が経過しました。神戸キワニスクラブの西川会長（当時）、荒木次期副会長、佐藤日本地区事務総長が今年6月17日激を飛ばしに再び来松され会合をもちました。その席上、会員を確保してから設立するのではなく、設立すると決めて設立総会やチャーターナイトの日時、場所も決めてそれから会員を確保しようという話になりました。

おかげさまでチャーターナイトは予想以上に盛大で楽しいものになりました。松江キワニスクラブの会員は20名ですが総参加者は72名でした。来賓として県知事（代理）、松江市長、ロータリークラブ、ライオンズクラブの代表をお招きし、全国のキワニスクラブ会員の皆様にも沢山御参加戴きました。韓国からも韓国地区前ガバナーのキム・ヒュンスーさん、日本地区から菅野ガバナー、佐藤前国際理事、中田前ガバナー、栗山事務総長、佐藤クラブ新設委員長に御参加戴きました。各地からはスポンサークラブの神戸から12名（奥様3名）、広島、仙台、高松、福岡、京都、埼玉、西宮、福山、熊本からも御参加戴き、大変感激しました。このように沢山のキワニスクラブの先輩に激励され松江キワニスクラブは『キワニス』の名に恥じない活動を行う決意ですので、どうぞ今後とも御指導を宜しくお願い致します。

キワニスの紹介

例会場一覧

(社)東京キワニスクラブ

東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館 9F
☎03(5204)1500
第1・3・5金曜日 12:30～13:30

和歌山キワニスクラブ

和歌山市西高松1-7-87 ウェルサンピア和歌山
☎073(436)8111
第2・4火曜日 12:15～13:30

名古屋キワニスクラブ

名古屋市中区錦3-23-3 名古屋国際ホテル
☎052(961)3111
毎週金曜日 12:30～13:30

新潟キワニスクラブ

新潟市万代5-11-20 ホテル新潟
☎025(245)3331
第1・3水曜日 12:00～13:00

大阪キワニスクラブ

大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル
☎06(6448)1121
毎週火曜日 12:30～13:30 第1火曜日 18:00～19:00

泉州キワニスクラブ

大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪
☎06(6646)1111
第1・3金曜日 12:30～13:30

広島キワニスクラブ

広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島
☎082(502)1121
第2・4木曜日 12:30～13:30

埼玉キワニスクラブ

さいたま市大宮区東町2-204 大宮ラフォーレ清水園
☎048(643)1234
第2・4水曜日 12:00～13:30

神戸キワニスクラブ

神戸市中央区波止場町2-1 ホテルオークラ神戸
☎078(333)0111
第2・4水曜日 18:00～19:00

西宮キワニスクラブ

西宮市雲井町2-24 小池和子宅
☎0798(72)1365
第1・3土曜日 14:00～15:30

仙台キワニスクラブ

仙台市青葉区本町2-20-1 ホテル仙台プラザ
☎022(262)7111
第2・4木曜日 12:00～13:00

渋谷キワニスクラブ

東京都中野区中野4-1-1 中野サンプラザ
☎03(3381)1166
第2・4水曜日 12:30～13:30

札幌キワニスクラブ

札幌市中央区北五条西7-2-1 京王プラザホテル札幌
☎011(271)0111
第2・4水曜日 12:30～13:30

福山キワニスクラブ

福山市三之丸町8-16 福山ニューキャッスルホテル
☎084(922)2121
第2火曜日 12:00～13:30 第4火曜日 18:30～20:30

横浜キワニスクラブ

横浜市西区北幸1-11-3 ホテルキャメロットジャパン
☎045(312)2111
第1木曜日 12:20～13:30 第3木曜日 18:00～19:30

熊本キワニスクラブ

熊本市東阿弥陀寺町2 全日空ホテルニュースカイ
☎096(354)2111
第1・3火曜日 12:00～13:10

高松キワニスクラブ

高松市浜ノ町1-1 全日空ホテルクレメント高松
☎087(811)1111
第1・3木曜日 12:30～13:30

静岡キワニスクラブ

静岡市葵区紺屋町3-10 静岡グランドホテル中島屋
☎054(253)1151
第1水曜日 18:00～19:00 第3水曜日 12:30～13:30

福岡キワニスクラブ

福岡市博多区博多駅東2-1-1 博多都ホテル 12階
☎092(441)3111
第1・3水曜日 12:00～13:10

金沢キワニスクラブ

金沢市高岡町1-50 金沢ニューグランドホテル
☎076(233)1311
第2・4木曜日 12:30～13:30

京都キワニスクラブ

京都市中京区河原町御池 京都ホテルオークラ 4階「ルイ」
☎075(211)5111
第2木曜日 12:30～13:30 第4木曜日 18:30～19:30

松江キワニスクラブ

松江市学園名1-8-8 レインボープラザ
☎0852(27)6900
第1火曜日 12:30～13:30 第3火曜日 18:00～19:00

千葉キワニスクラブ

千葉市中央区本千葉町15-1 京成ホテルミラマーレ
☎043(222)2111
第1・3金曜日 12:15～13:30

鹿児島キワニスクラブ

鹿児島市新昭院町41-1 城山観光ホテル
☎099(224)2211
第1・3木曜日 12:15～13:15

新宿キワニスクラブ

東京都新宿区西新宿2-2-1 新宿京王プラザホテル
☎03(3344)0111
第2木曜日 12:30～13:30



キワニスとは？

「キワニス」は、米国デトロイト周辺に住んでいたアメリカ原住民の言葉Nun-Kee-wan-is（皆んな一緒に集まる）に由来します。世界の90ヶ国以上にある8,600以上のキワニスクラブ会員約27万人が国際キワニスを構成しています。民間の三大国際奉仕団体の一つです。1990年からは、特に幼い子供達のための奉仕活動に力を入れており、青少年等を構成員とするサークルKやキークラブ等の「Kファミリー」の会員も合わせると70万人弱に上る大きな組織です。本部は米国インディアナポリスにあります。

1915年1月21日米国デトロイトに最初のキワニスクラブが設立され、2005年は90周年でした。当初は米国とカナダで発展していましたが、1963年にヨーロッパの3都市に広がりました。日本ではアジア太平洋地域で最初のクラブとして東京キワニスクラブが1964年1月24日設立され、次いで名古屋、大阪、広島、神戸、仙台、札幌、横浜、高松、福岡、京都、千葉、新宿、和歌山、新潟、泉州、埼玉、西宮、渋谷、福山、熊本、静岡、金沢、松江、鹿児島順にキワニスクラブが設立されました。2007年現在25クラブで会員総数約1,500名です。

世界中のキワニスクラブは現在50以上の「地区」等に分かれていますが、我が国におけるキワニス活動の実績が認められて日本キワニス委員会が昇格し、1977年10月1日に「日本地区」が設置されました。日本地区の規約が2004年の年次総会において国際キワニスの承認の下に改正され、日本地区は北海道・東北、関東、東京、中部、関西、中国・四国、九州の8ディビジョンに分けられ、各キワニスクラブはその何れかに属します。日本地区ガバナーの下に、ディビジョン毎に副ガバナーを置きます。

キワニスの目的（1924年国際年次総会で採択）

- 人生の物質的な価値より、むしろ人道的、精神的価値を重く見ること
- 全ての人間関係において、黄金律に従う日常生活を奨励すること（黄金律：人々からして欲しいと望むことを、人々にもその通りにせよ。）
- 社会生活、実業界、専門職域に、より高度な水準を採択し、適用するように推進すること
- 規範・模範によって、より一層知的、進取的、奉仕的な市民性を開発すること
- キワニスクラブを通じて、恒久的な友情を形成し、愛他的奉仕を実行し、より良き社会を建設するための実際的な手段を提供すること
- 公正、正義、愛国心、善意などを増進させることができる健全な世論と、高い理想主義を創造し、維持するように協力すること

キワニスのモットー

“Serving the Children of the World”（世界の子供たちのための奉仕）

第90回国際キワニス年次総会ハワイ大会で、国際キワニスのモットーは“We Build”から“Serving the Children of the World”へ変更された。

Kファミリー

キワニスクラブがスポンサーとして支援する団体(キワニスクラブを含めKファミリーと呼ぶ)

日本にはまだ残念ながらありません。



サークル K インターナショナル

大学生を対象とする奉仕団体で、会員数は13,000人、13カ国、500校に及んでいます。1947年に奉仕団体として設立し、会員は活動を通じ、統率力、奉仕、友愛の精神を学んでいます。

アジア太平洋地域ではフィリピン、台湾、マレーシアにあります。



キー クラブ インターナショナル

青少年を対象とするキワニス支援する団体の中でもっとも古く、1925年に高校生の奉仕団体として設立されました。現在では20カ国に約5,000のクラブがあり、23万人の会員を擁しています。キークラブに所属した青少年の多くは、現在、政府や企業のリーダーとして活躍しています。

アジア太平洋地域ではオーストラリア、フィリピン、ニュージーランド、南太平洋、台湾にあります。



ビルダーズ クラブ

中学生を対象にした学生主導の奉仕団体です。世界13カ国に1,500のクラブがあり、44,000人の会員が活動しています。各ビルダーズクラブはキワニスクラブ、キークラブ、サークルKの支援を受けています。

アジア太平洋地域ではオーストラリア、韓国、フィリピンにあります。



K-キッズ

小学生を対象とする奉仕団体で、1990年に発足し、1998年に正式にキワニスの支援団体になりました。11カ国に約500のクラブがあり、約16,000人の小学生が地域への奉仕活動を行っています。

アジア太平洋地域ではフィリピンにあります。



アクション クラブ

発達障害を持つ成人を対象とした団体で、2000年に設立されました。会員は奉仕活動を通じて自主性と統率力を身につけ、社会参加をしています。89のクラブがあり、2,000人以上の会員がいます。

アジア太平洋地域ではオーストラリア、フィリピン、マレーシアにあります。



キワニス ジュニア

ヨーロッパで組織された団体で、18-35歳までの青少年がキワニスと一緒に奉仕活動を行っています。1992年に正式に支援団体となり、現在では50以上のクラブがあります。

キー リーダー

キワニスは1925年以来、キークラブやサークルKを通じて、青少年に影響を与えて来ました。そして、今、現代の青少年に奉仕活動を通じて統率力を身につけようと呼びかけています。



— 国際キワニス財団英雄賞 — ロバート・P. コネリーメダル

メダルにまつわる物語

1966年9月23日金曜日ロバート・P. コネリーキワニス会員（34歳）は体に障害のある女性が線路に落ちたのを見て、折しも列車が接近していたので救出しようとして線路に降りた。しかし、ロバートがその女性を線路から引き上げる間もなく、列車に轢かれ二人は亡くなりました。そのコネリーの英雄的行為の直後、国際キワニス理事会は「個人の心からの行為」という言葉に彼の残した素晴らしい劇的な行為を讃え、ロバート・P. コネリーメダルを制定し、1967年第52回国際キワニス年次総会ヒューストン大会で発表した。この「個人の心からの行為」こそまさにキワニスの精神です。メダルは死や危険を顧みず、奉仕をする人々を讃えるもので、メダル授賞者の推薦はキワニスクラブが行い、メダルはキワニス会員または会員以外にも贈られます。

メダルの授与について

メダル被推薦者名は国際キワニス財団理事会に提出、審査され、最終決定となります。受賞の場合クラブに連絡が入り、受賞者はそのクラブや地区総会等の特別な場で栄誉を讃えられます。今日までおよそ500個のロバート・P. コネリーメダルが英雄に贈られました。賞金は250ドル贈呈。

ロバート・P. コネリーメダル授賞者推薦条件

1. 死や怪我の危険を顧みず、わが身を挺して人の命を救った人。被推薦者はキワニアンに限りません。
2. その救助行為が職務でないこと。
3. 家族の生命や健康のために危険をおかす行為はコネリー賞の選考範囲には含まれません。
4. 救命行為発生後、5年間の中にキワニスクラブから推薦を受けることとします。

表彰一覧

国際キワニス財団21世紀ヘリティジ・ソサエティ

国際キワニス財団に5,000ドル以上の寄付をされた方、または財団を遺産受取人に指定された方の会を指します。この寄付は財団の基本財産増資計画の重要な柱となっています。

メンバーになると次の特典が得られます。①大理石製の楯 ②ヘリティジ・ソサエティの襟ピン ③国際年次総会で財団主催の祝賀会への招待 ④財団の出版物への名前の記載 ⑤インディアナポリスの国際キワニス事務局入口にある未来に続く道に寄付者氏名を彫ったブロックが埋め込まれます。

ジョージ・F. ヒクソン・フェロー

国際キワニス初代会長を記念して1983年にジョージ・F.ヒクソン・フェローが設立されました。

ヒクソン・フェローになるためには1,000ドルを寄付します。更に1,000ドルを寄付するとダイヤモンドフェローとなります。ダイヤモンドフェローは何度でも寄付することができます。寄付金は信託基金とされ、利子のみが運用されます。

キワニス・チルドレンズファンド

250ドル以上を寄付された方全員に、募金推進のためにつくられた特製のピンが贈られます。1,000ドル以上寄付された方のためには、通しナンバー付きのピンが特別にデザインされています。集まった寄付は世界の子ども達に奉仕するプログラムの助成に使われます。

タブレット・オブ・オナー

個人やグループが2,000ドルの寄付をして、友人や配偶者、クラブ、団体などに敬意を表し、記念するために贈ることができます。ただし、自分自身を表彰することはできません。その銘は国際キワニス事務局の電子表彰掲示板に表示されます。

ファウンダーズサークル

累積2万5千ドルの寄付によりメンバーとなります。寄付者には青銅の鷲の像とファウンダーズサークルのピンが贈られます。

国際キワニス財団オナークラブ

1) 前年度9月30日現在の会員数が31名以上のクラブの場合

ヒクソン・フェロー（退会、物故を含みますが、ダイヤモンドはカウントしません）、タブレット・オブ・オナー、ヘリテージ・ソサエティの人数が前年度9月30日現在の会員数の3分の1以上いるクラブに贈られます。

2) 会員数が30名以下のクラブの場合

10名のヒクソン・フェロー（退会、物故を含みますが、ダイヤモンドはカウントしません）、タブレット・オブ・オナー、ヘリテージ・ソサエティがいるクラブに贈られます。

東京クラブは2000年に、2004年には名古屋、大阪、広島、神戸、京都の各クラブが獲得しました。フェロー氏名入りオナーバナーが贈られます。

国際キワニス優秀地区賞

地区はそれに所属するクラブ全体の達成度評価に基づき顕彰される。

- 50%のクラブが *優秀クラブとなれば、地区ガバナーは国際会長表彰（Presidential Citation）を受け、指輪と襟章を授与されます。地区事務総長は認証状と記念品を授与されます。
- 40%のクラブが優秀クラブとなれば、地区ガバナーは表彰（Outstanding Leadership Citation）を受け、特別賞と襟章を授与されます。地区事務総長は認証状と記念品を授与されます。
- 35%のクラブが優秀クラブとなれば、地区ガバナーは表彰（Outstanding Performance Citation）され、襟章を授与されます。地区事務総長は認証状と記念品を授与されます。
- 25%のクラブが優秀クラブとなれば、地区ガバナーは表彰（Honorable Mention Citation）され、襟章を授与されます。地区事務総長は認証状と記念品を授与されます。

*優秀クラブは奉仕活動、研修、会員増強の達成度により評価されます。

アニュアルクラブギフトキャンペーン

1968年に開始し、毎年10月1日から9月30日に行われているキャンペーンです。集まった寄付は世界の子供達の必要とする助成金、奨学金、災害救援金に当てられ、今日までの寄付総額は6,800万米ドル以上となっています。2004-05年度は世界中で61万ドル集まり、そのうち日本地区は2万ドルを寄付しました。その結果、日本地区は優秀な5地区の一つとして表彰されました。

リージョン・オブ・オナー

リージョン・オブ・オナーは、キワニスの25年以上の会員に対し、その献身と奉仕を祝して贈られるものです。

編集委員

浅井賢二(中林良夫)

飯田吉平

片桐清志

鈴木正訓

尾藤三郎

松岡賢志(吉田明彦)

山内一昭

山本眞一

山本光子

事務局 高櫻ゆき

名古屋キワニスクラブ創立40周年記念誌

発行 平成19年1月

発行者 名古屋キワニスクラブ
〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目23-3 名古屋国際ホテル内

印刷 竹田印刷株式会社

[非売品]



Kiwanis Club of Nagoya